

資料4

「新しい総合計画の策定に関する アンケート」調査結果

平成30年3月

帯 広 市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
II. 集計結果	4
III. 「市民アンケート」調査結果	47
1. 設問一覧	47
2. アンケート結果	48
IV. 「高校生アンケート」調査結果	59
1. 設問一覧	59
2. アンケート結果	60
V. 「中学生アンケート」調査結果	65
1. 設問一覧	65
2. アンケート結果	66
VI. アンケート調査票	71
1. 市民アンケート調査票	71
2. 高校生アンケート調査票	79
3. 中学生アンケート調査票	83

I. 調査概要

1. 調査の目的

新しい総合計画の策定に向け、帯広市の魅力や将来のまちづくりの方向性などについて、市民等から広く意見を聴き、今後の取り組みの参考とするために実施した。

2. 調査の概要

(1) 市民アンケート調査

①趣旨

帯広市の将来のまちづくりの方向性などについて、性別、年齢、居住地域等に偏りがないよう、広く意見を聴く。

②調査内容

帯広市の魅力、将来のまちづくりの方向性について など

③調査対象 平成29年10月時点において、市内在住の満20歳以上の市民

④対象者数 市民3,000人(性別、年齢、居住地域等を考慮し、無作為に抽出)

【年齢別・地区別・性別対象者一覧】

(単位：人)

年齢	1. 東地区		2. 鉄南地区		3. 西地区		4. 川北地区	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20歳代(20歳～29歳)	17	16	23	25	49	50	26	24
30歳代(30歳～39歳)	20	19	31	30	61	59	31	30
40歳代(40歳～49歳)	28	26	33	35	69	74	38	38
50歳代(50歳～59歳)	23	21	29	33	63	68	31	33
60歳代(60歳～69歳)	21	24	35	41	72	83	33	36
70歳以上	27	43	38	61	86	127	39	57
地区小計	136	149	189	225	400	461	198	218
	285		414		861		416	

年齢	5. 西帯広地区		6. 南地区		7. 農村地区		合計		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20歳代(20歳～29歳)	22	22	37	35	6	4	180	176	356
30歳代(30歳～39歳)	24	25	40	40	7	6	214	209	423
40歳代(40歳～49歳)	29	33	49	47	10	8	256	261	517
50歳代(50歳～59歳)	34	39	36	38	9	9	225	241	466
60歳代(60歳～69歳)	39	40	39	46	12	11	251	281	532
70歳以上	32	42	51	71	13	19	286	420	706
地区小計	180	201	252	277	57	57	1,412	1,588	3,000
	381		529		114				

⑤調査手法 アンケート調査票を対象市民に郵送

⑥実施時期 平成29年11月6日～平成29年11月30日

⑦有効回答数 1,597人(回答率53.2%)

【地区別の回答状況】

地域区分	配布数	回答数	回答率 (%)
東地区	285	147	51.6
鉄南地区	414	213	51.4
西地区	861	455	52.8
川北地区	416	223	53.6
西帯広地区	381	215	56.4
南地区	529	270	51.0
農村地区	114	68	59.6
不明		6	-
合計	3,000	1,597	53.2

※不明については、調査票の返送時において、地区名が記載されている帳票を切り取ってしまったこと等により、地区を判別することができなかったことによる。

【年齢別の回答状況】

年齢	配布数	回答数	回答率 (%)
20歳代	356	105	29.5
30歳代	423	187	44.2
40歳代	517	255	49.3
50歳代	466	252	54.1
60歳代	532	342	64.3
70歳以上	706	427	60.5
未回答		29	-
合計	3,000	1,597	53.2

(2) 高校生アンケート調査

①趣旨

帯広市の将来のまちづくりの方向性などについて、これからのまちづくりを支える担い手である高校生から意見を聴く

②調査内容

帯広市の魅力、将来のまちづくりの方向性について など

③調査対象

帯広市内の高校8校

(帯広柏葉高校、帯広三条高校、帯広緑陽高校、帯広工業高校、帯広農業高校、帯広南商業高校、帯広大谷高校、帯広北高校)

④対象者数

高校2年生のうち320人程度
(8校において各1クラス(40人程度))

⑤調査手法

ホームルームの時間等を活用し実施

⑥実施時期

平成29年11月13日～平成29年11月17日

⑦有効回答数

295人

【高校別の回答状況】

学校名	回答数
帯広柏葉高校	33
帯広三条高校	38
帯広緑陽高校	34
帯広工業高校	40
帯広農業高校	39
帯広南商業高校	39
帯広大谷高校	36
帯広北高校	36
合計	295

(3) 中学生アンケート調査

①趣旨

帯広市の将来のまちづくりの方向性などについて、これからのまちづくりを支える担い手である中学生から意見を聴く

②調査内容

帯広市の魅力、将来のまちづくりの方向性について など

③調査対象

帯広市内の中学校 14校

④対象者数

中学2年生のうち400人程度
(14校において各1クラス程度)

⑤調査手法

ホームルームの時間等を活用し実施

⑥実施時期

平成29年12月6日～平成29年12月20日

⑦有効回答数

383人

【中学校別の回答状況】

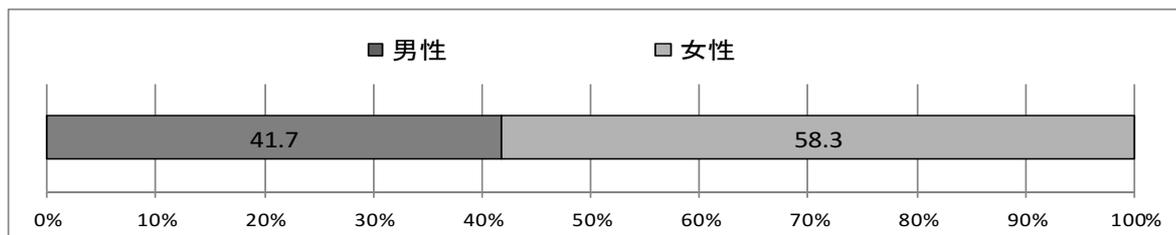
学校名	回答数
第一中学校	34
第二中学校	30
第四中学校	30
第五中学校	38
第七中学校	24
第八中学校	32
大空中学校	21
南町中学校	36
西陵中学校	34
緑園中学校	33
翔陽中学校	34
川西中学校	31
清川中学校	6
八千代中学校	0
合計	383

Ⅱ. 集計結果

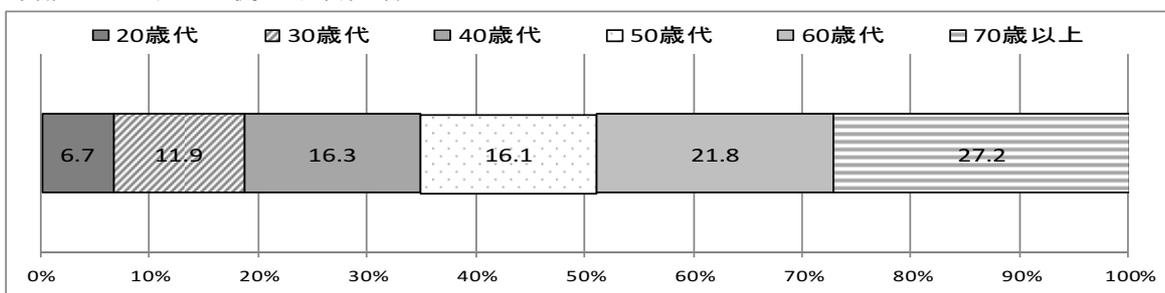
<回答者の属性>

(1) 市民アンケート

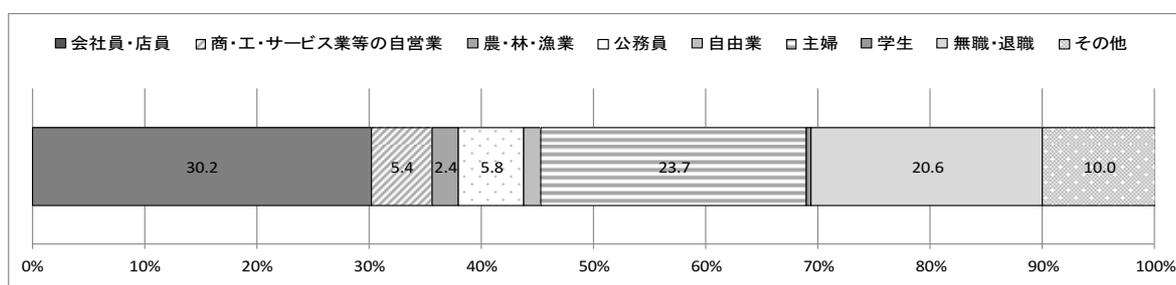
①性別 ※グラフ左側より項目順



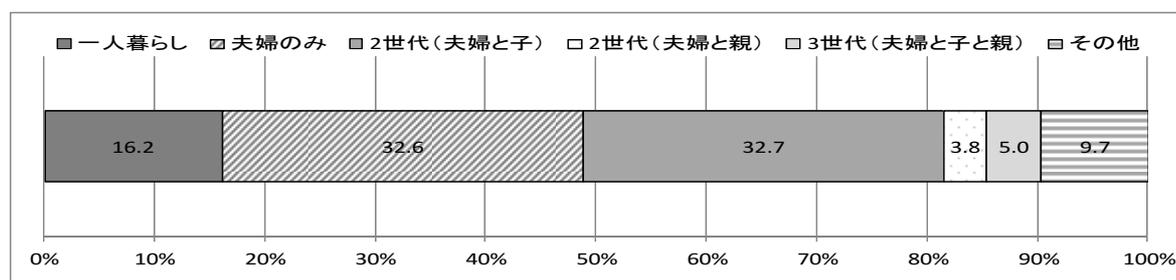
②年齢 ※グラフ左側より項目順



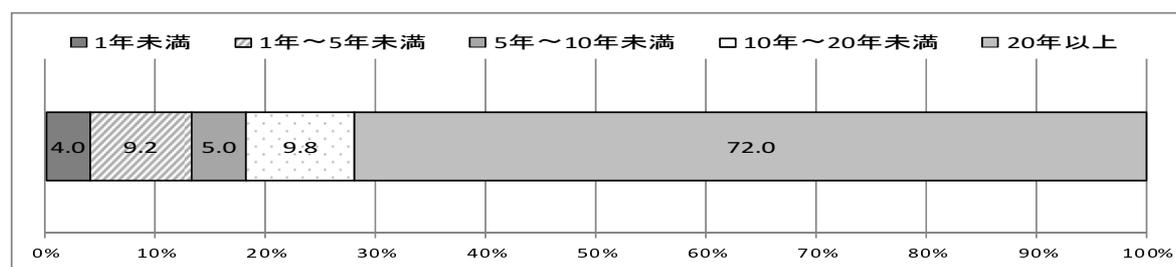
③職業 ※グラフ左側より項目順



④家族構成 ※グラフ左側より項目順

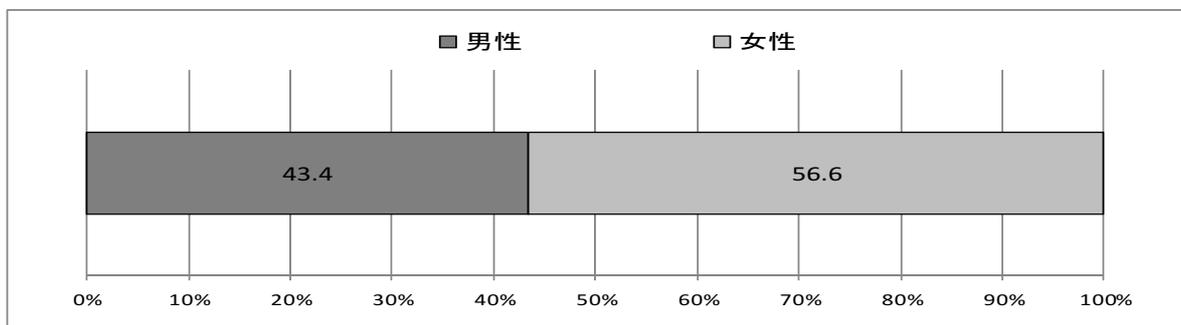


⑤居住年数 ※グラフ左側より項目順

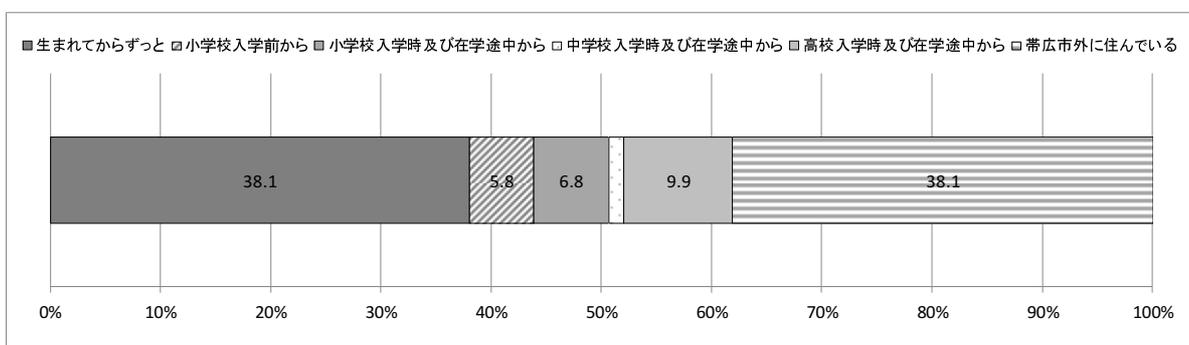


(2) 高校生アンケート

①性別 ※グラフ左側より項目順

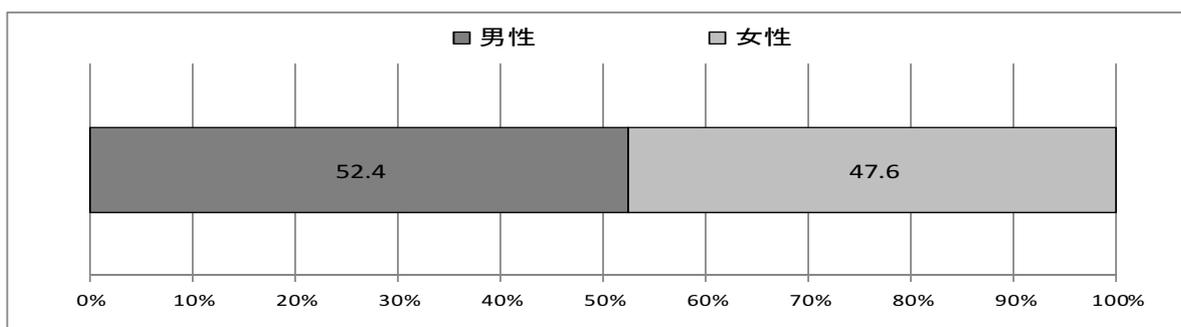


②居住実態 ※グラフ左側より項目順

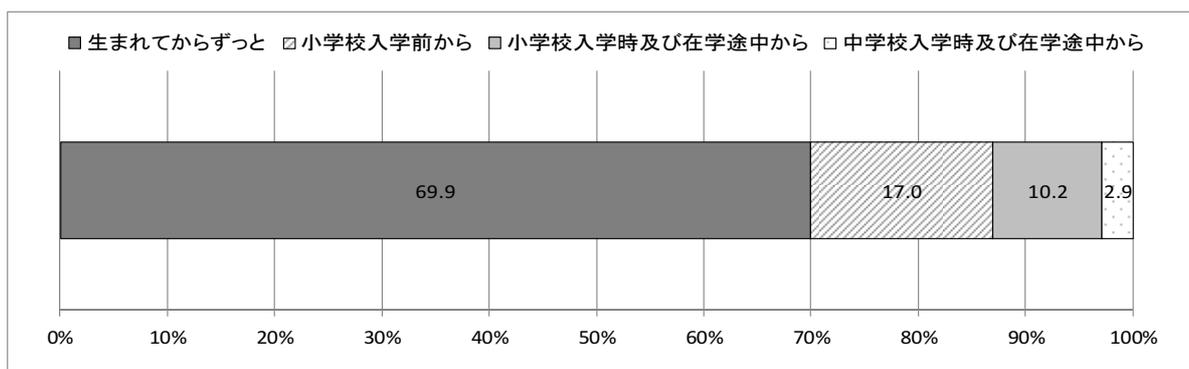


(3) 中学生アンケート

①性別 ※グラフ左側より項目順



②居住実態 ※グラフ左側より項目順

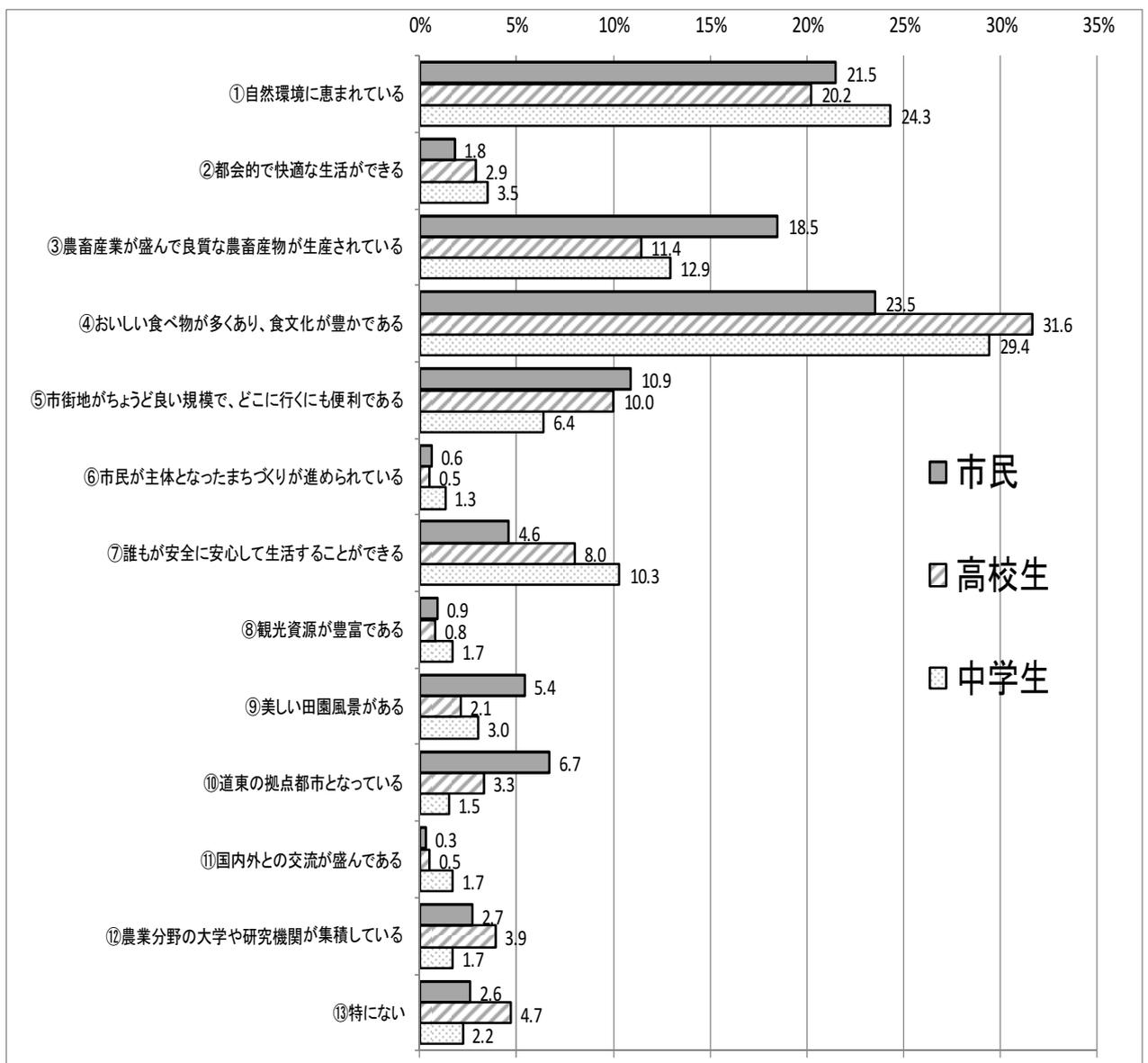


帯広市の魅力について

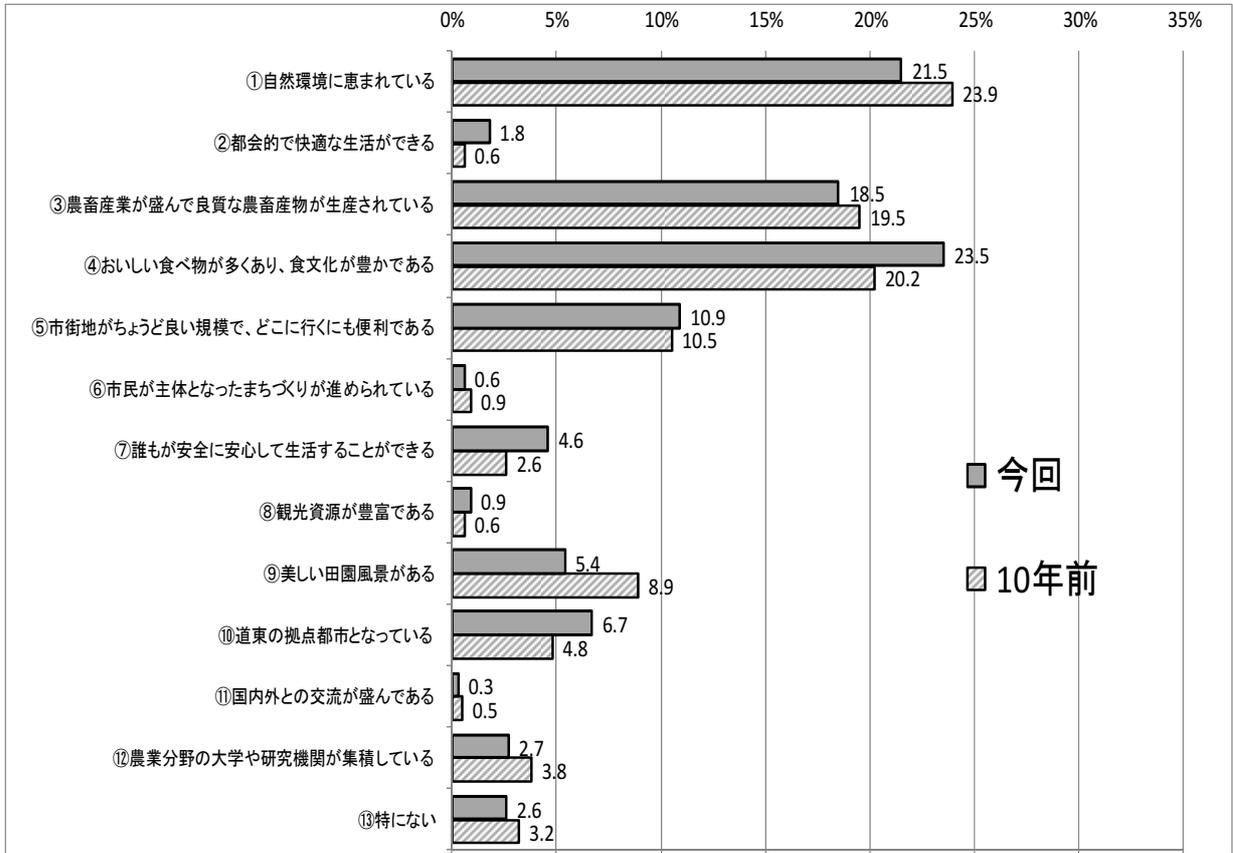
問 帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選んで下さい。

問6（市民アンケート）・問3（高校生アンケート、中学生アンケート）

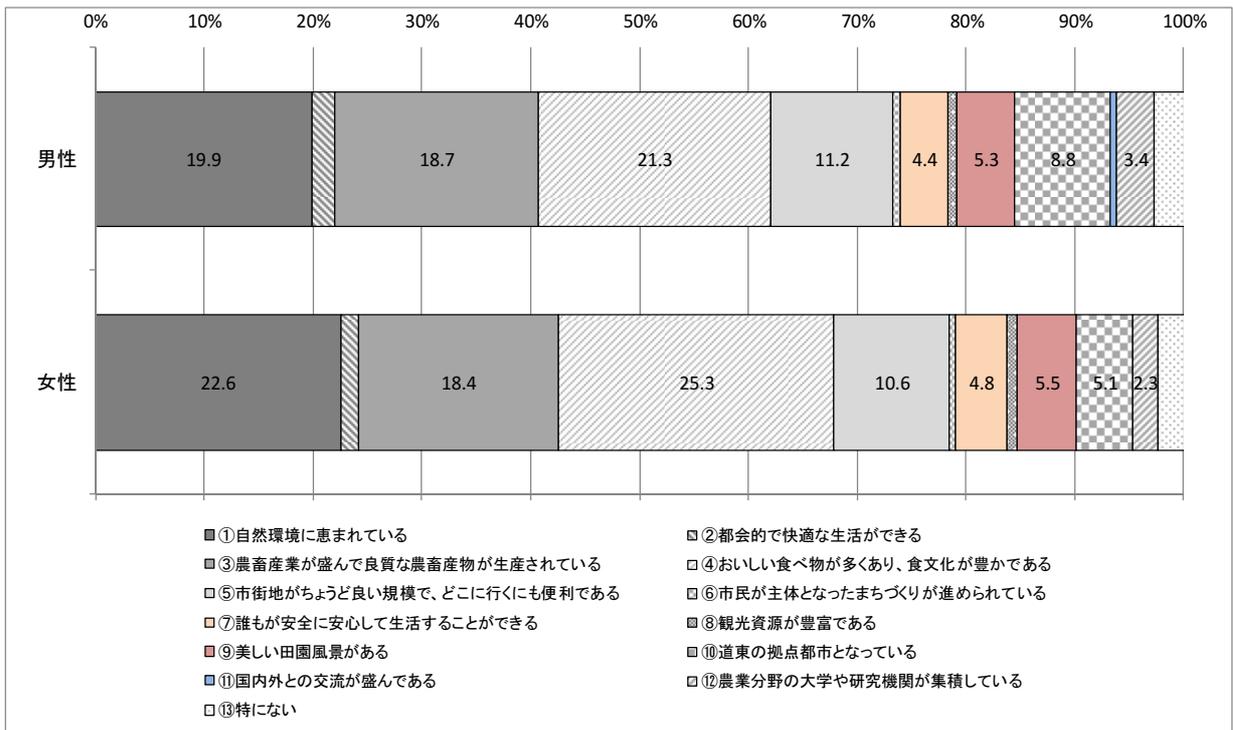
- ・市民、高校生、中学生いずれも、「④おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである」、「①自然環境に恵まれている」、「③農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている」の順となっている。
- ・10年前との比較では、大きな差は見られない。
- ・年代別では、年代が低いほうが、「④おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである」との回答割合が高い傾向にある。



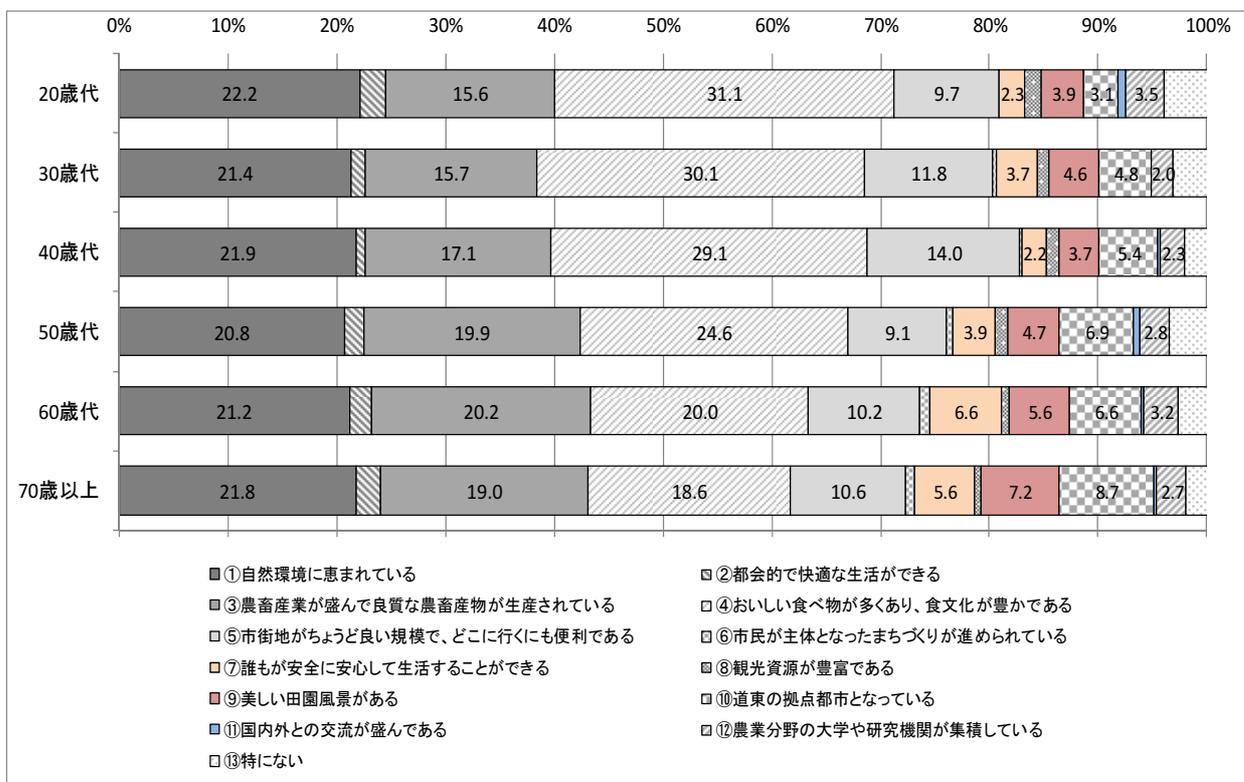
< 10年前との比較（市民アンケート） >



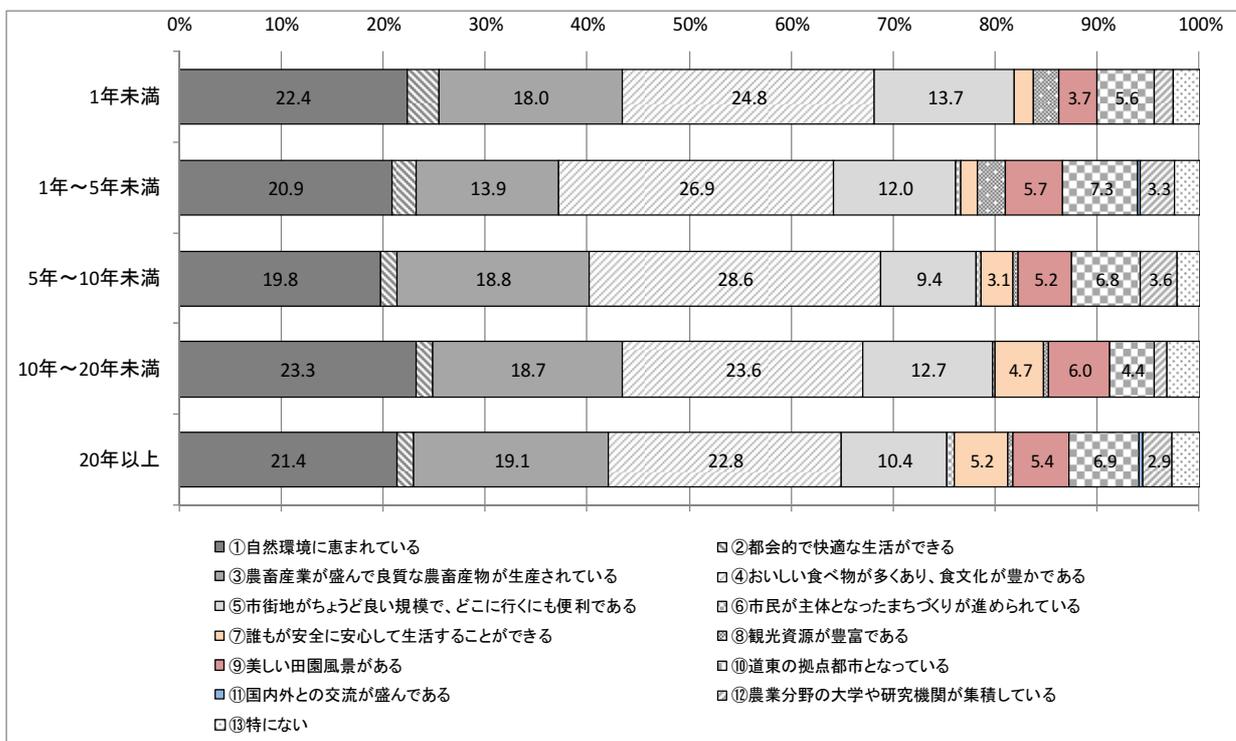
< 性別の状況（市民アンケート） > ※グラフ左側より①～⑬の順



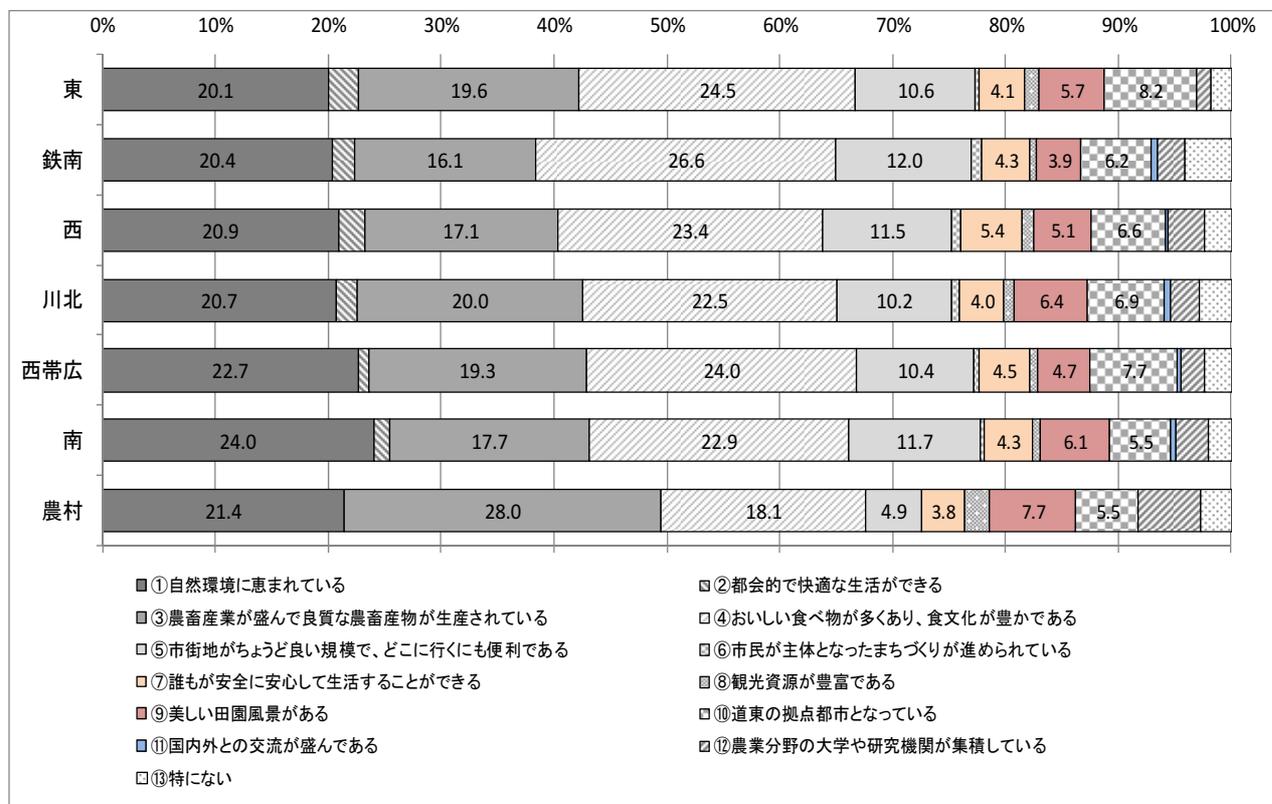
<年代別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～⑬の順



<居住年数別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～⑬の順



<居住地区別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～⑬の順

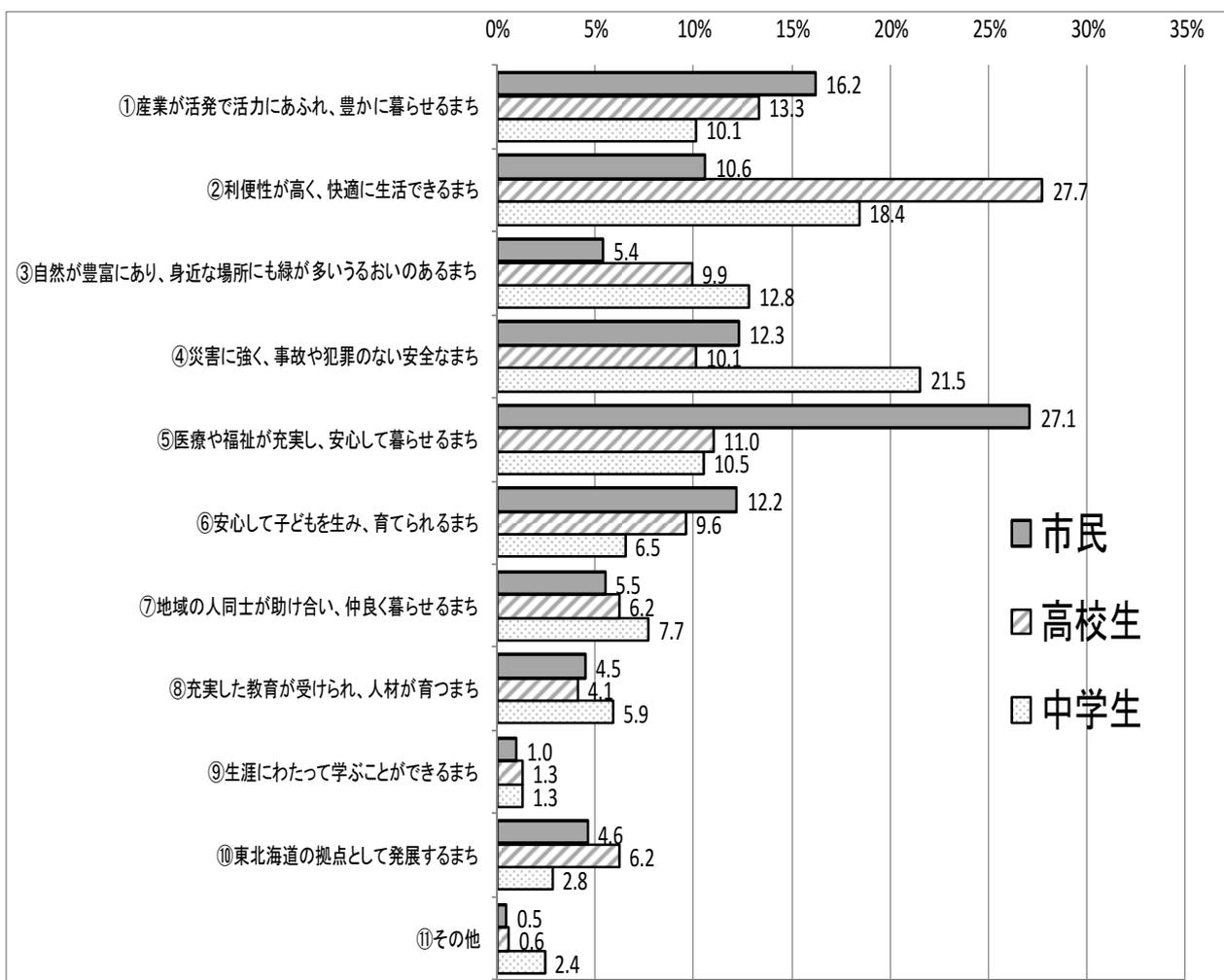


将来のまちづくりの方向性について①

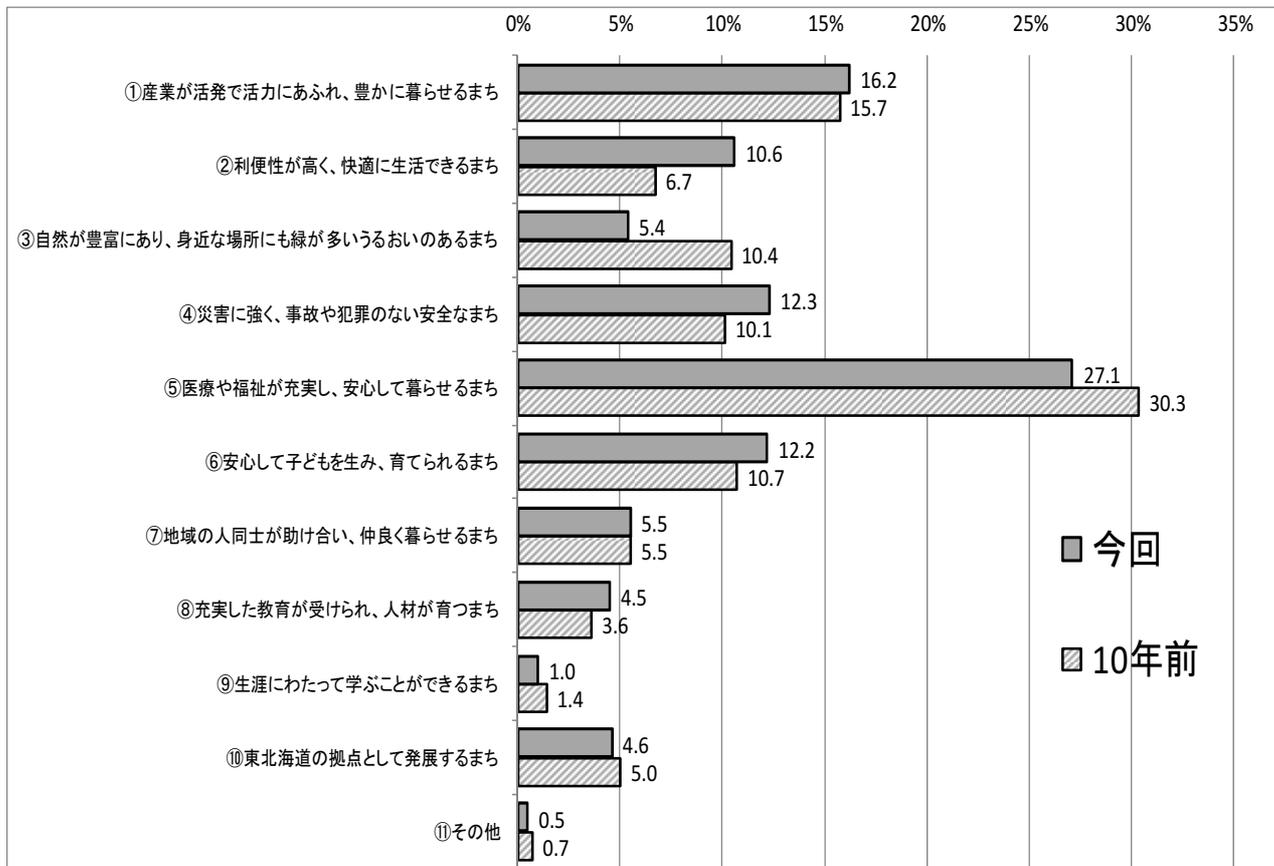
問 帯広市は将来どのようなまちになってほしいと思いますか。

問11 (市民アンケート)・問6 (高校生アンケート、中学生アンケート)

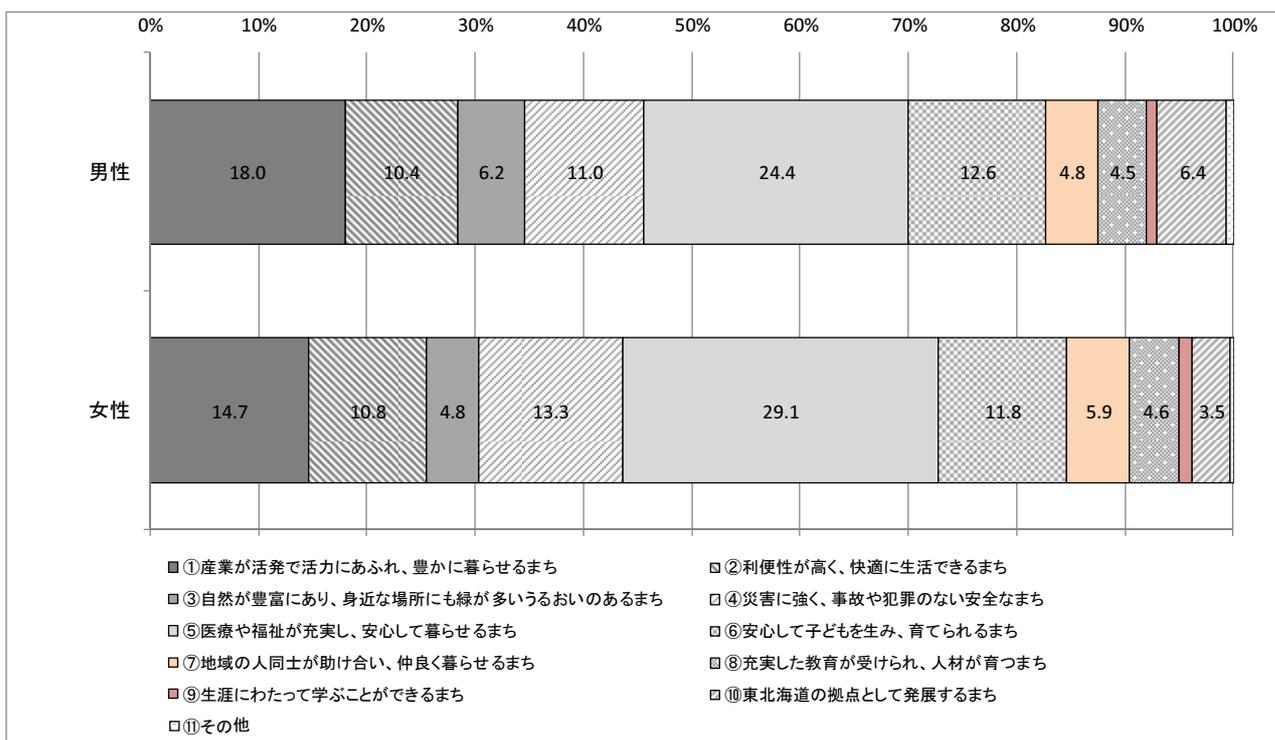
- ・市民は、「⑤医療・福祉の充実」や「①産業振興」、高校生は、「②利便性の高さ」、中学生は、「④防災・防犯」を重視した回答の割合が高くなっている。
- ・10年前との比較では、「③自然や緑の豊かさ」の回答割合が低くなっている一方、「②利便性の高さ」や「④防災・防犯」、「⑥子育て支援」の回答割合が高くなっている。
- ・年代別では、年代が高いほうが、「⑤医療・福祉の充実」の回答割合が高い傾向にあるほか、20歳代、30歳代では、「⑥子育て支援」の回答割合が高くなっている。
- ・居住地区別では、農村地区が、他の地区と比べ、「①産業振興」の回答割合が高くなっている。



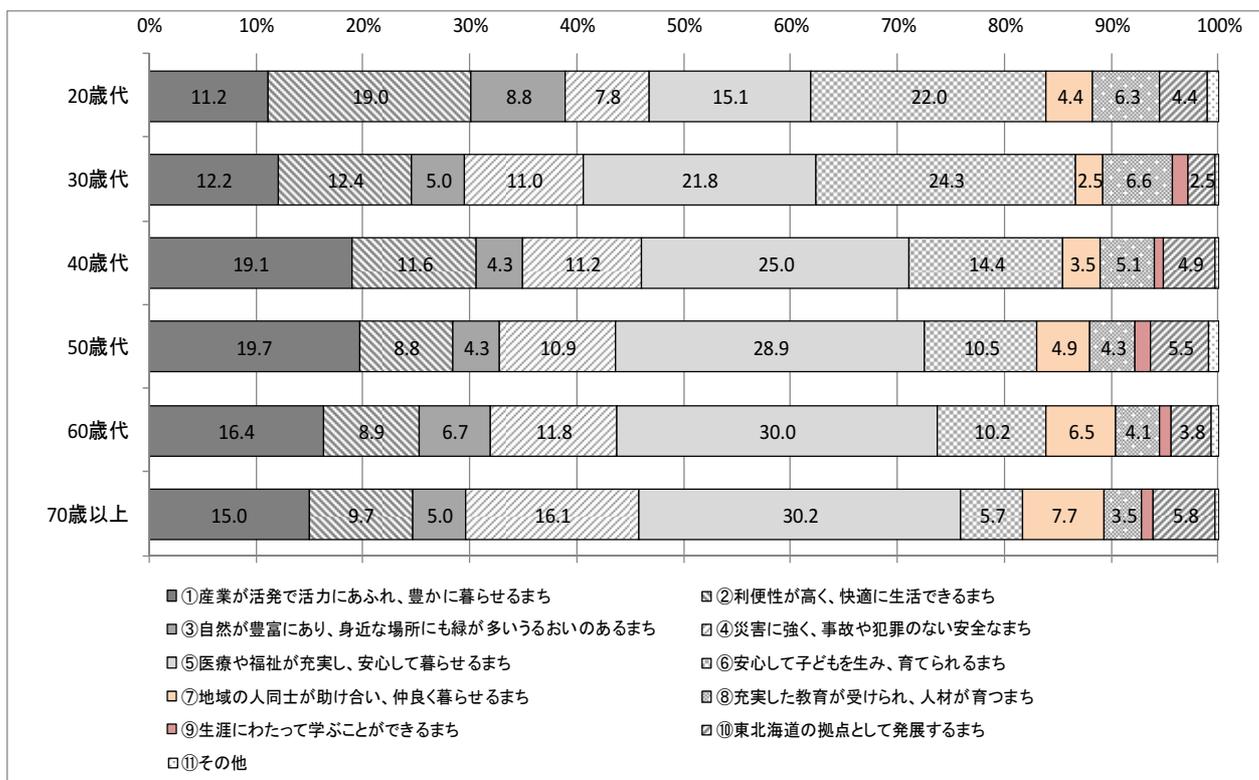
< 10年前との比較（市民アンケート） >



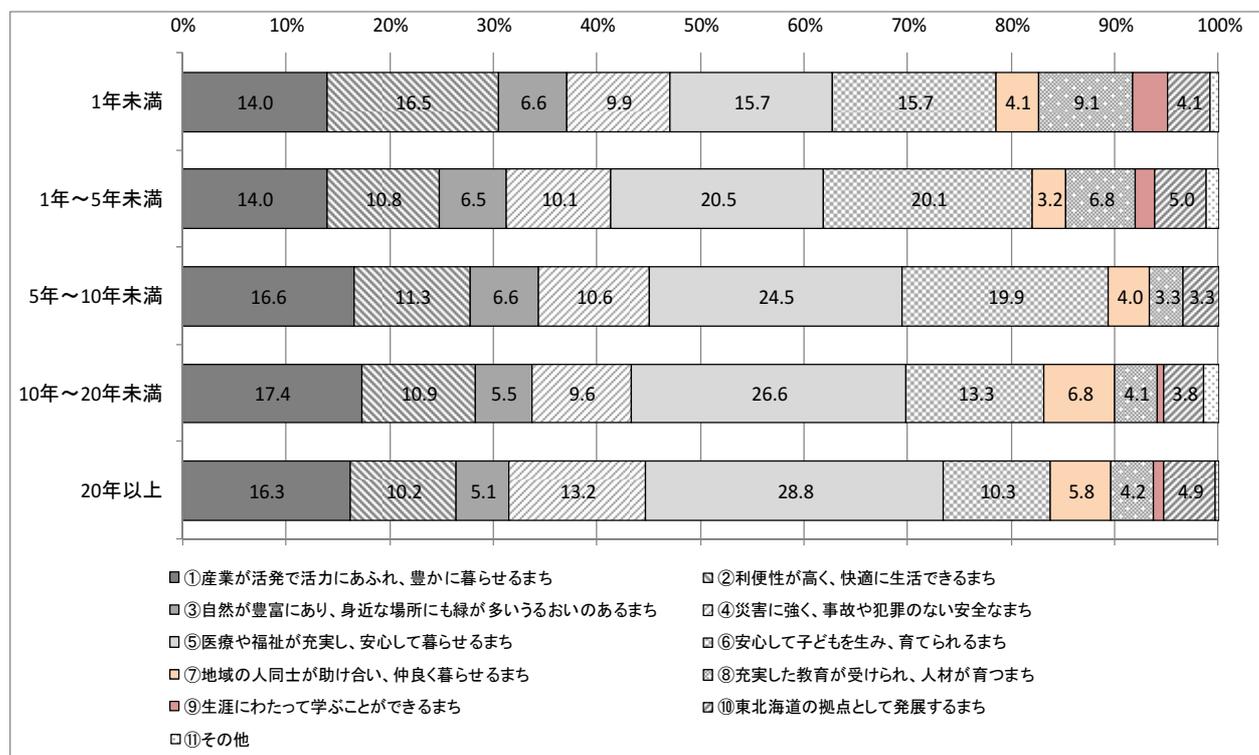
< 性別の状況（市民アンケート） > ※グラフ左側より①～⑪の順



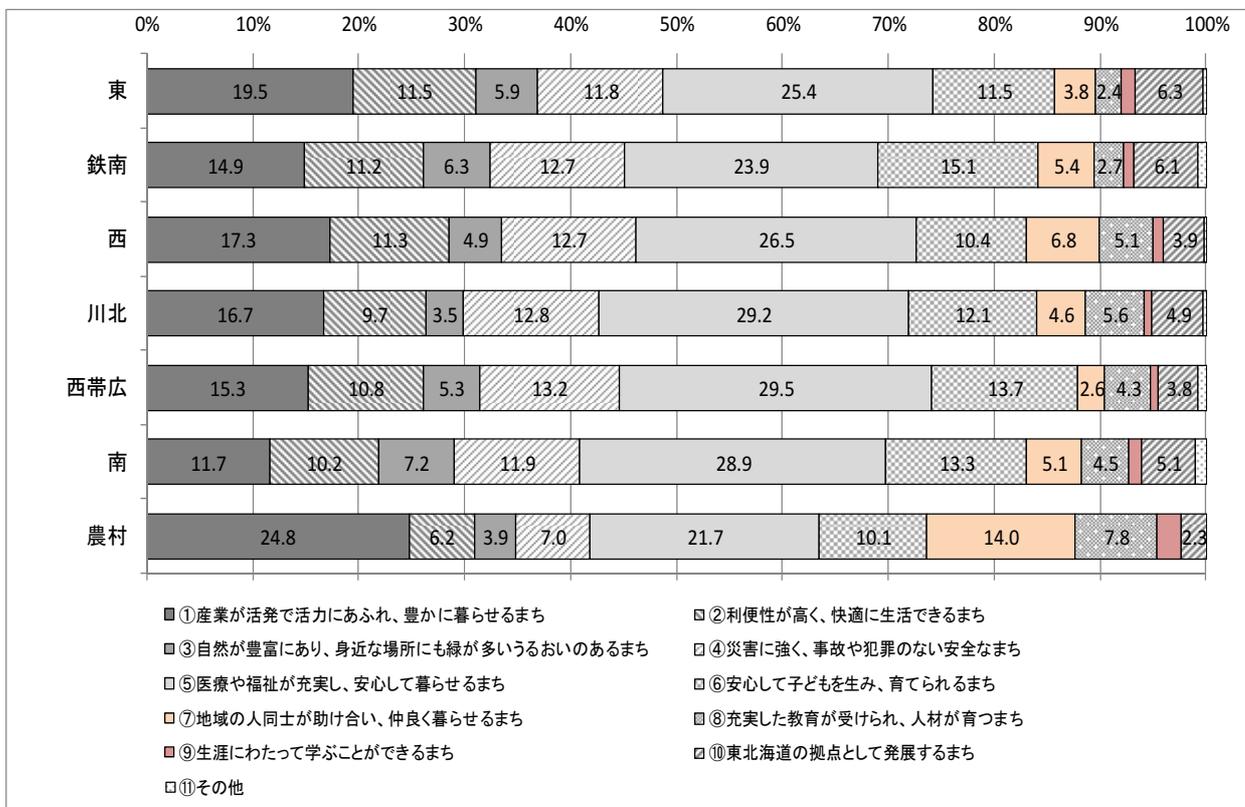
<年代別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～⑪の順



<居住年数別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～⑪の順



<居住地区別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～⑪の順

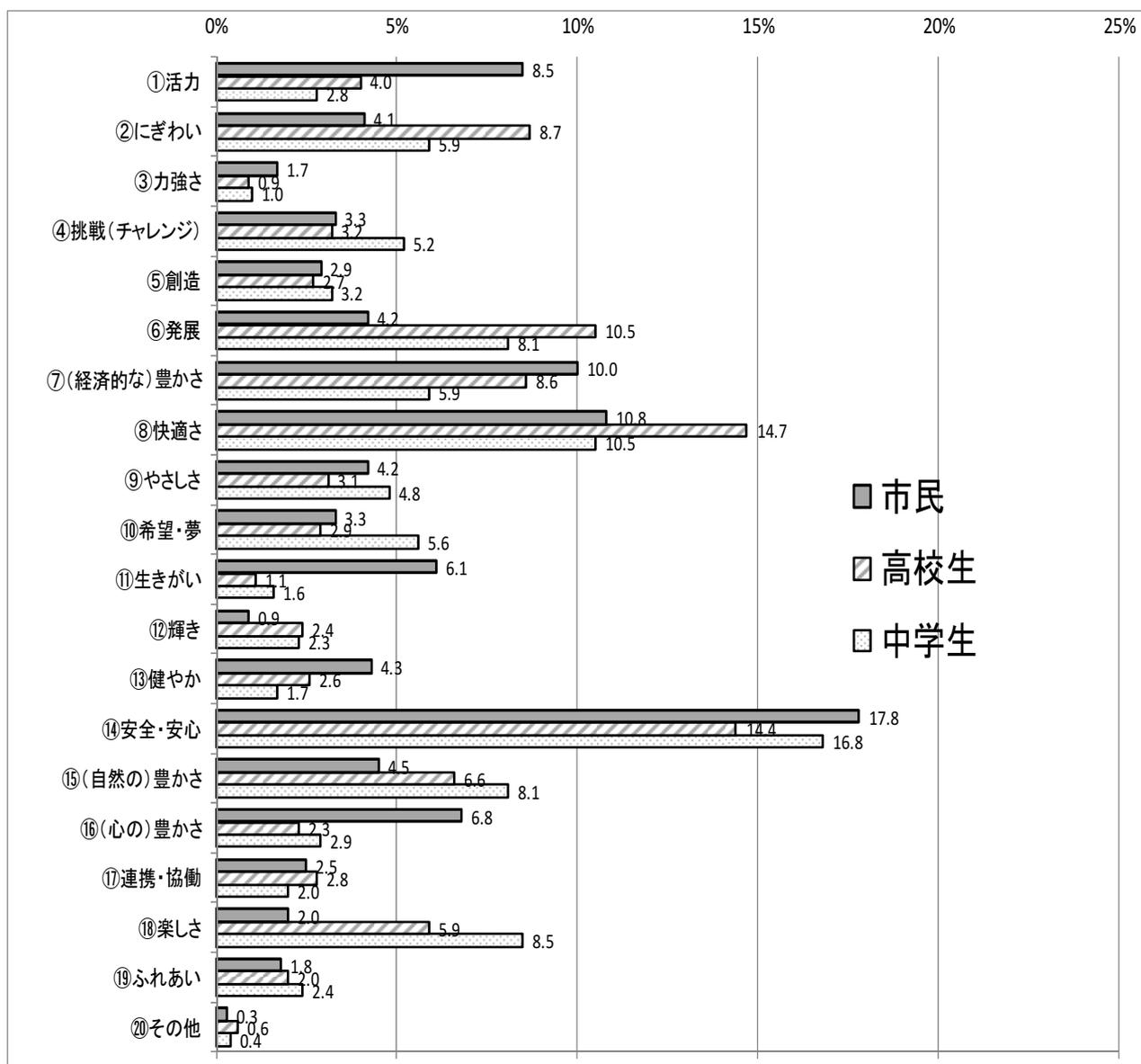


将来のまちづくりの方向性について②

問 今後の帯広市のまちづくりを進めていく上で、どのような「言葉（キーワード）」を重視すべきだと思いますか。

問12（市民アンケート）・問7（高校生アンケート、中学生アンケート）

- ・市民は、「⑭安全・安心」、「⑧快適さ」、「⑦経済的な豊かさ」の順となっている。
- ・高校生は、「⑧快適さ」、「⑭安全・安心」、「⑥発展」の順となっている。
- ・中学生は、「⑭安全・安心」、「⑧快適さ」、「⑱楽しさ」の順となっている。



<性別の状況（市民アンケート）>

性別	キーワード				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
男性	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ
女性	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ

<性別の状況（高校生アンケート）>

性別	キーワード				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
男性	快適さ	発展 安全・安心	※2番目は2項目が同率である	(心の)豊かさ	にぎわい
女性	安全・安心	快適さ	発展	にぎわい	(心の)豊かさ

<性別の状況（中学生アンケート）>

性別	キーワード				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
男性	安全・安心	快適さ	(自然の)豊かさ	発展	楽しさ
女性	安全・安心	快適さ 楽しさ	※2番目は2項目が同率である	発展	(自然の)豊かさ

<年代別の状況>

年齢	キーワード				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
中学生	安全・安心	快適さ	楽しさ	発展 (自然の)豊かさ	※4番目は2項目が同率である
高校生	快適さ	安全・安心	発展	にぎわい	(経済的な)豊かさ
20歳代	安全・安心	快適さ	(自然の)豊かさ	(経済的な)豊かさ (心の)豊かさ	※4番目は2項目が同率である
30歳代	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	(心の)豊かさ	活力 健やか
40歳代	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ
50歳代	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ
60歳代	安全・安心	活力	(経済的な)豊かさ	快適さ	生きがい
70歳以上	安全・安心	(経済的な)豊かさ	活力	生きがい	快適さ

<居住年数の状況（市民アンケート）>

居住年数	キーワード				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
1年未満	安全・安心	快適さ	(心の)豊かさ	やさしさ	活力 (自然の)豊かさ 楽しさ
1年～5年未満	安全・安心	快適さ	活力	(経済的な)豊かさ	(自然の)豊かさ
5年～10年未満	安全・安心	(経済的な)豊かさ 快適さ	※2番目は2項目が同率である	にぎわい 健やか	※4番目は2項目が同率である
10年～20年未満	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ
20年以上	安全・安心	(経済的な)豊かさ 快適さ	※2番目は2項目が同率である	活力	(心の)豊かさ

<居住地区別の状況（市民アンケート）>

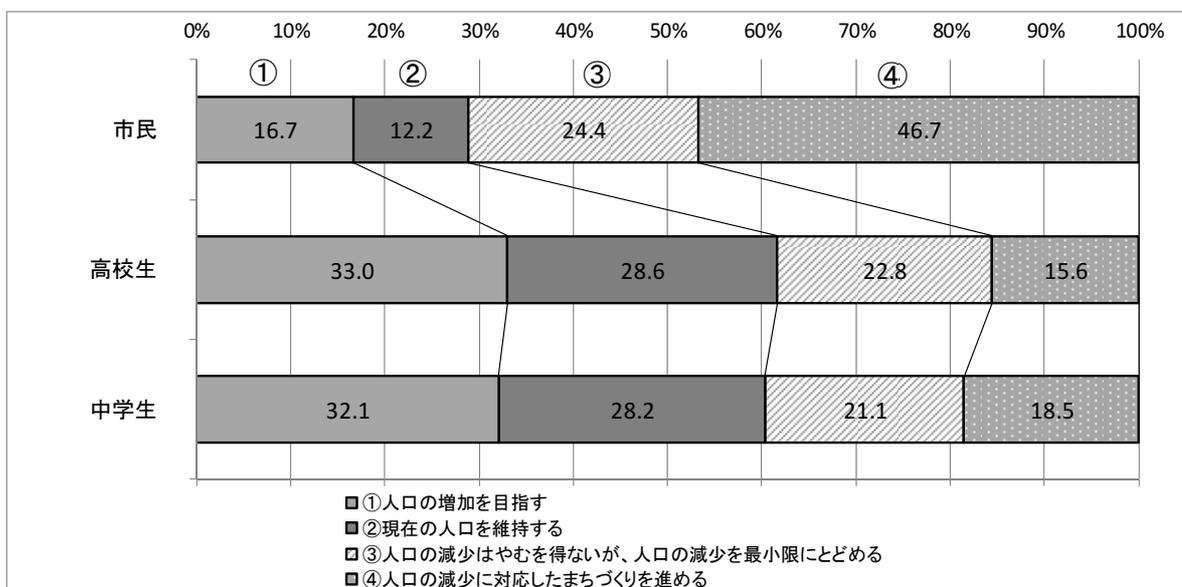
地区	キーワード				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
東	安全・安心	快適さ	活力	(経済的な)豊かさ	(心の)豊かさ
鉄南	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	にぎわい (心の)豊かさ
西	安全・安心	(経済的な)豊かさ 快適さ	※2番目は2項目が同率である	活力	生きがい
川北	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ
西帯広	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ
南	安全・安心	快適さ	(経済的な)豊かさ	活力	生きがい
農村	安全・安心	(経済的な)豊かさ	活力	(心の)豊かさ	快適さ 輝き

将来のまちづくりの方向性について③

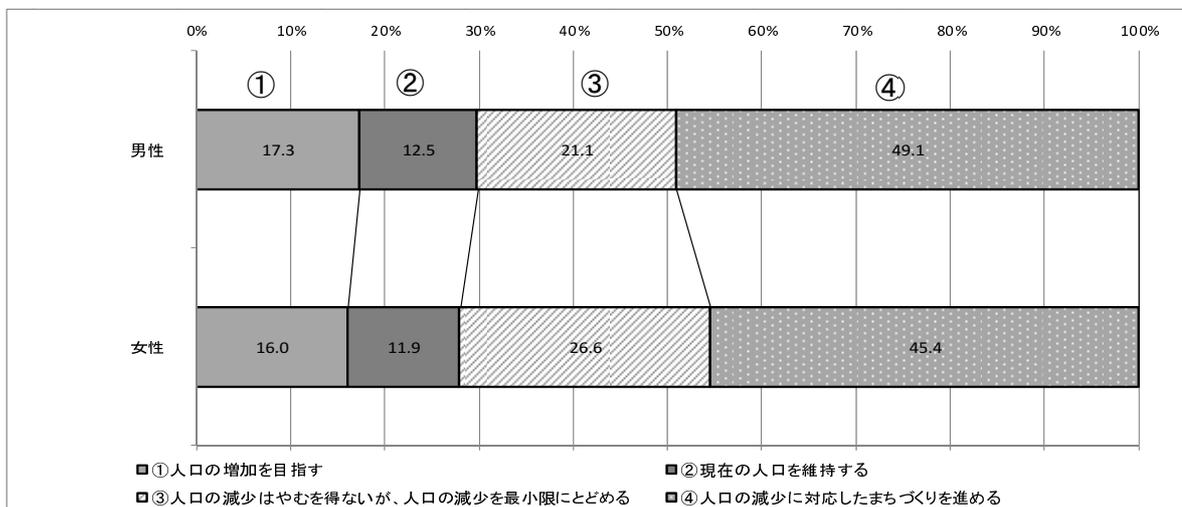
問 全国的に人口減少期を迎えており、帯広市においても、2060年の将来展望人口を2010年の人口の約22%減となる131,184人と見込んでいます。帯広市はこうした状況にどのように対応すべきだと思いますか。

問7（市民アンケート）・問4（高校生アンケート、中学生アンケート）

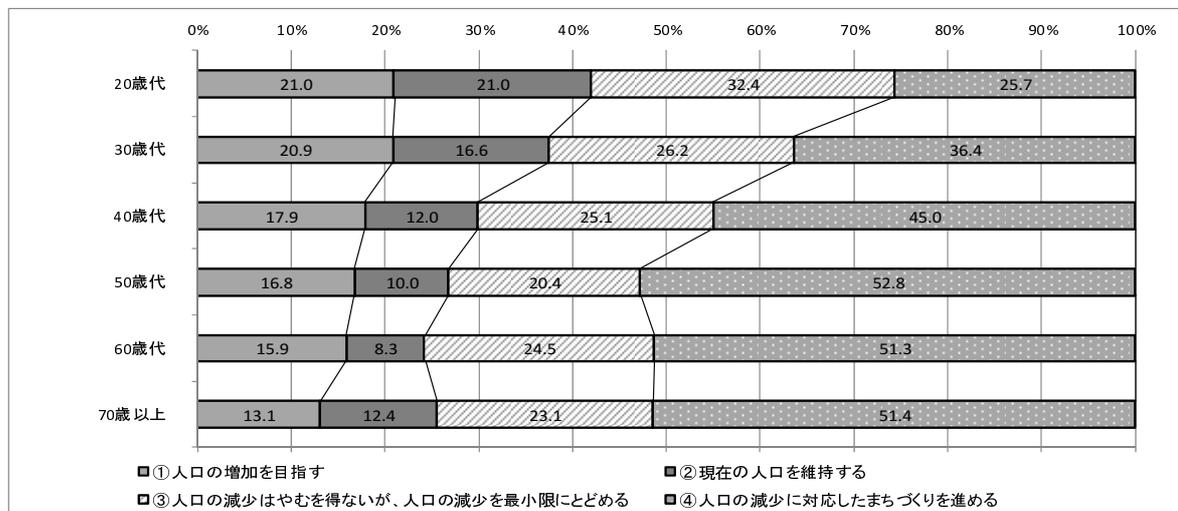
- ・市民の約5割が、「④人口の減少に対応したまちづくりを進める」と回答している一方、高校生・中学生の約6割は、「①人口の増加を目指す」もしくは、「②現在の人口を維持する」と回答している。
- ・年代別では、年代が高いほうが、「④人口の減少に対応したまちづくりを進める」との回答割合が高い傾向にある。



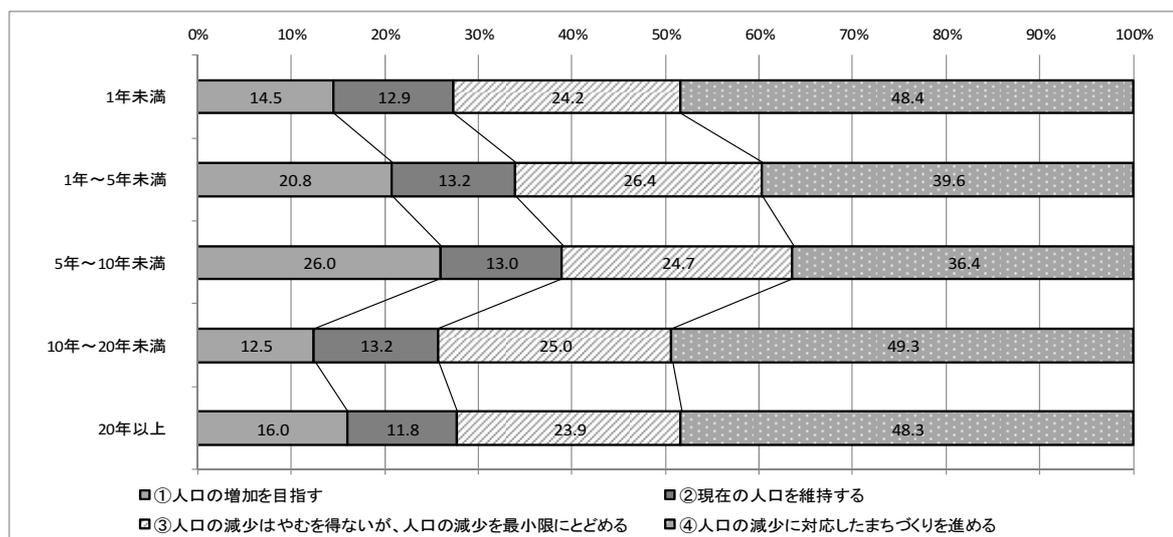
<性別の状況（市民アンケート）>



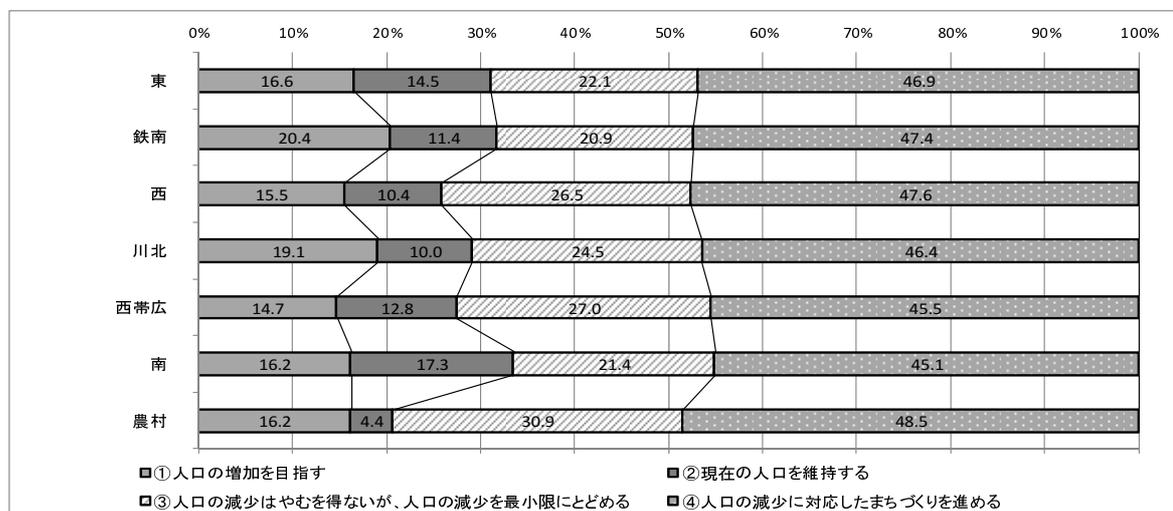
<年代別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～④の順



<居住年数別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～④の順



<居住地区別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～④の順

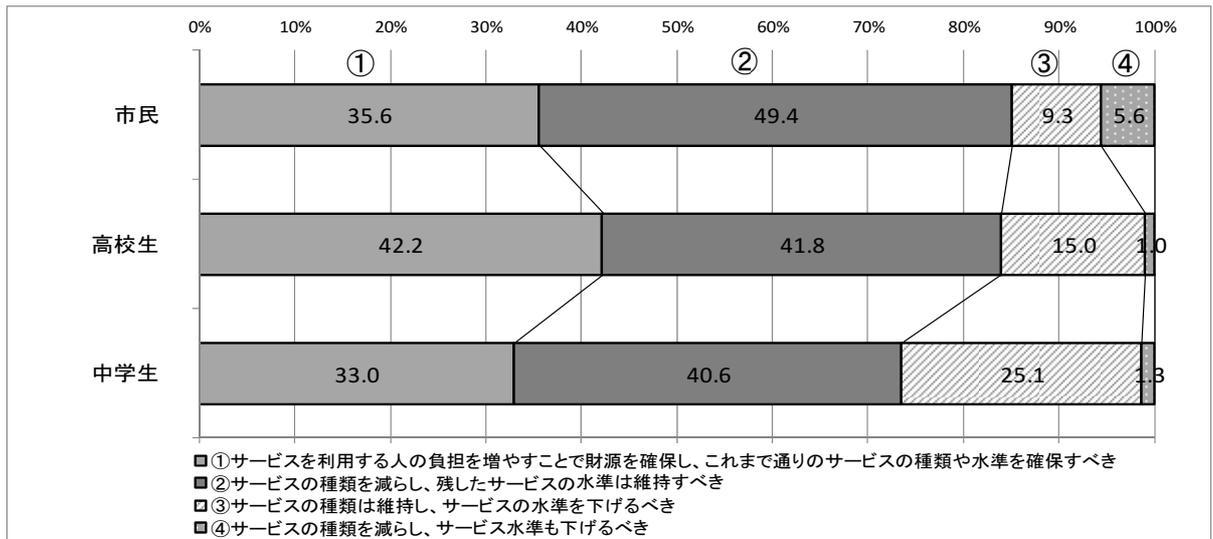


将来のまちづくりの方向性について④

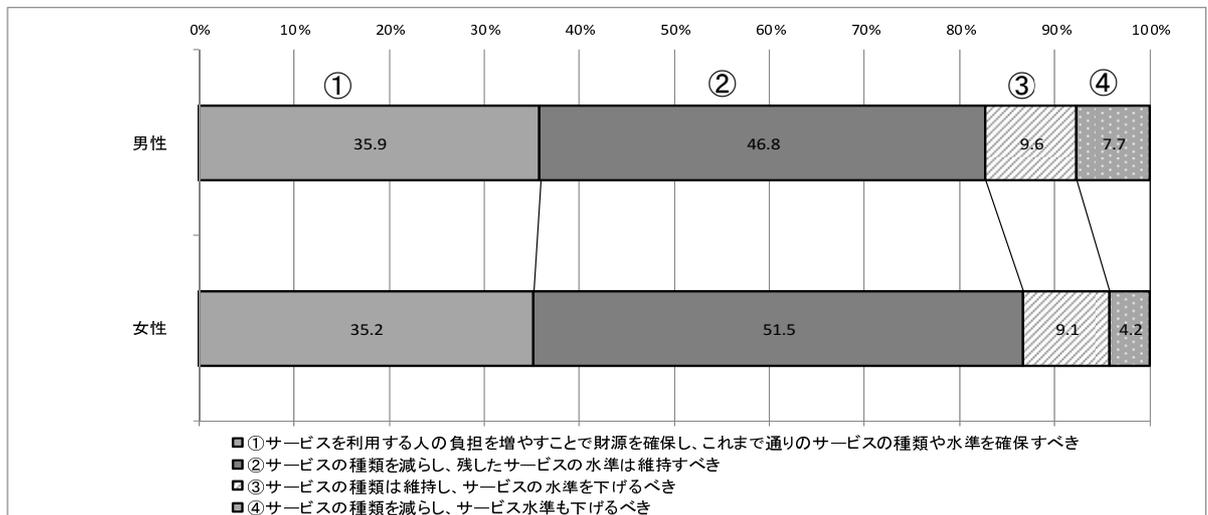
問 今後、少子高齢化の進行などにより、市の財政状況が厳しさを増していく中で、限られた財源をより効率的かつ効果的に配分し活用していくまちづくりが求められます。こうした時代を迎え、市が実施するサービスはどうあるべきと考えますか。

問8（市民アンケート）・問5（高校生アンケート、中学生アンケート）

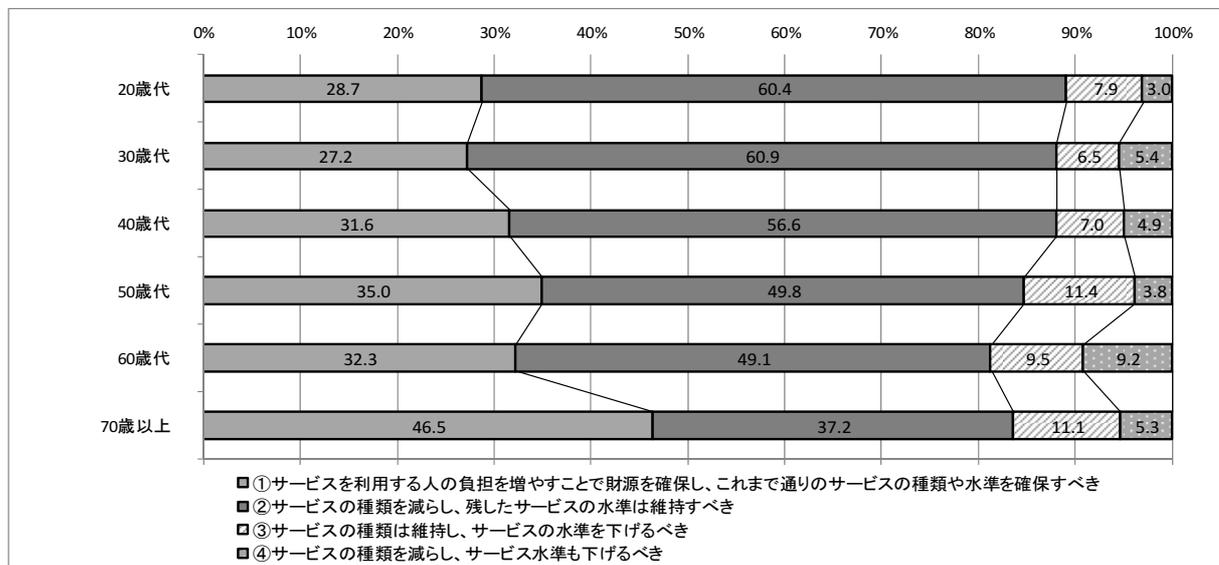
- ・市民の約5割、高校生・中学生の約4割は、「④サービスの種類を減らし、残したサービスの水準は維持すべき」と回答している。
- ・また、高校生の約4割、市民・中学生の約3割が、「①サービスを利用する人の負担を増やすことで財源を確保し、これまで通りのサービスの種類や水準を維持すべき」と回答している。
- ・年代別では、年代が高いほうが、「①サービスを利用する人の負担を増やすことで財源を確保し、これまで通りのサービスの種類や水準を維持すべき」との回答割合が高い傾向にある。



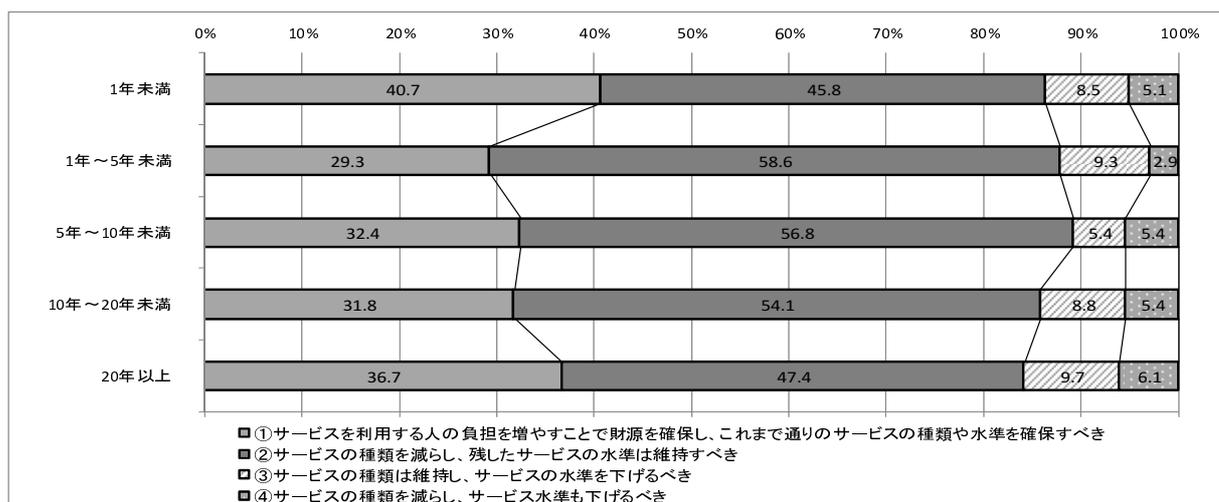
<性別の状況（市民アンケート）>



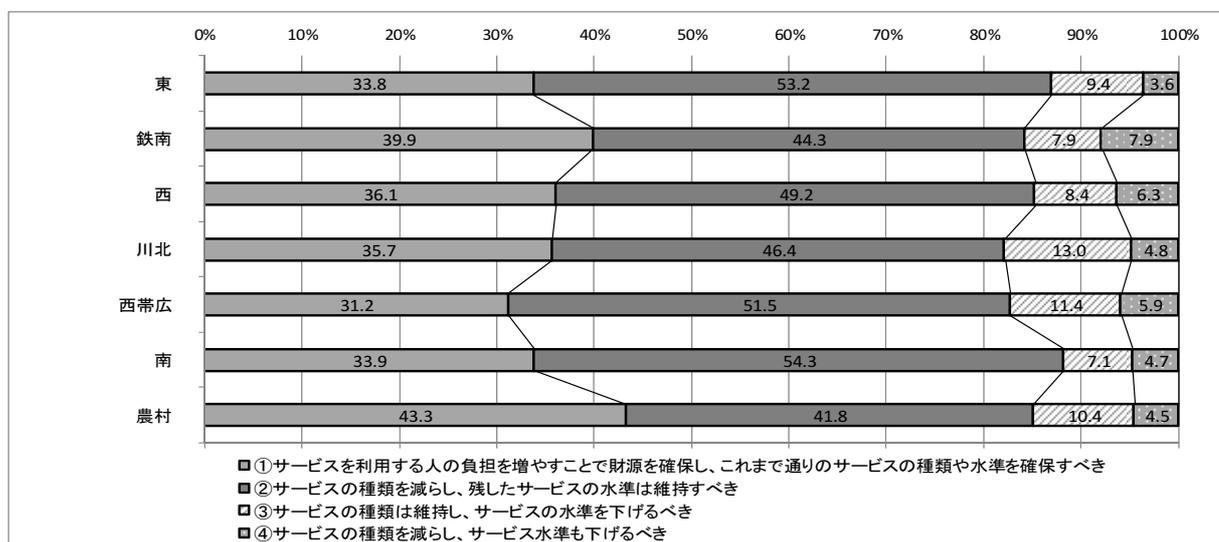
<年代別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～④の順



<居住年数別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～④の順



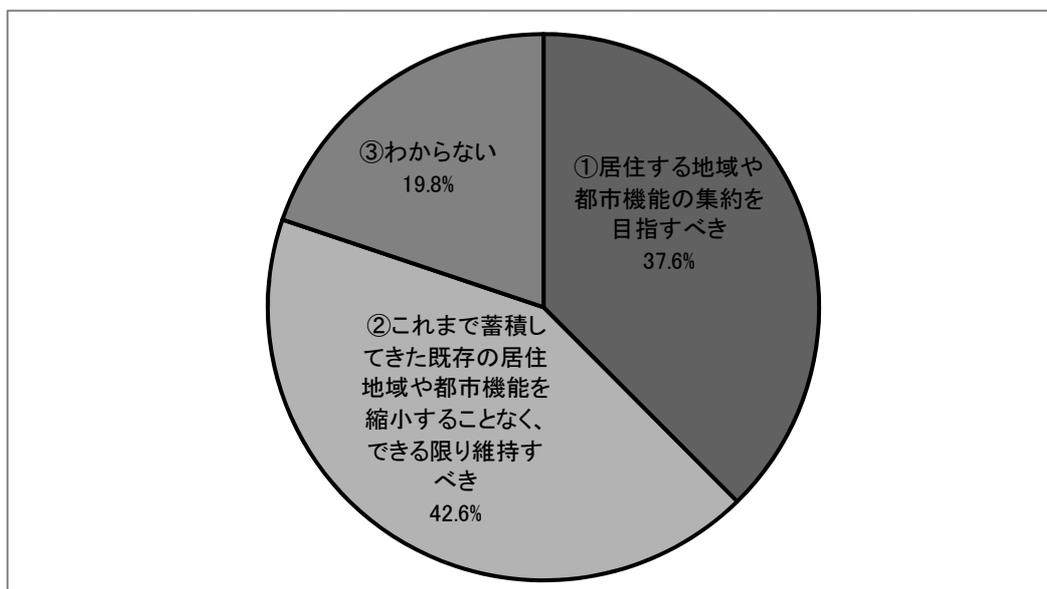
<居住地区別の状況（市民アンケート）> ※グラフ左側より①～④の順



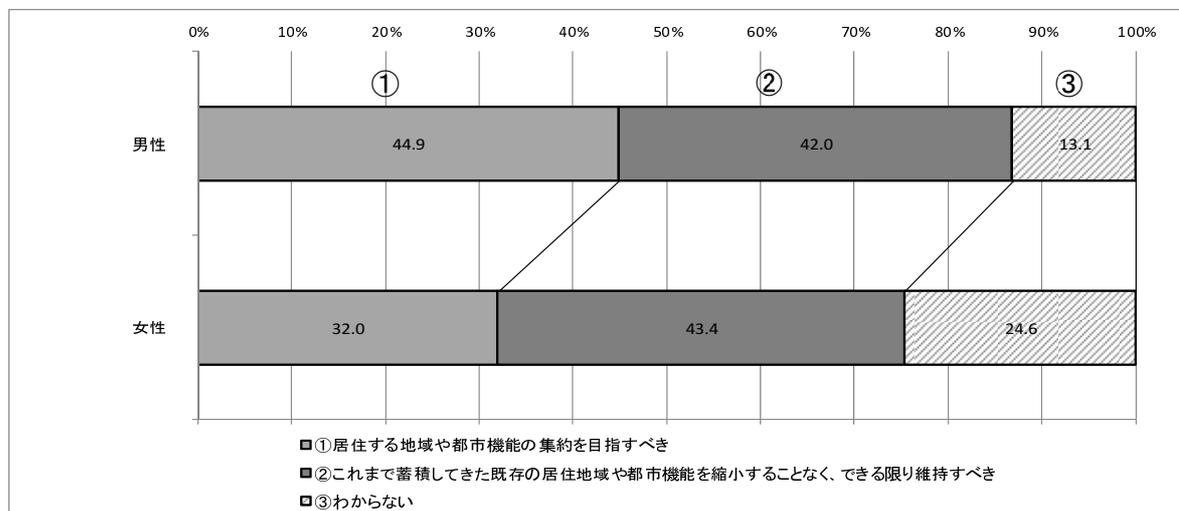
将来のまちづくりの方向性について⑤

問 帯広市はこれまで、人口の増加に伴い、郊外に住宅地を拡大し、様々な公共施設等を整備してきました。今後、人口減少や少子高齢化が一層進むことが見込まれる中で、今後のまちづくりの方向性について、どのようにしていくべきだと考えますか。 問9（市民アンケート）

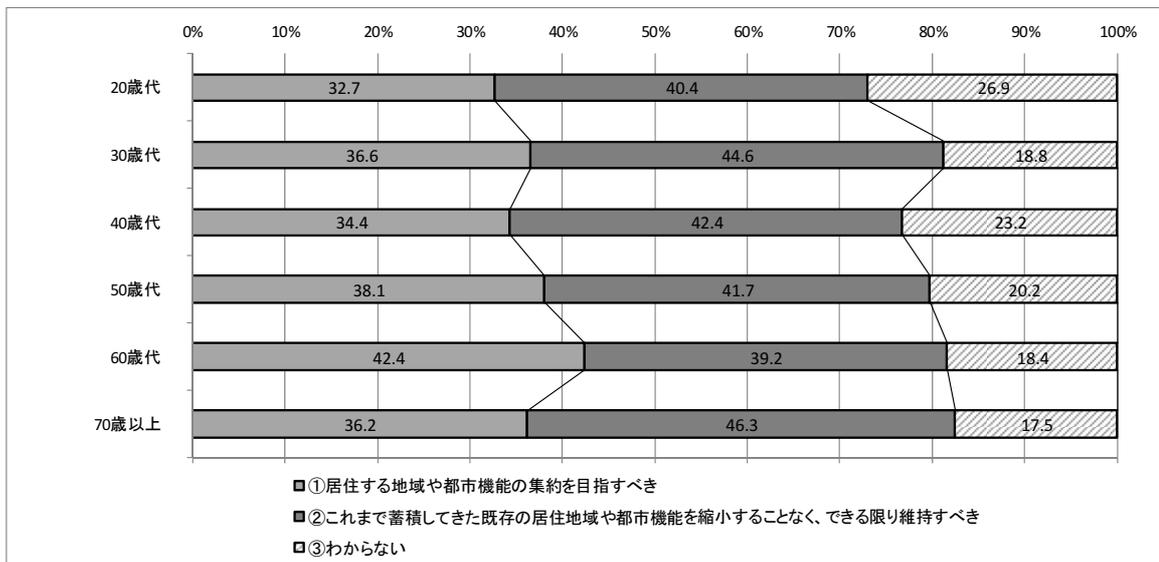
- ・「①居住する地域や都市機能の集約を目指すべき」と「②これまでの居住地域や都市機能をできる限り維持すべき」との回答割合がそれぞれ全体の約4割を占めている。
- ・居住地区別では、東地区、鉄南地区が、他の地区と比べ、「①居住する地域や都市機能の集約を目指すべき」との回答割合が高くなっている。



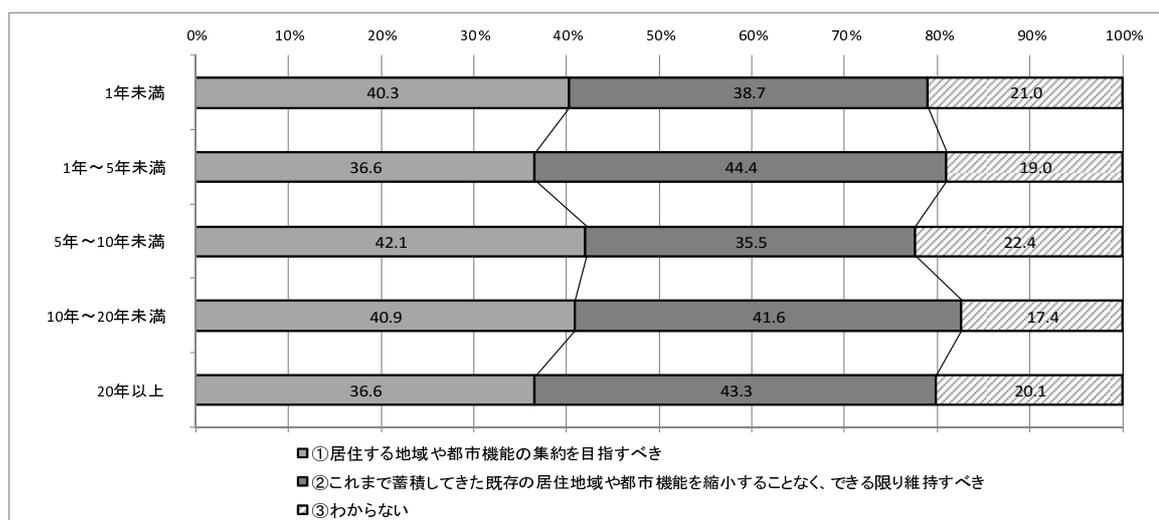
<性別の状況>



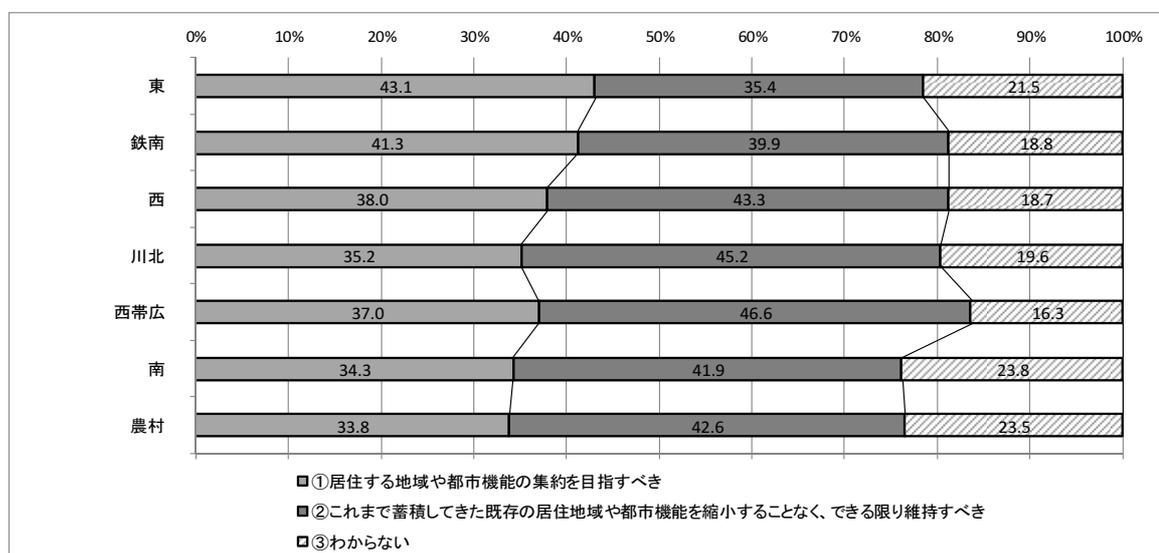
<年代別の状況> ※グラフ左側より①～③の順



<居住年数別の状況> ※グラフ左側より①～③の順



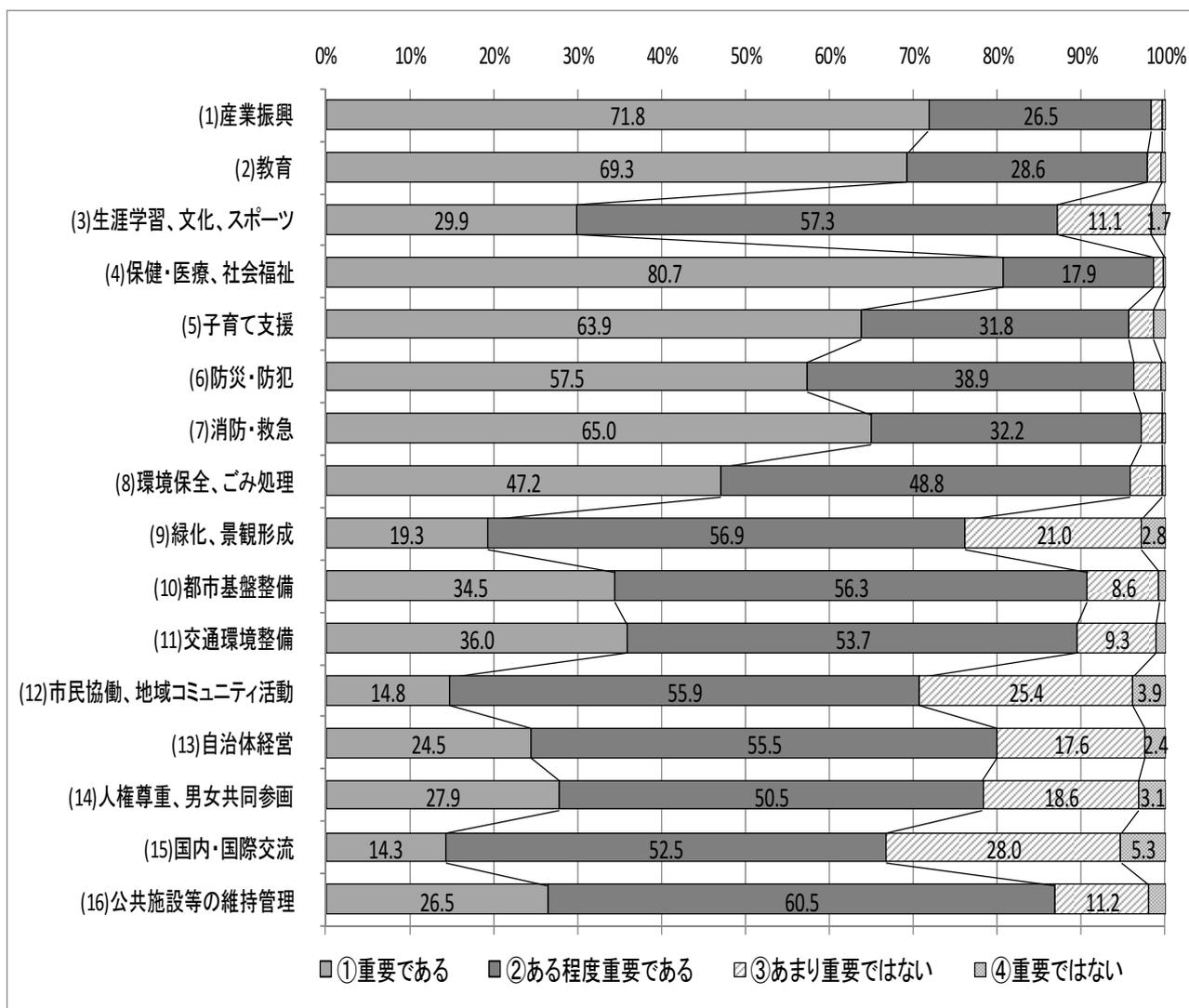
<居住地区別の状況> ※グラフ左側より①～③の順



将来のまちづくりの方向性について⑥

問 今後のまちづくりにおいて、以下の表の各項目（施策）の重要度について、どのように考えますか。 問10（市民アンケート）

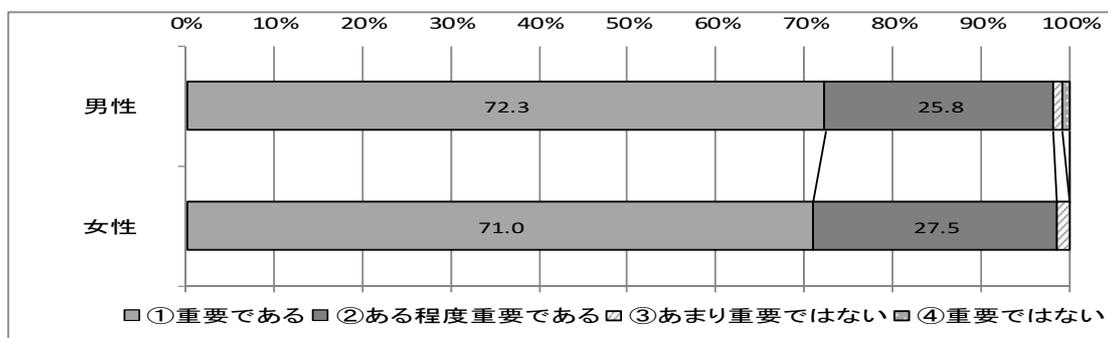
- ・各項目のうち、「重要である」もしくは、「ある程度重要である」との回答割合が高いのは、「(4)保健・医療、社会福祉」、「(1)産業振興」、「(2)教育」、「(7)消防・救急」、「(6)防災・防犯」、「(8)環境保全、ごみ処理」、「(5)子育て支援」などとなっている。
- ・「(15)国内・国際交流」、「(12)市民協働、地域コミュニティ活動」、「(9)緑化、景観形成」、「(14)人権尊重、男女共同参画」、「(13)自治体経営」などは、他の項目と比べ、「あまり重要ではない」もしくは、「重要ではない」との回答割合が高くなっている。



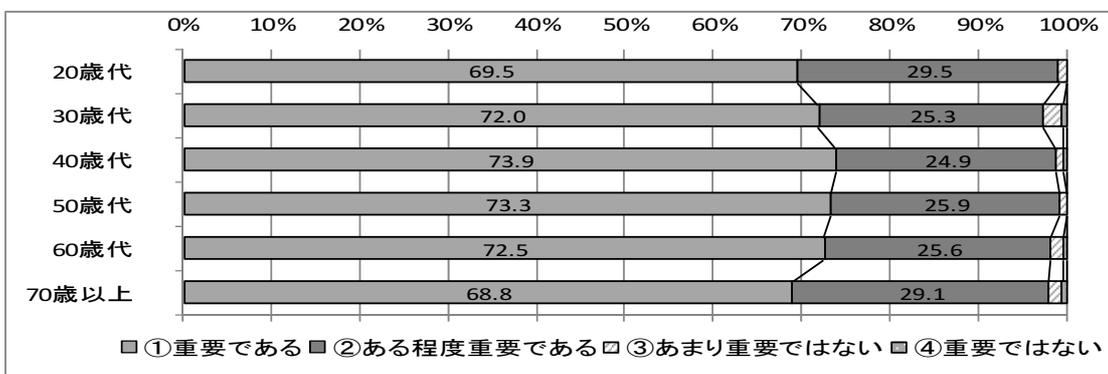
(1) 産業振興

・居住地区別では、農村地区が他の地区と比べ、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



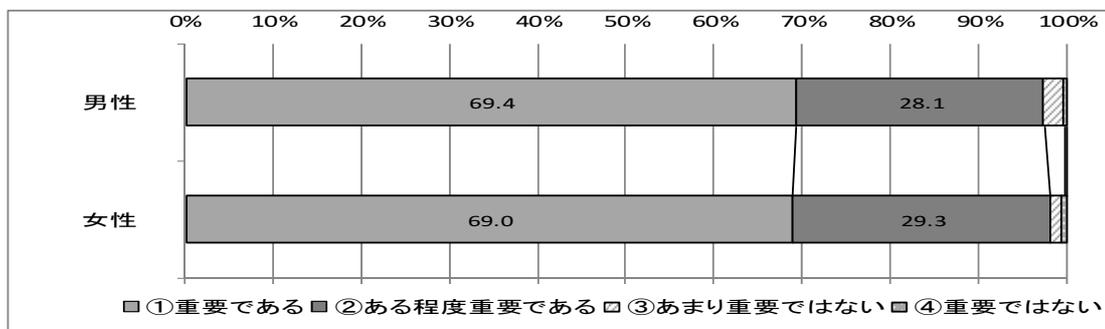
<居住地区別の状況>



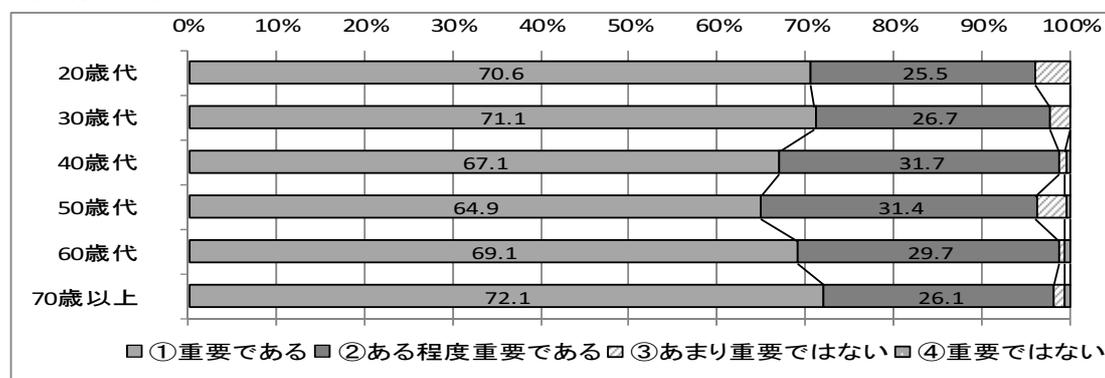
(2) 教育

・年代別では、20～30歳代、60歳代以上において、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

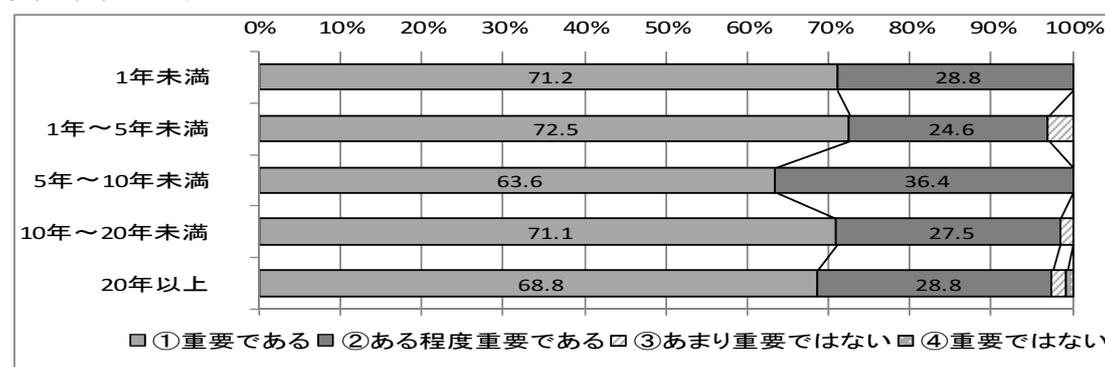
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



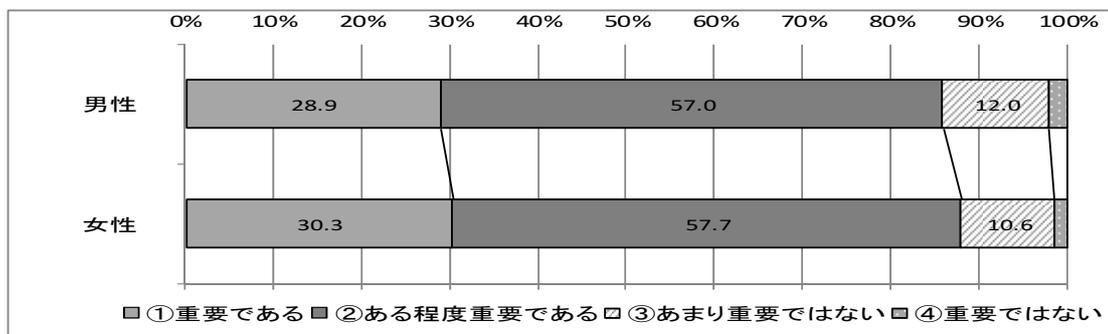
<居住地区別の状況>



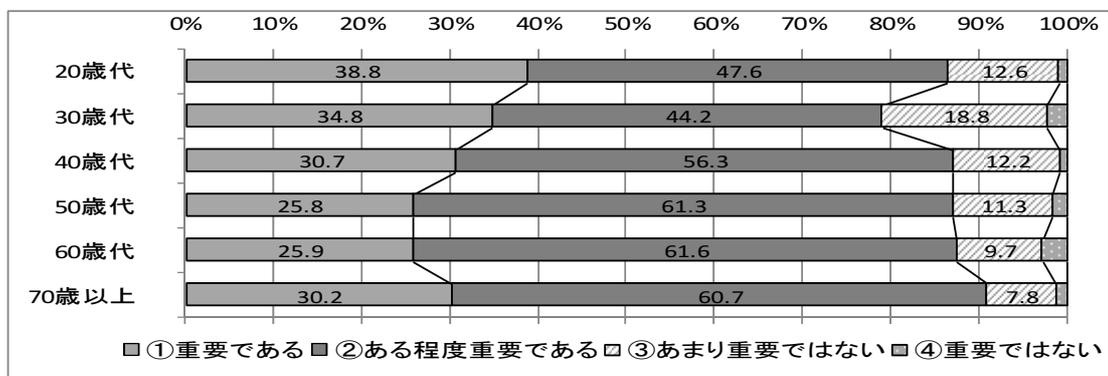
(3) 生涯学習、文化、スポーツ

・年代別では、年代が低いほうが、「①重要である」との回答割合が高い傾向にある。

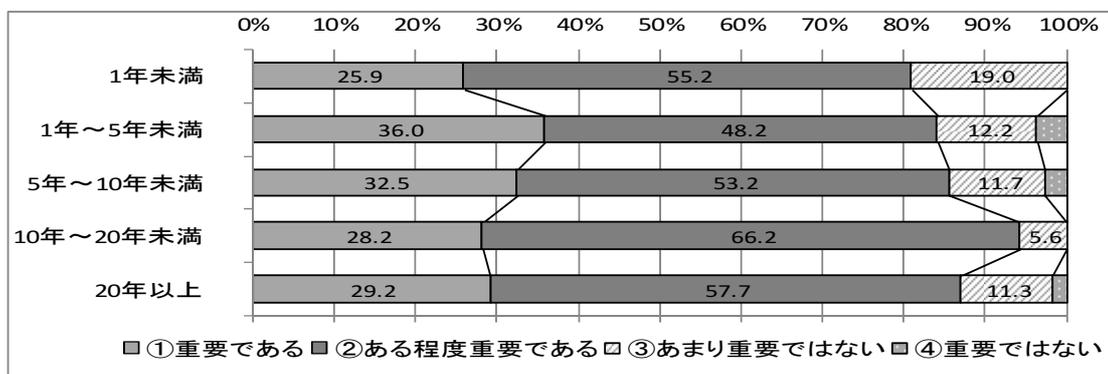
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



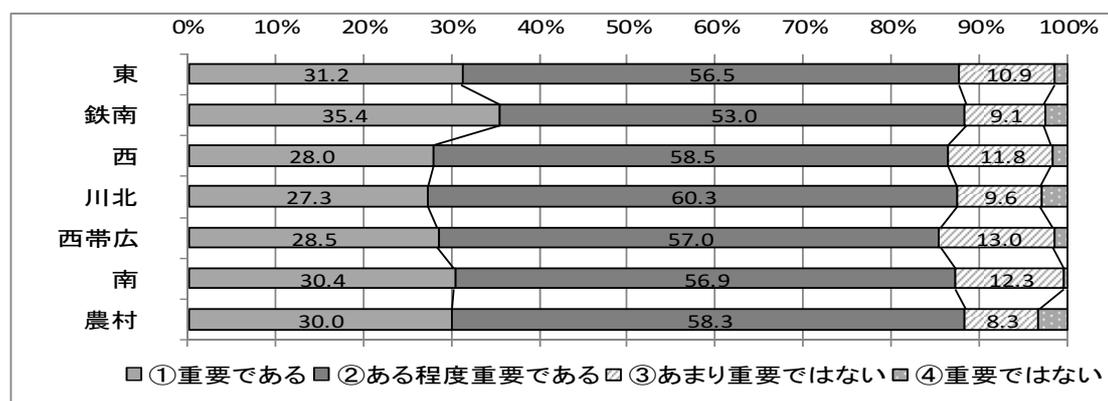
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



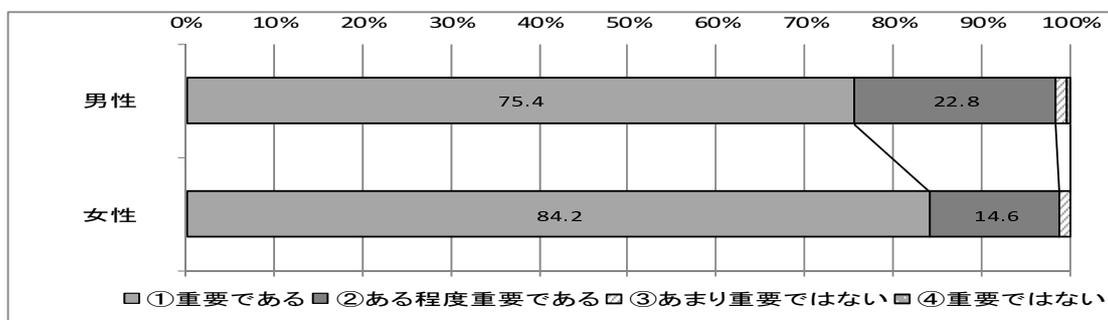
<居住地区別の状況>



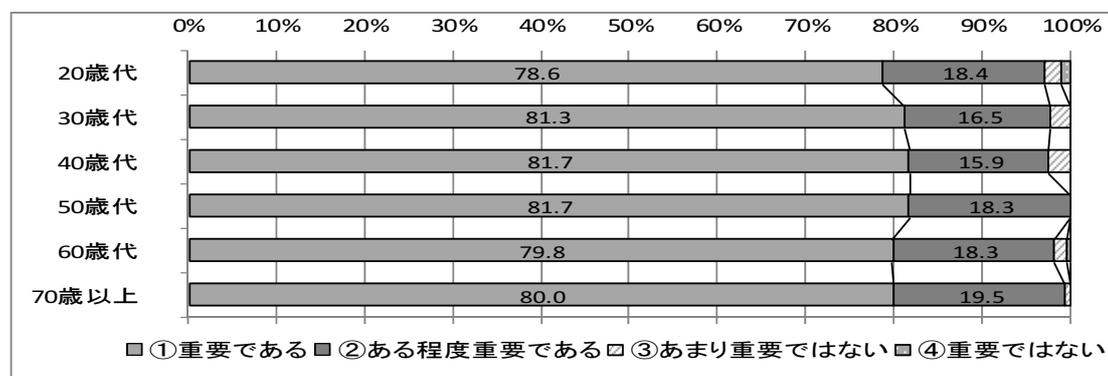
(4) 保健・医療、社会福祉

・居住地区別では、西地区、川北地区、西帯広地区が他の地区と比べ、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

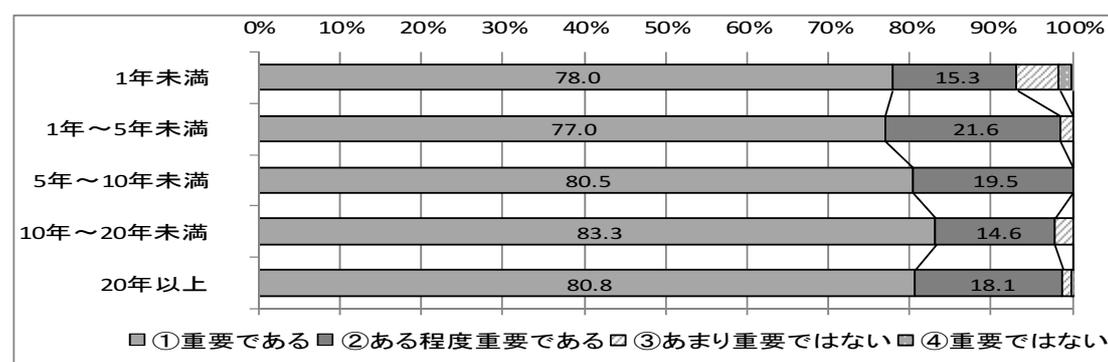
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



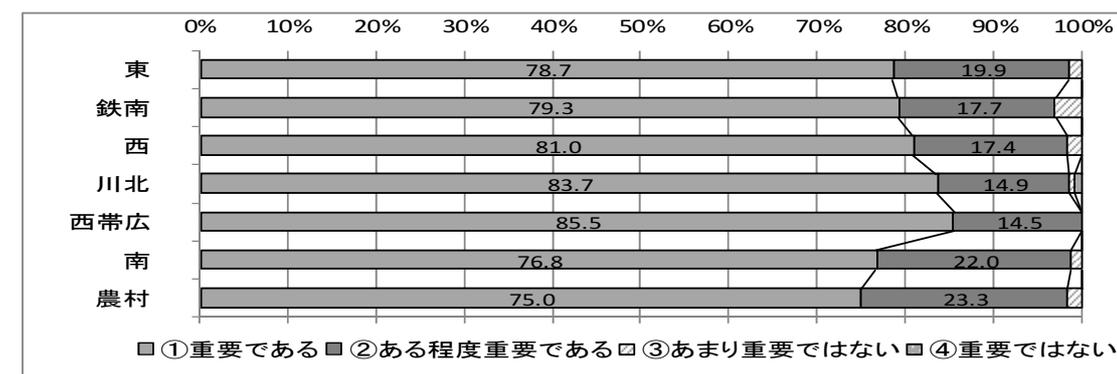
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



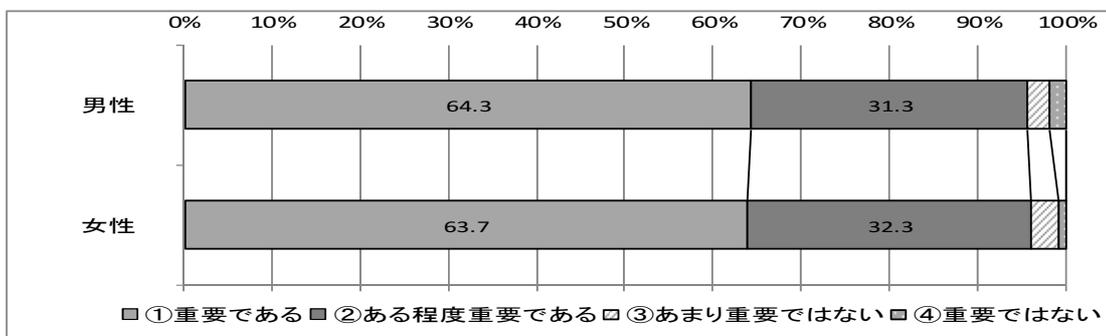
<居住地区別の状況>



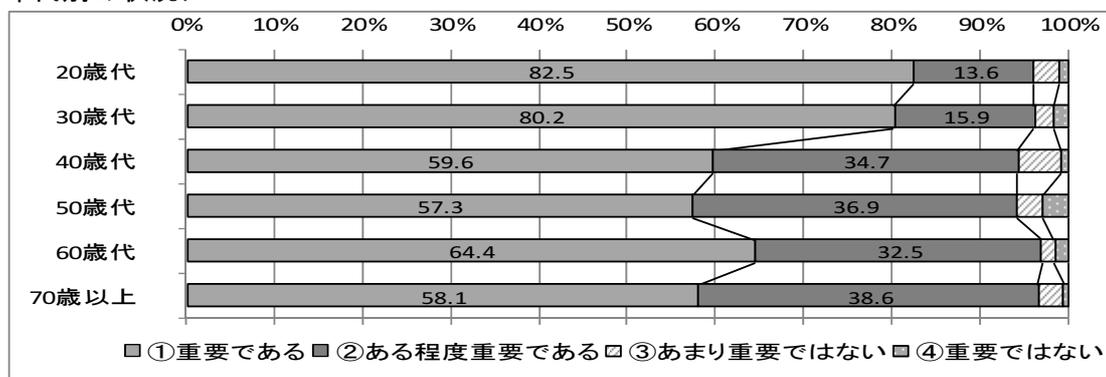
(5) 子育て支援

・年代別では、20～30歳代において、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

＜性別の状況＞ ※グラフ左側より①～④の順



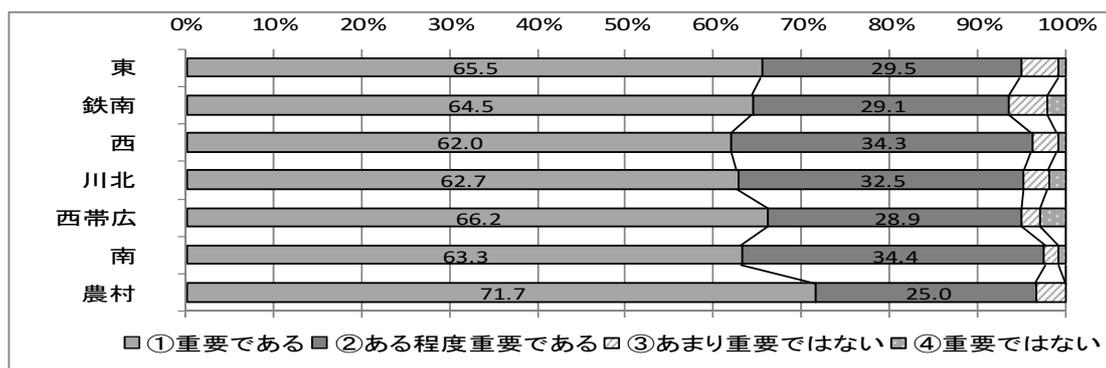
＜年代別の状況＞



＜居住年数別の状況＞



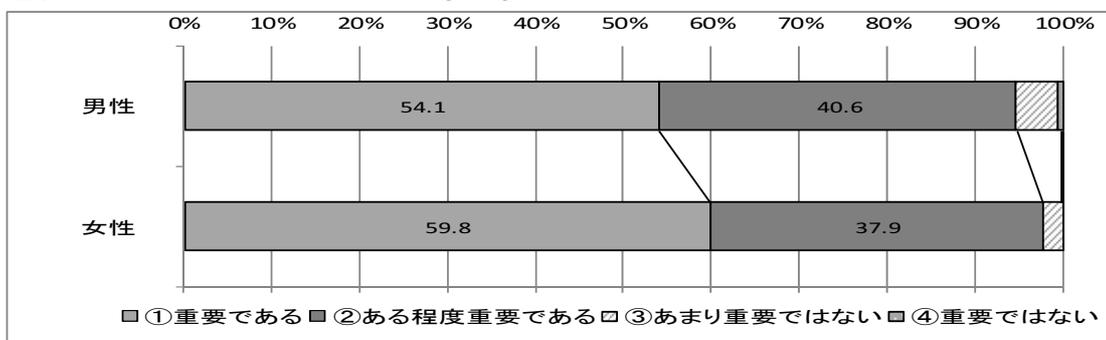
＜居住地区別の状況＞



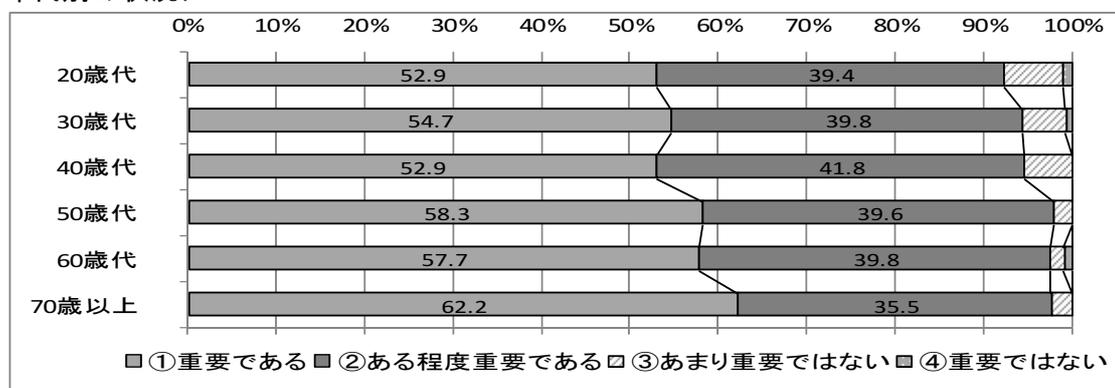
(6) 防災・防犯

・年代別では、年代が高いほうが、地区別では東地区が「①重要である」との回答割合が高い傾向にある。

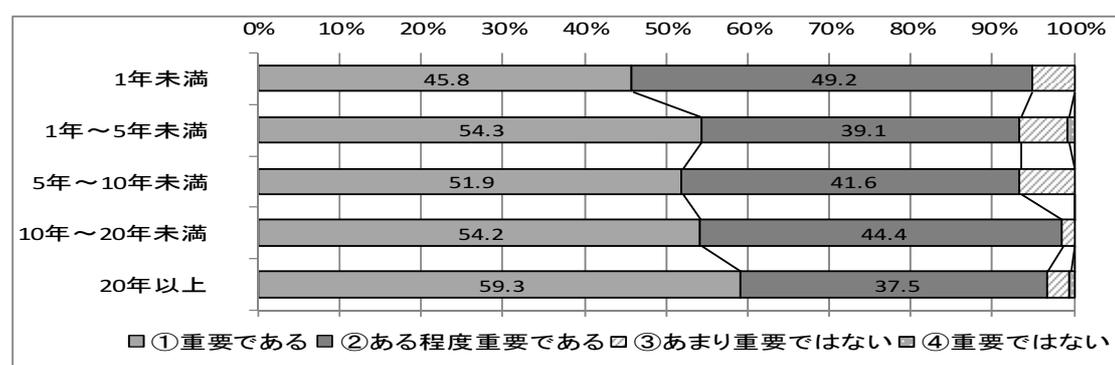
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



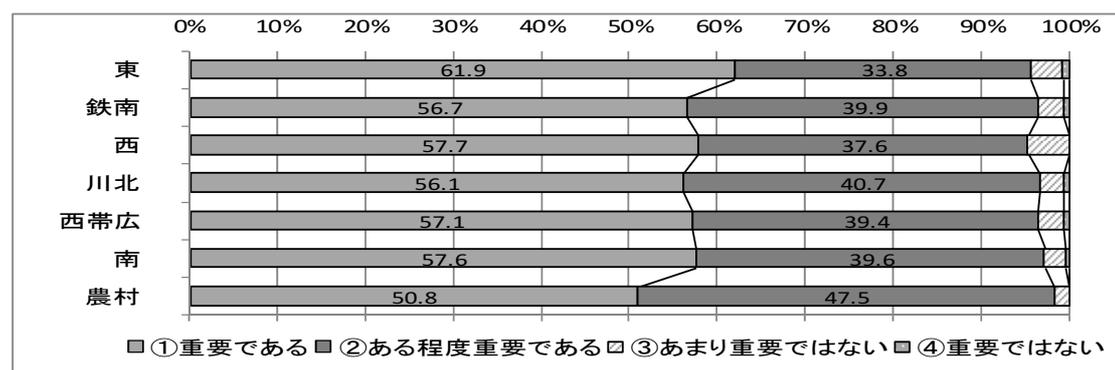
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



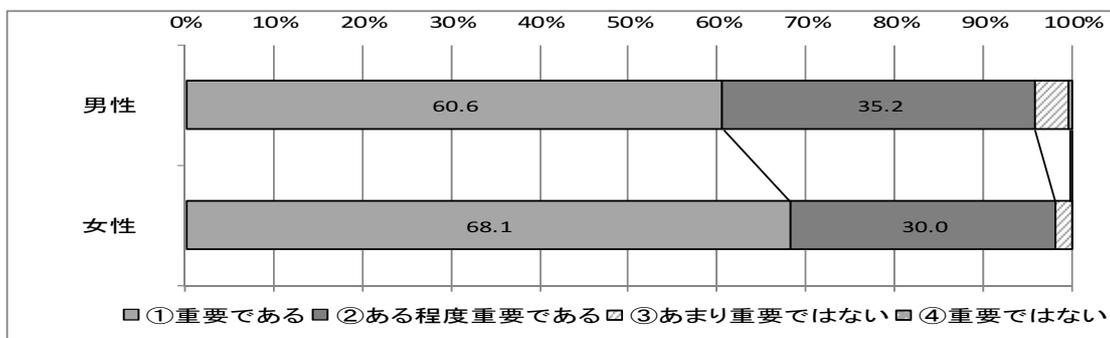
<居住地区別の状況>



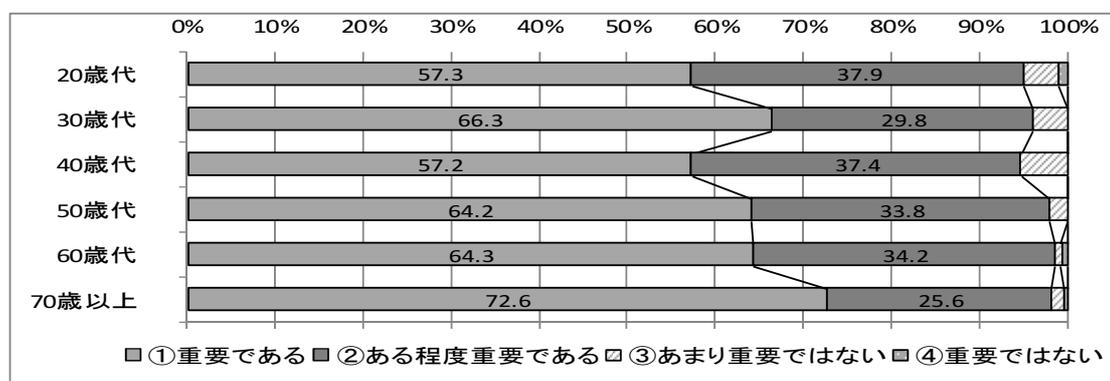
(7) 消防・救急

・年代別では、30歳代を除くと、年代が高いほうが、「①重要である」との回答割合が高い傾向にある。

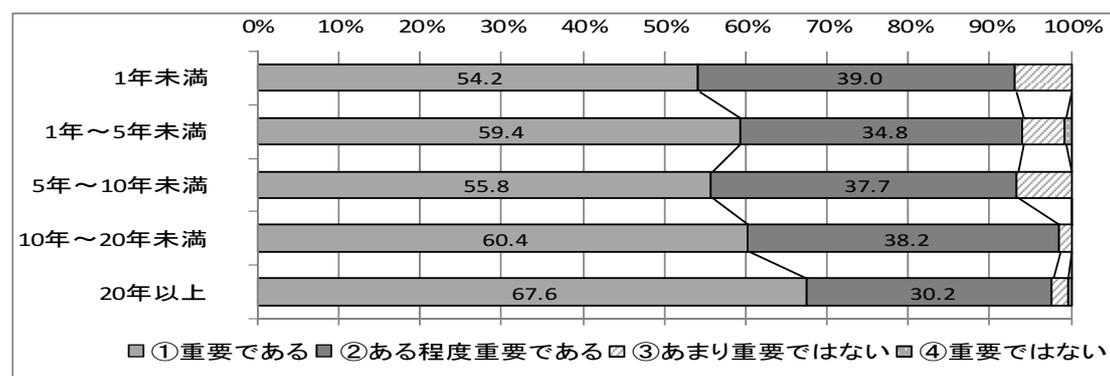
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



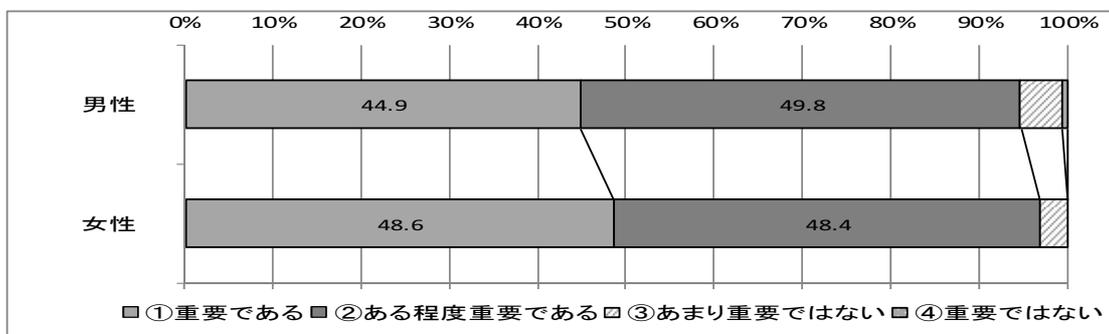
<居住地区別の状況>



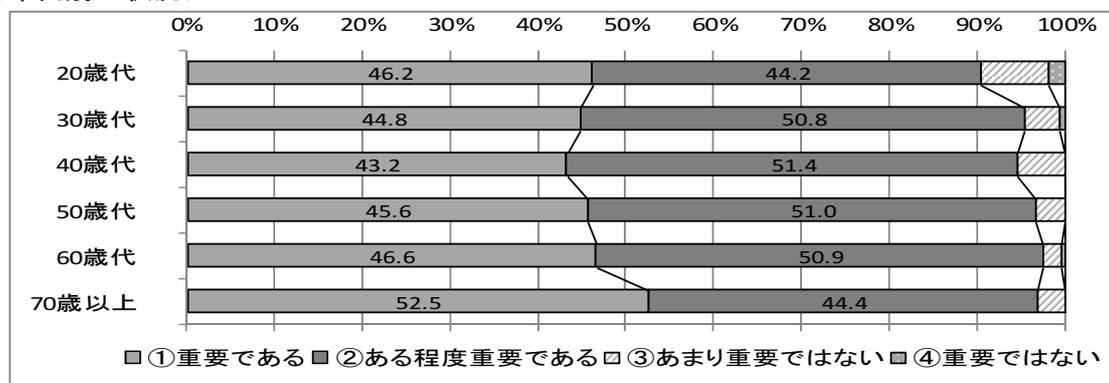
(8) 環境保全、ごみ処理

・年代別では、年代が高いほうが、「①重要である」との回答割合が高い傾向にある。

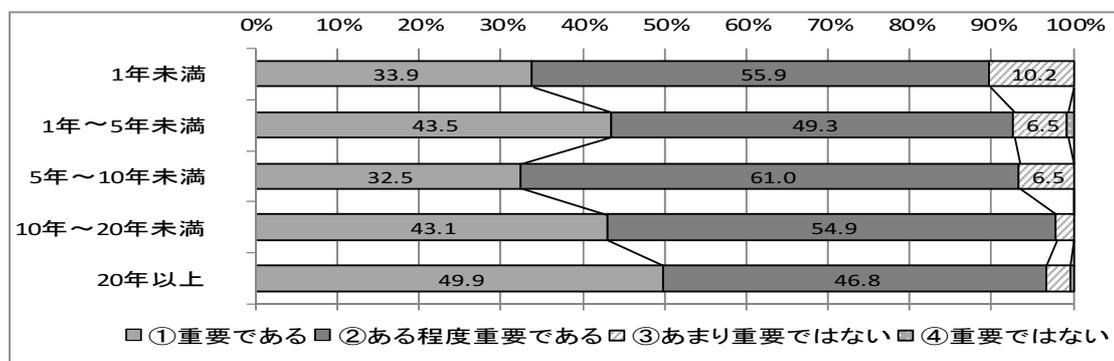
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



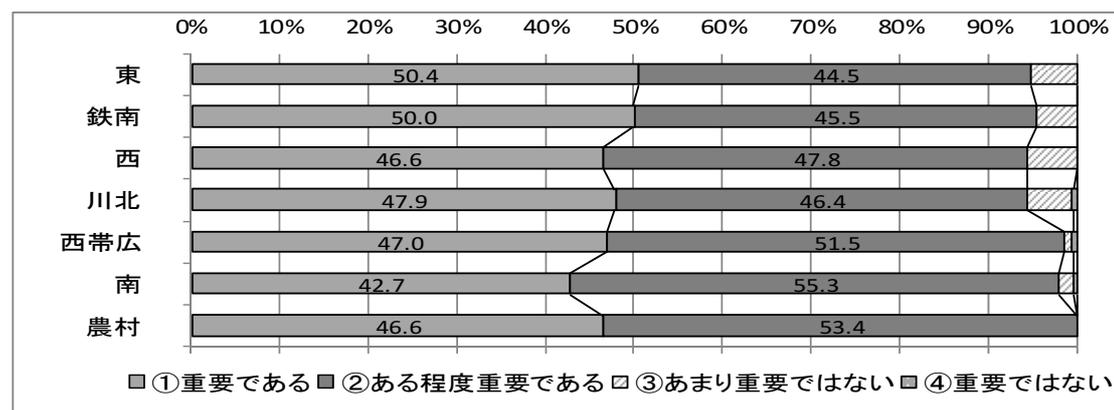
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



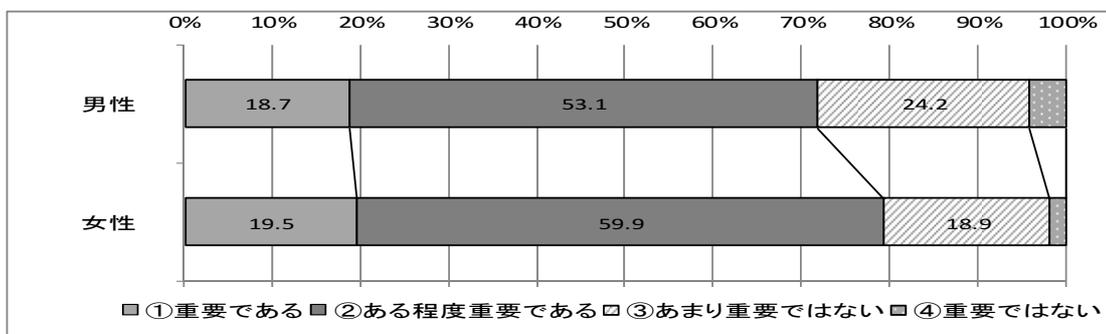
<居住地区別の状況>



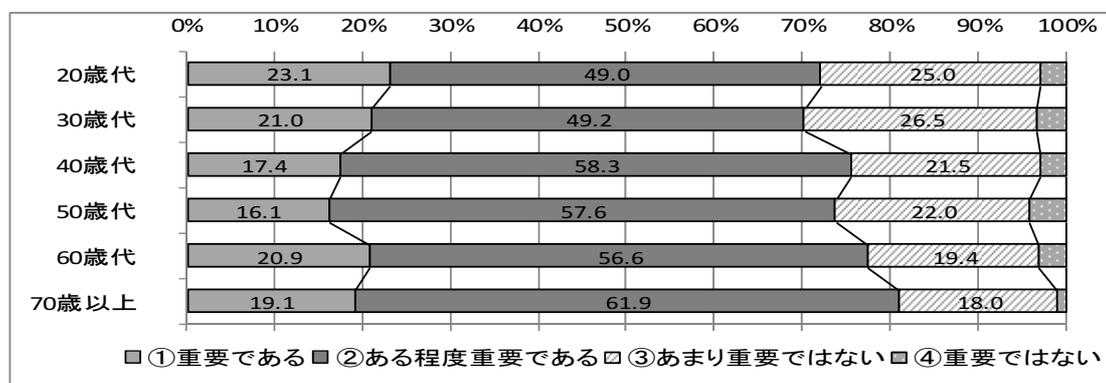
(9) 緑化、景観形成

・居住地区別では、農村地区が他の地区と比べ、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

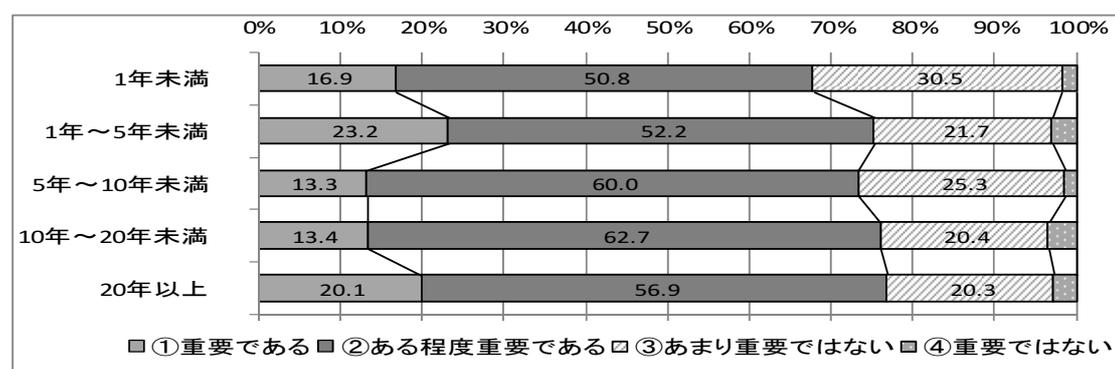
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



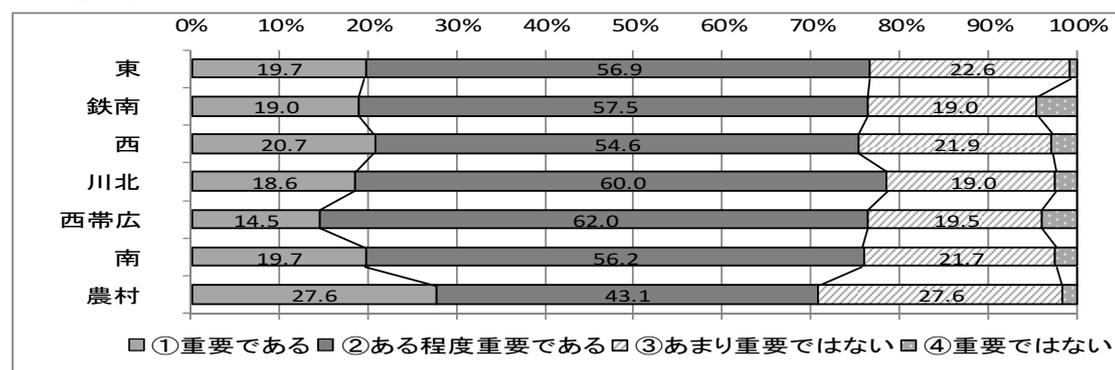
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



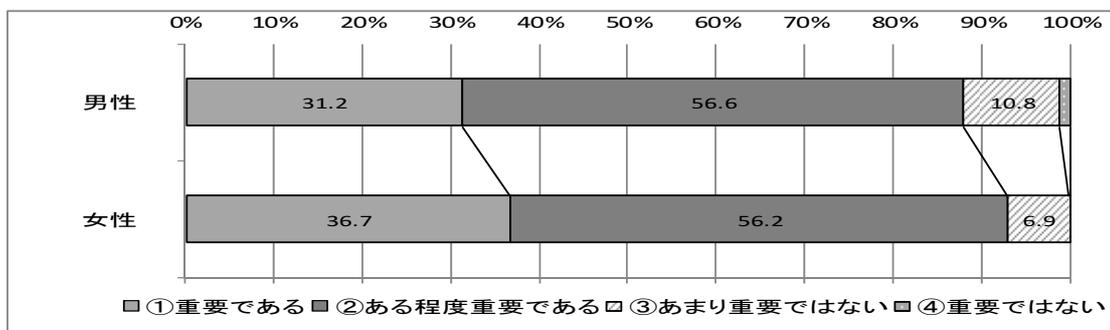
<居住地区別の状況>



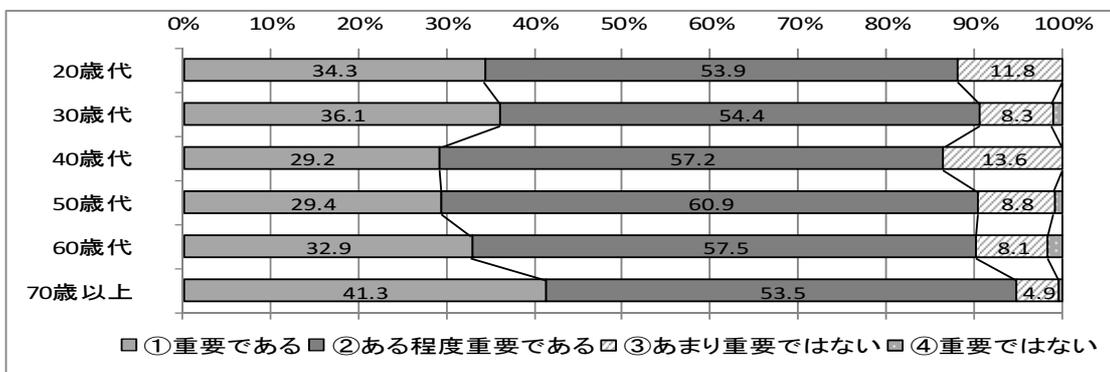
(10) 都市基盤整備

・年代別では、20～30歳代、70歳以上において、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

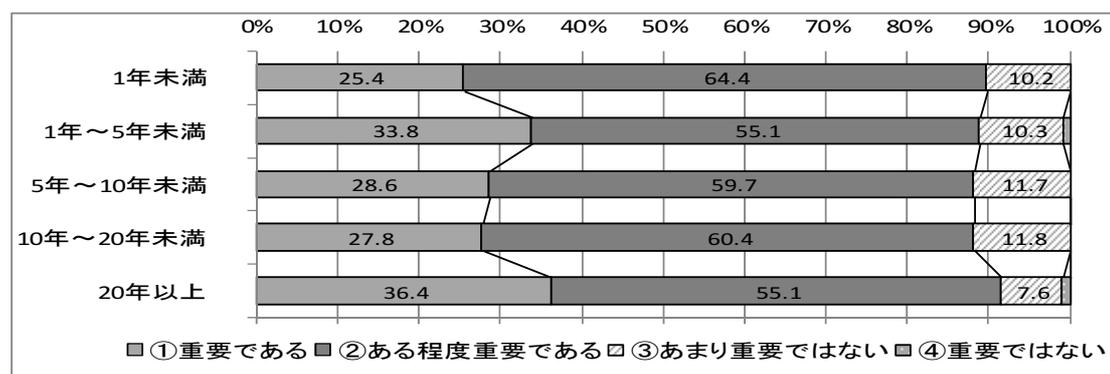
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



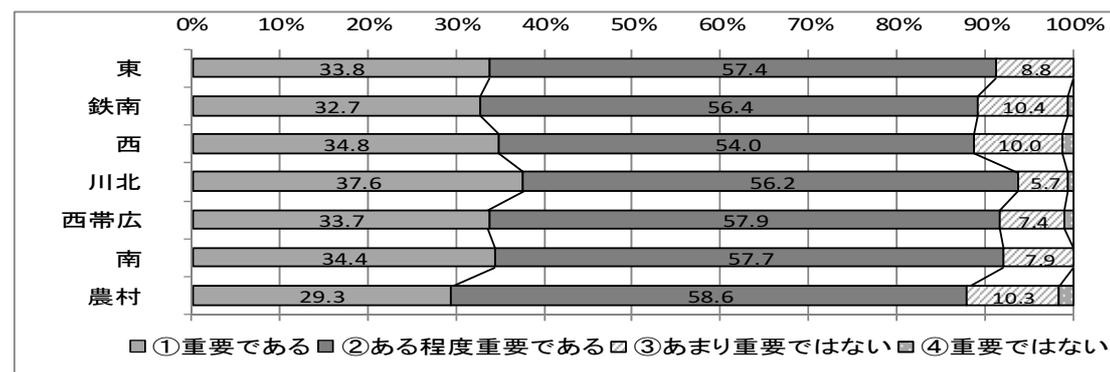
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



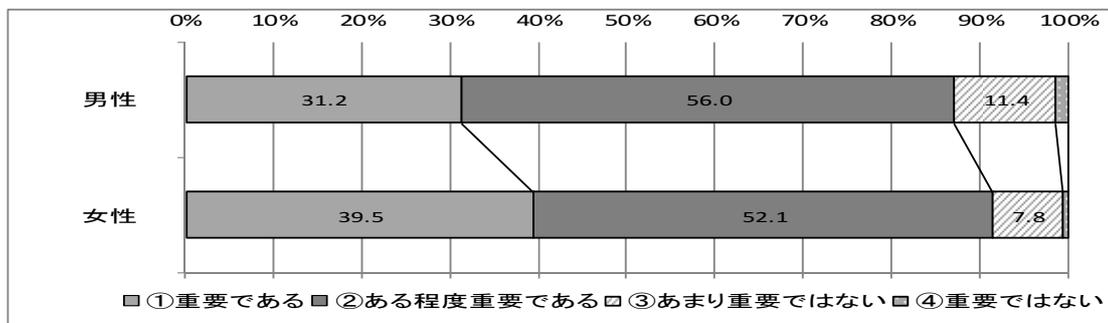
<居住地区別の状況>



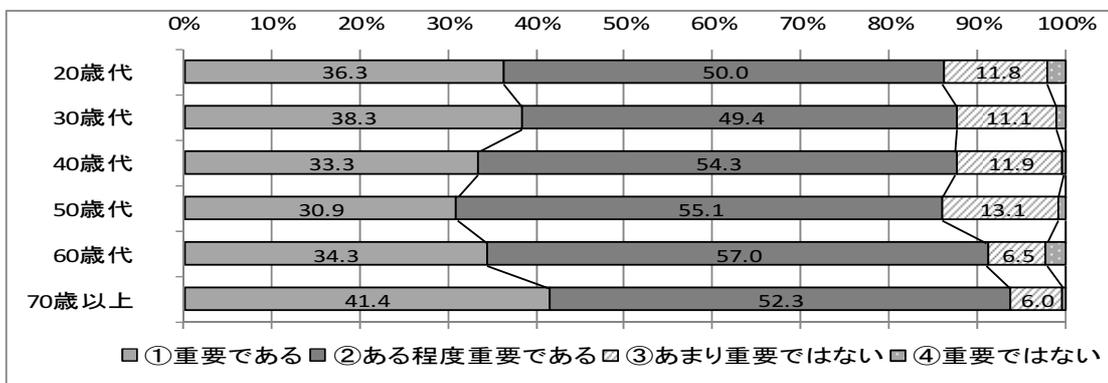
(11) 交通環境整備

・年代別では、20～30歳代、70歳以上において、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

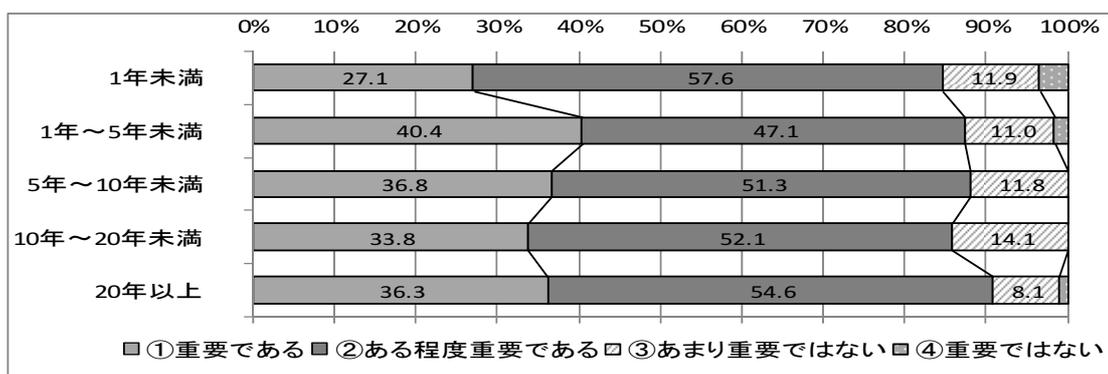
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



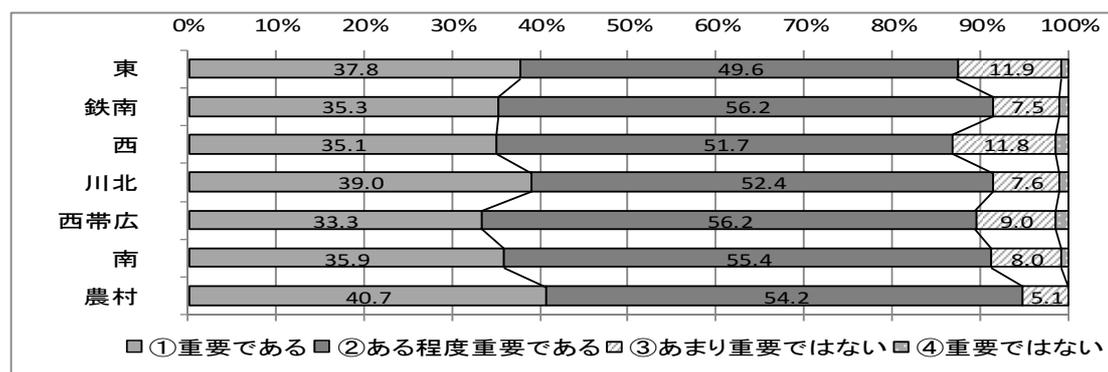
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



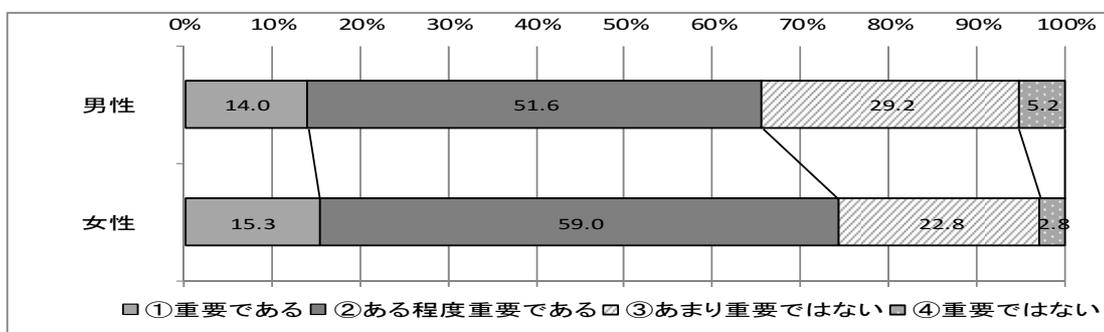
<居住地区別の状況>



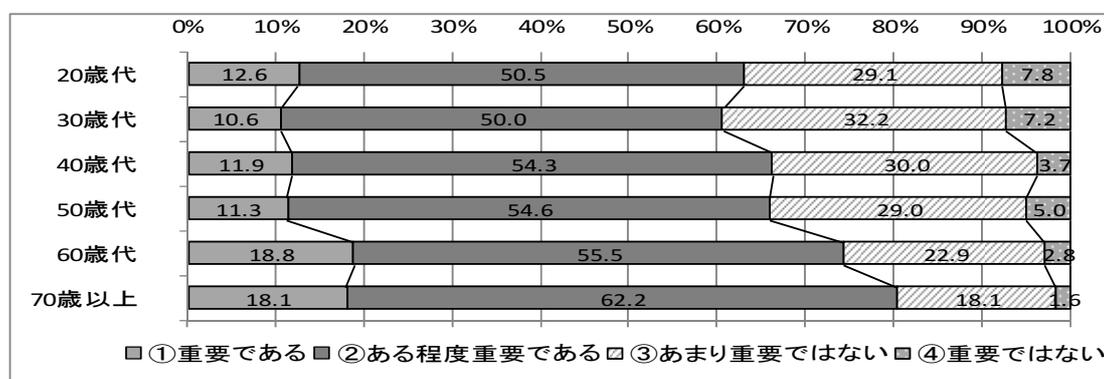
(12) 市民協働、地域コミュニティ活動

・年代別では、年代が低いほうが、「③あまり重要ではない」、「④重要ではない」との回答割合が高い傾向にある。

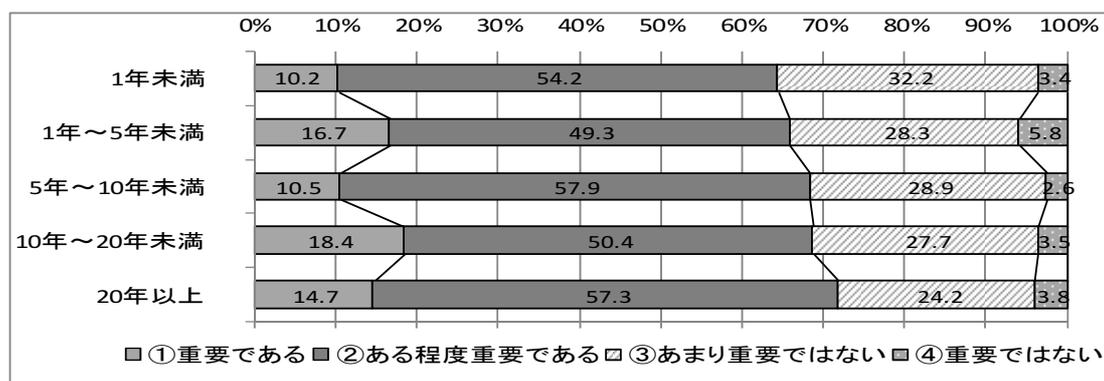
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



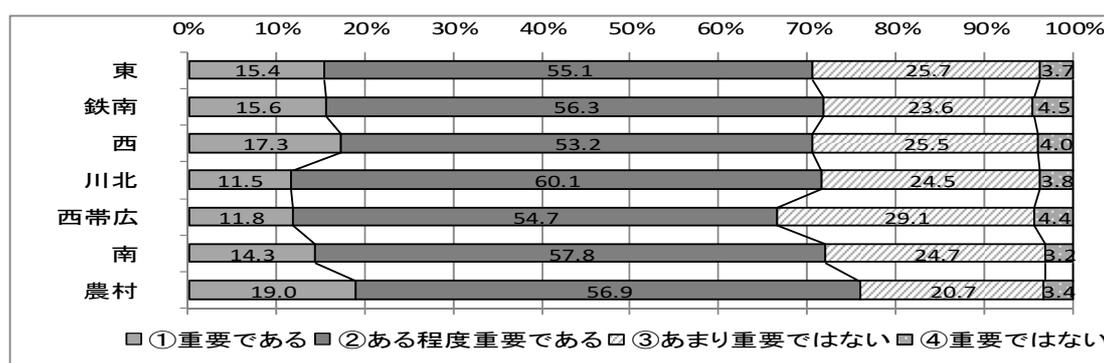
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



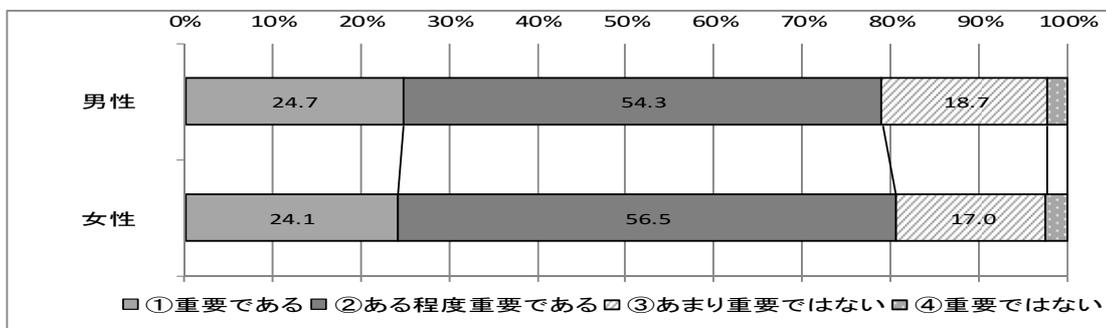
<居住地区別の状況>



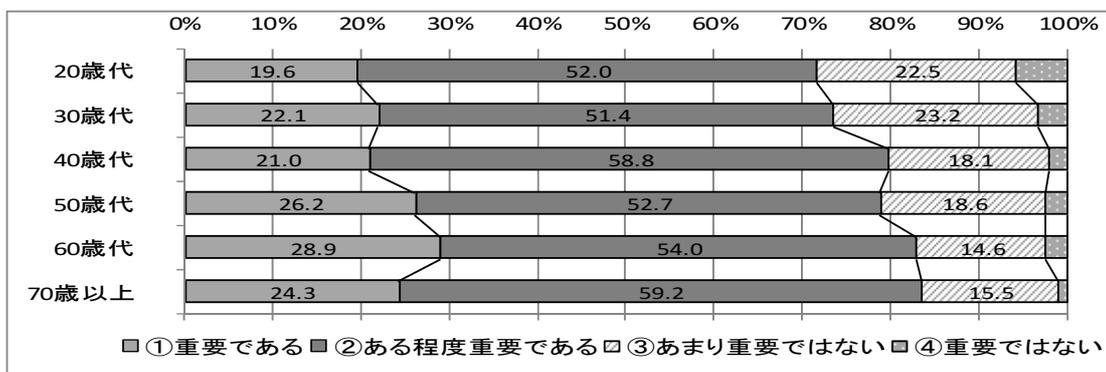
(13) 自治体経営

・年代別では、年代が低いほうが、「③あまり重要ではない」、「④重要ではない」との回答割合が高い傾向にある。

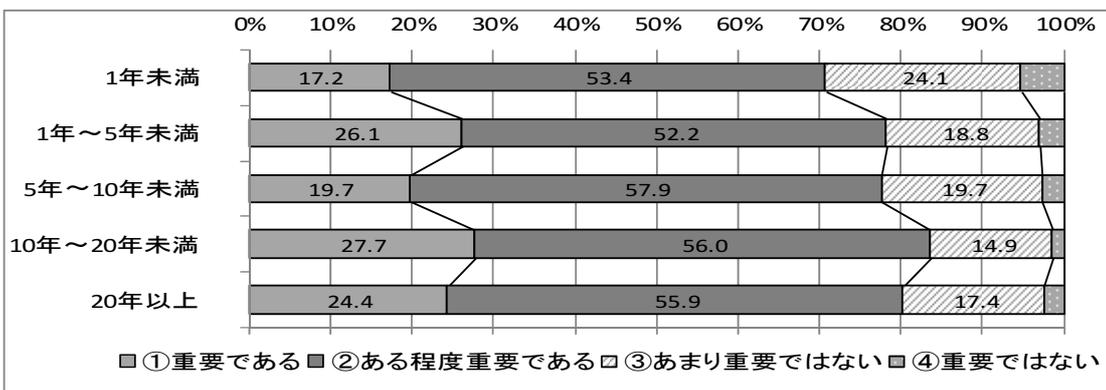
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



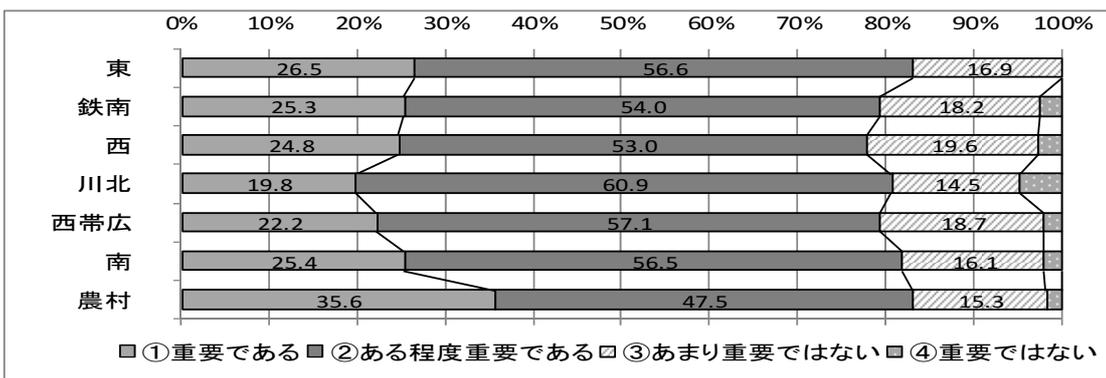
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



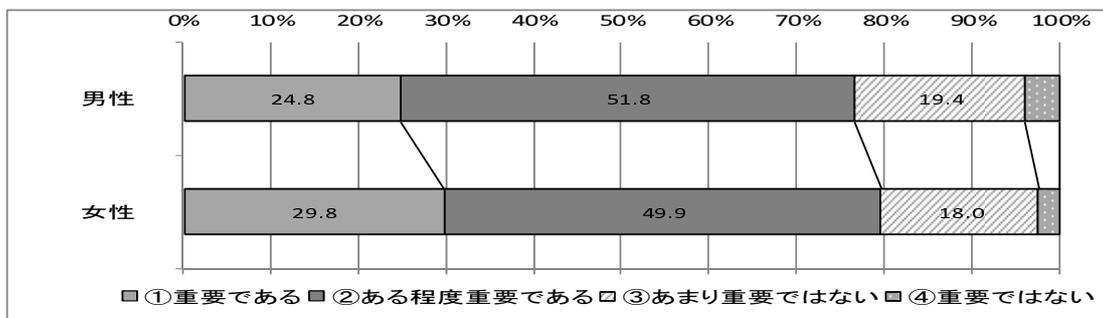
<居住地区別の状況>



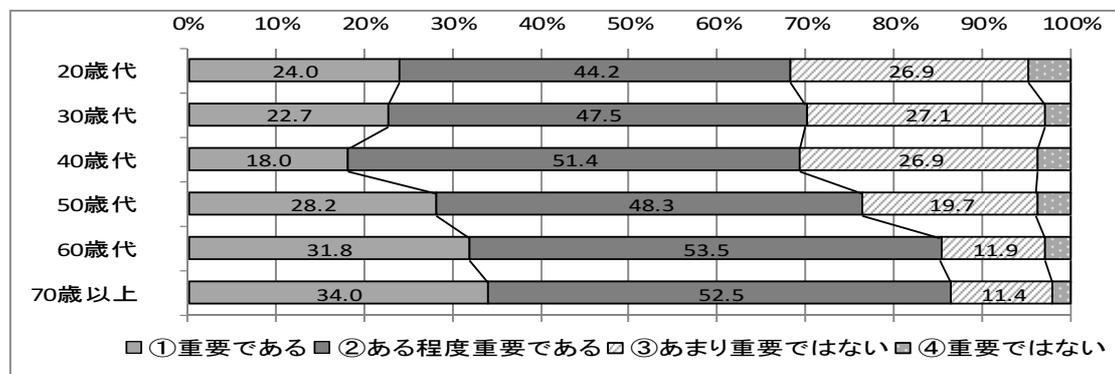
(14) 人権尊重、男女共同参画

・年代別では、年代が低いほうが、「③あまり重要ではない」、「④重要ではない」との回答割合が高い傾向にある。

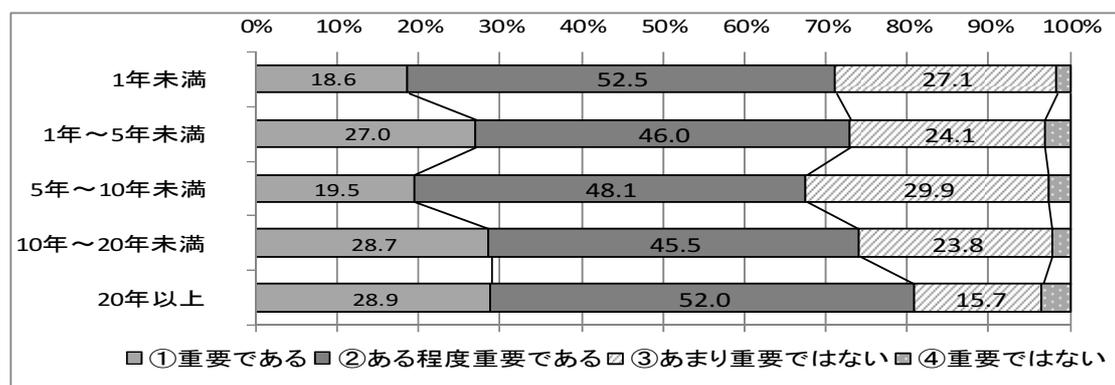
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



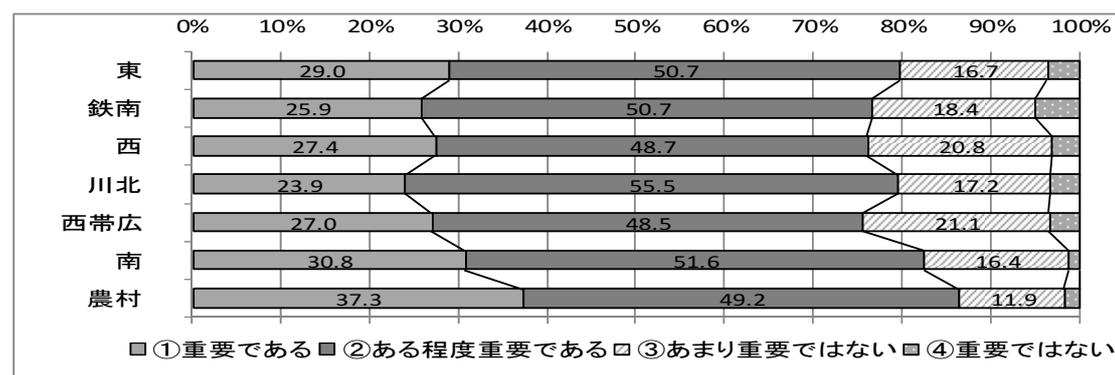
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



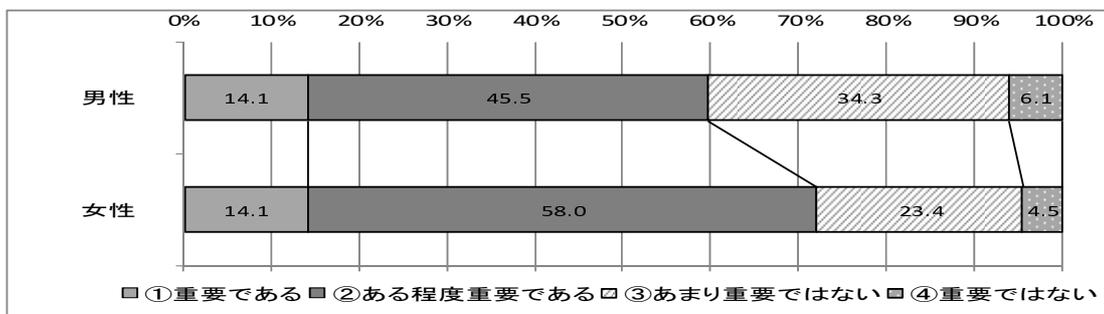
<居住地区別の状況>



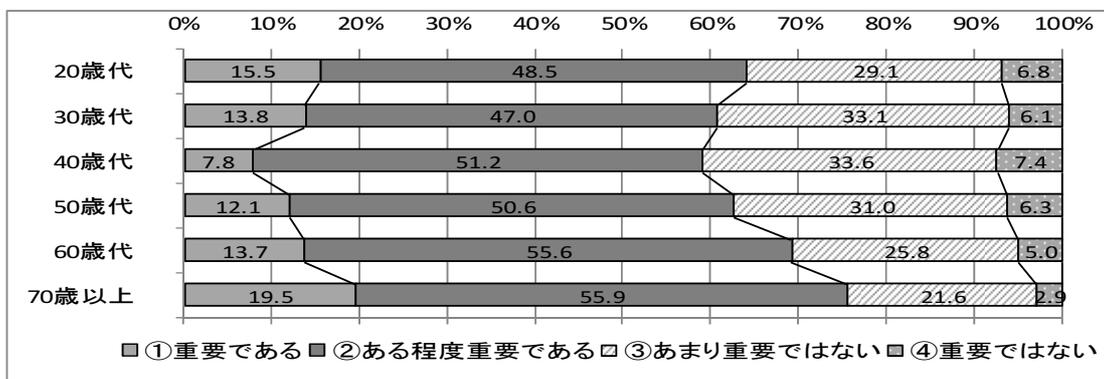
(15) 国内・国際交流

・年代別では、年代が低いほうが、「③あまり重要ではない」、「④重要ではない」との回答割合が高い傾向にある。

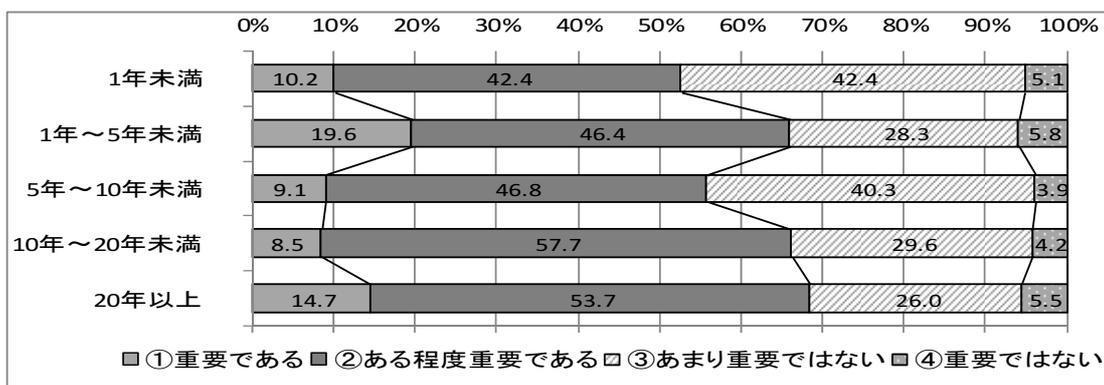
<性別の状況> ※グラフ左側より①～④の順



<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



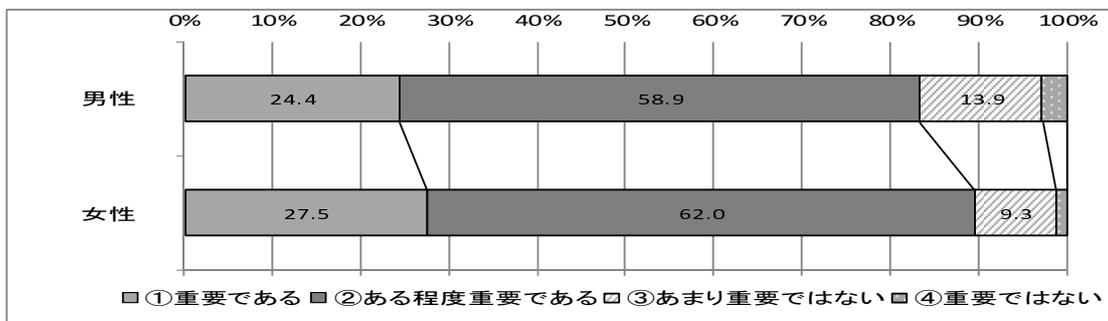
<居住地区別の状況>



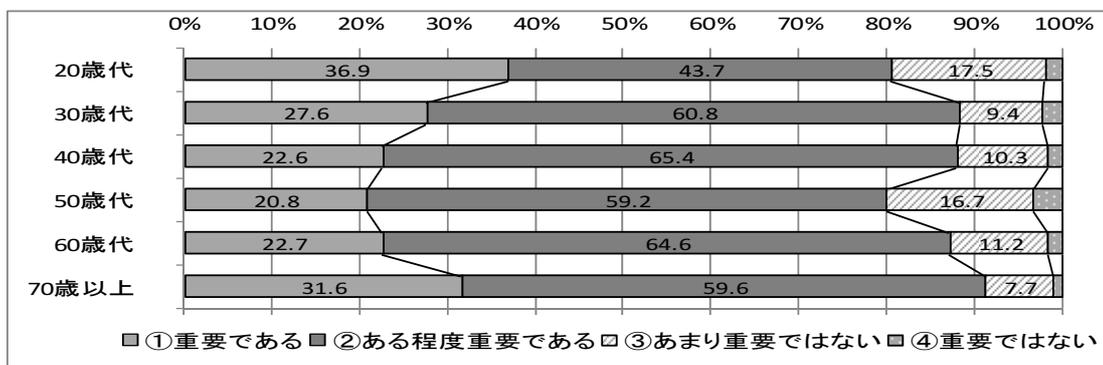
(16) 公共施設等の維持管理 ※グラフ左側より①～④の順

・年代別では、20歳代、70歳以上において、「①重要である」との回答割合が高くなっている。

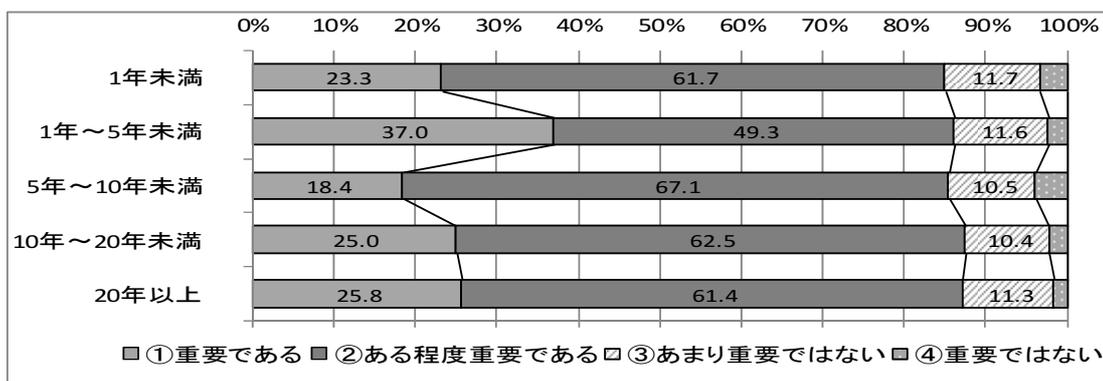
<性別の状況>



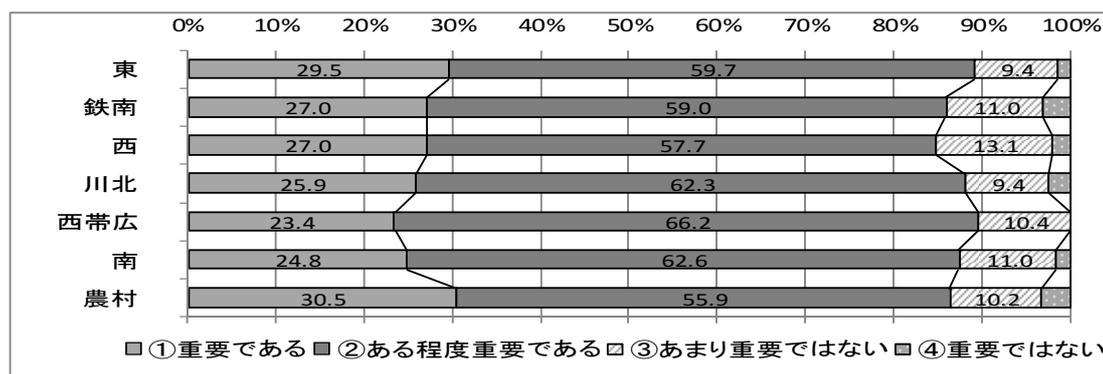
<年代別の状況>



<居住年数別の状況>



<居住地区別の状況>



帯広市のまちづくりについての自由意見

問 最後に、今後の帯広市のまちづくりにおける取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案など、あなたのご意見を自由にお聞かせください。 問13（市民アンケート）・問8（高校生アンケート、中学生アンケート）

◎市民アンケート

回答者総数 1,597 人のうち、41.1%にあたる 656 人より、1,064 件のご意見やご提案をいただきました。回答の形式は自由記載ですが、記載内容を第六期総合計画のまちづくりの目標に従い整理しました。

No.	分類	件数	割合 (%)
1	安全に暮らせるまち (防災、消防・救急、防犯、交通安全、消費生活)	34	3.2
2	健康でやすらぐまち (保健・医療、高齢者福祉、障害者福祉、社会保障、子育て支援)	207	19.5
3	活力あふれるまち (農林業、商工業、産業間連携、雇用、中心市街地、観光)	239	22.5
4	自然と共生するまち (環境保全、廃棄物処理、公園・緑地、水道、下水道)	60	5.6
5	快適で住みよいまち (住環境、景観、道路網、交通体系、情報化)	179	16.8
6	生涯にわたる学びのまち (教育、生涯学習、文化・スポーツ)	89	8.4
7	思いやりとふれあいのまち (人権、男女共同、地域コミュニティ、国内・国際交流)	28	2.6
8	自立と協働のまち (市民協働、自治体経営、広域行政)	157	14.8
9	その他 (上記に分類されないもの)	71	6.7
合計		1,064	

＜意見・提案の概要＞

①安全に暮らせるまち

台風による災害の発生を受け、市民への周知や避難所の運営、河川の氾濫防止など、災害対策をしっかりと講じるべきといった意見がありました。

また、防犯灯の設置数の増加などによる暗がりの解消、交通事故の防止対策を望む声のほか、交通マナーの悪さを指摘する意見もありました。

②健康でやすらぐまち

高齢者の集える場の充実や福祉施設の整備、医療環境の充実など、高齢者が安心して生活できる環境づくりを求める意見や、在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの推進など、地域で高齢者を支える仕組みの構築を求める意見、高齢者の増加に伴う介護保険制度の見直しや生活保護受給者対策など、社会保障制度の安定的な運営を求める意見がありました。

子育てに関しては、子育て支援の充実などによる、安心して子どもを生み育てられる環境づくりが少子化対策につながるとの意見が多く挙げられており、医療費の無償化の拡充や、保育環境の充実、子どもたちが遊べる場の充実などを求める声が多くありました。

③活力あふれるまち

大型商業施設や娯楽施設等の誘致による地域経済の活性化を求める声が多く寄せられているほか、中心市街地の再開発等によるにぎわいと活気のある街並みづくりを求める意見がありました。

地域の基幹産業である農業に関しては、地域の強みを活かした、安全で良質な農畜産物の生産、地域ブランドの構築、地産地消の推進などを求める意見がありました。

また、企業誘致の促進や中小企業の振興、高齢者の活用や若者のU I J ターン促進に向けた雇用環境の充実などを求める意見がありました。

観光に関しては、十勝・帯広の豊かな自然やおいしい食べ物、ばんえい競馬などを活かした魅力ある観光地の形成、体験・滞在型観光の充実、イベントの開催などを求める意見のほか、地域の効果的な魅力発信に資する道の駅設置の提案もありました。

④自然と共生するまち

環境モデル都市として、自然エネルギーの有効活用を求める意見や、市民のゴミの排出意識の向上、ゴミステーションなどにおけるゴミの飛散防止などを求める意見がありました。

また、遊具の更新等、公園施設の老朽化への対応や、多世代が集える新たな公園の整備、公園や帯広の森、道路脇の街路樹の適正管理などを求める意見がありました。

⑤快適で住みよいまち

除排雪対策の徹底や道路の補修、整備など、安全に通行できる道路環境の確保を求める声が多く挙がっているほか、今後増加が見込まれる空き家、空き地の適正管理、有効活用を求める意見がありました。

また、バス路線の見直しや運行本数の増加、コミュニティバスの運行など、公共交通の充実を求める意見のほか、公共交通機関と連携して都市計画を進めるべきといった意見がありました。

⑥生涯にわたる学びのまち

児童・生徒の学力の向上に取り組むべきといった意見や、学校施設の老朽化への対応やICT機器の有効活用など、未来を担う子どもたちのため、教育環境の整備に力を入れてほしいとの意見がありました。

また、高校卒業後の若者の流出を防ぐため、魅力ある大学等を誘致し、地域を支える人材の育成を図るべきとの意見もありました。

生涯学習、文化・スポーツに関しては、動物園等の老朽化対策や、プロスポーツ、大会合宿の誘致などによるスポーツの振興、既存施設の有効活用を求める意見がありました。

⑦思いやりとふれあいのまち

地域コミュニティ、特に町内会に関しては、その重要性をPRし、活性化を図るべきとの意見や、担い手不足などを踏まえ、これからの町内会のあり方を行政、市民双方がしっかりと考えていくべきといった意見がありました。

また、ボランティア組織の育成、支援や、人口減少に伴う人材、労働力不足の解消につながる、他地域との交流事業の推進を求める意見がありました。

⑧自立と協働のまち

市民がまちづくりに気軽に参画できるよう、わかりやすい情報発信を求める声や、人口減少、少子高齢化に対応し、行政の縦割りの解消や、事務事業の見直し、市職員の資質向上など、行財政改革を推進すべきとの意見がありました。

また、ふるさと納税の返礼品の充実による地域の魅力の発信に取り組むべきとの意見や、公共施設等の老朽化については、施設ごとの方向性を示すとともに、集約化、効率化を図るべきといった意見がありました。

◎高校生アンケート

回答者総数 295 人のうち、50.5%にあたる 149 人より、188 件のご意見やご提案をいただきました。回答の形式は自由記載ですが、記載内容を第六期総合計画のまちづくりの目標に従い整理しました。

No.	分類	件数	割合 (%)
1	安全に暮らせるまち (防災・消防・救急、防犯、交通安全、消費生活)	10	5.3
2	健康でやすらぐまち (保健・医療、高齢者福祉、障害者福祉、社会保障、子育て支援)	11	5.9
3	活力あふれるまち (農林業、商工業、産業間連携、雇用、中心市街地、観光)	69	36.7
4	自然と共生するまち (環境保全、廃棄物処理、公園・緑地、水道、下水道)	12	6.4
5	快適で住みよいまち (住環境、景観、道路網、交通体系、情報化)	55	29.3
6	生涯にわたる学びのまち (教育、生涯学習、文化・スポーツ)	10	5.3
7	思いやりとふれあいのまち (人権、男女共同、地域コミュニティ、国内・国際交流)	0	0.0
8	自立と協働のまち (市民協働、自治体経営、広域行政)	10	5.3
9	その他 (上記に分類されないもの)	11	5.9
合計		188	

＜意見・提案の概要＞

①安全に暮らせるまち

生活道路の暗がりの解消による安全性の確保や不審者対策の徹底、交通事故の防止対策を求める意見がありました。

②健康でやすらぐまち

医療・福祉の充実を求める声のほか、子育て支援の充実などによる、安心して子どもを生み育てられる社会の実現、若者が地元に戻ることができる環境づくりなどを求める意見がありました。

③活力あふれるまち

大型商業施設や娯楽施設等の誘致などによる多世代が集い、楽しめる場所の設置を求める声が多く挙げられたほか、中心市街地の活性化を求める意見がありました。

また、十勝・帯広の豊かな食を活かしたイベントの開催や、新たな観光資源の開発などによる地域の効果的な魅力発信を求める意見もありました。

④自然と共生するまち

帯広市の豊かな自然環境を今後も維持していくべきとの意見や、自然エネルギーの有効活用、ゴミの分別の徹底やゴミの飛散防止などを求める意見がありました。

⑤快適で住みよいまち

除排雪対策の徹底や道路の補修、整備など、安全に通行できる道路環境の確保を求める意見がありました。

また、通学の利便性向上や気軽に外出ができるよう、バス路線の見直しや運行本数の増加など、公共交通の充実を求める意見のほか、地下鉄の設置の提案もありました。

⑥生涯にわたる学びのまち

学校施設や設備の老朽化への対応や学校給食の充実など、児童生徒の教育環境の整備に力を入れてほしいとの意見がありました。

また、高校卒業後の若者の流出を防ぐため、大学等を設置すべきとの意見もありました。

⑧自立と協働のまち

市が実施している事業のわかりやすい情報発信を求める声や、利用の少ないサービスの見直し、ふるさと納税の効果的な実施による市の知名度向上や地域の活性化を求める意見がありました。

◎中学生アンケート

回答者総数 383 人のうち、71.3%にあたる 273 人より、483 件のご意見やご提案をいただきました。回答の形式は自由記載ですが、記載内容を第六期総合計画のまちづくりの目標に従い整理しました。

No.	分類	件数	割合 (%)
1	安全に暮らせるまち (防災・消防・救急、防犯、交通安全、消費生活)	41	8.5
2	健康でやすらぐまち (保健・医療、高齢者福祉、障害者福祉、社会保障、子育て支援)	37	7.7
3	活力あふれるまち (農林業、商工業、産業間連携、雇用、中心市街地、観光)	187	38.7
4	自然と共生するまち (環境保全、廃棄物処理、公園・緑地、水道、下水道)	60	12.4
5	快適で住みよいまち (住環境、景観、道路網、交通体系、情報化)	45	9.3
6	生涯にわたる学びのまち (教育、生涯学習、文化・スポーツ)	50	10.4
7	思いやりとふれあいのまち (人権、男女共同、地域コミュニティ、国内・国際交流)	14	2.9
8	自立と協働のまち (市民協働、自治体経営、広域行政)	23	4.8
9	その他 (上記に分類されないもの)	26	5.4
合計		483	

<意見・提案の概要>

①安全に暮らせるまち

防犯灯の設置などによる暗がりの解消、不審者対策の徹底や犯罪の防止などを求める意見が多く挙げられたほか、建築物の耐震化の推進による安全性の確保や、交通事故の防止対策を求める意見がありました。

②健康でやすらぐまち

福祉施設の整備や介護サービスの充実などによる高齢者や障害者が安心して生活できる環境づくりを求める意見や、保育環境の充実などを求める意見がありました。

③活力あふれるまち

大型商業施設や娯楽施設等の誘致などによる子どもたちが楽しめる場所の設置を求める声が多く挙げられたほか、十勝・帯広の良質な農畜産物を活かした帯広ならではの特産品の開発などが必要との意見がありました。

また、子育てしながら働きやすい社会の実現のほか、国内外から人が集まる魅力あるイベントの開催などを求める意見がありました。

④自然と共生するまち

地域の自然環境を今後も維持していくべきとの意見や、地球温暖化対策の推進、遊具の更新等、公園施設の老朽化への対応などを求める意見がありました。

⑤快適で住みよいまち

除排雪対策の徹底や道路、歩道の整備など、安全に通行できる道路環境の確保を求める意見がありました。

また、路線バスなど交通機関の充実を求める意見のほか、地下鉄や路面電車の設置の提案もありました。

⑥生涯にわたる学びのまち

学校施設や設備の老朽化への対応や特別支援教育の充実など、児童生徒の教育環境の整備を進めるべきとの意見が多くありました。

また、市内の高校の定員増や、スポーツがしやすい環境の整備などを求める意見がありました。

⑦思いやりとふれあいのまち

子どもから高齢者までが交流できる場の設置や、市民と外国人、観光客などとの交流機会の提供などを求める意見がありました。

⑧自立と協働のまち

市の様々な事業の実施にあたり、もっと市民の意見を取り入れるべきとの意見や、サービスの種類や水準、財政状況などのバランスをとりながらまちづくりを進めてほしいとの意見がありました。

(注1) 各回答の割合(%)は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記している。したがって、その合計値が100%にならない場合がある。

(注2) 未回答、不明分等は集計から除いている。

Ⅲ. 「市民アンケート」調査結果

1. 設問一覧

設問	
【あなたご自身のこと】について、おたずねします。	
問1	あなたの性別は？
問2	あなたの年齢は？（平成29年10月1日現在の年齢で記入してください。）
問3	あなたの職業は？（パートタイマーを含む）
問4	あなたの家族構成は？
問5	あなたの帯広市での居住年数は？
【帯広市の魅力】について、おたずねします。	
問6	帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
【これからのまちづくりの方向性】について、おたずねします。	
問7	近年、少子高齢化が進み、全国的に人口減少期を迎えています。帯広市においても、2060年の将来展望人口を2010年の人口の約22%減となる131,184人と見込んでいます。帯広市はこうした状況にどのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問8	今後、少子高齢化の進行などにより、市の財政状況が厳しさを増していく中で、限られた財源をより効率的かつ効果的に配分し活用していくまちづくりが求められます。こうした時代を迎え、市が実施するサービスはどうあるべきと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問9	帯広市はこれまで、人口の増加に伴い、郊外に住宅地を拡大し、様々な公共施設等を整備してきました。今後、人口減少や少子高齢化が一層進むことが見込まれる中で、今後のまちづくりの方向性について、どのようにしていくべきだと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問10	今後のまちづくりにおいて、以下の表の各項目（施策）の重要度について、どのように考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問11	帯広市は将来どのようなまちになってほしいと思いますか。あなたの考えに近いものを最大2つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問12	今後の帯広市のまちづくりを進めていく上で、どのような「言葉（キーワード）」を重視すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問13	最後に、今後の帯広市のまちづくりにおける取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案など、あなたのご意見を自由にお聞かせください。

2. アンケート結果

【地域区分】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	東地区	147	9.2
2	鉄南地区	213	13.3
3	西地区	455	28.5
4	川北地区	223	14.0
5	西帯広地区	215	13.5
6	南地区	270	16.9
7	農村地区	68	4.3
	不明	6	0.4
	全体	1,597	

問1 【性別】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	男性	654	41.0
2	女性	913	57.2
	未回答	30	1.9
	全体	1,597	

問2 【年齢】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	20歳代	105	6.6
2	30歳代	187	11.7
3	40歳代	255	16.0
4	50歳代	252	15.8
5	60歳代	342	21.4
6	70歳以上	427	26.7
	未回答	29	1.8
	全体	1,597	

問3 【職業】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	会社員・店員	471	29.5
2	商・工・サービス業等の自営業	85	5.3
3	農・林・漁業	37	2.3
4	公務員	91	5.7
5	自由業	23	1.4
6	主婦	370	23.2
7	学生	6	0.4
8	無職・退職	322	20.2
9	その他	156	9.8
	未回答	36	2.3
	全体	1,597	

問4 【家族構成】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	一人暮らし	253	15.8
2	夫婦のみ	511	32.0
3	2世代（夫婦と子）	512	32.1
4	2世代（夫婦と親）	60	3.8
5	3世代（夫婦と子と親）	78	4.9
6	その他	152	9.5
	未回答	31	1.9
	全体	1,597	

問5 【帯広市での居住年数】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	1年未満	62	3.9
2	1年～5年未満	145	9.1
3	5年～10年未満	78	4.9
4	10年～20年未満	154	9.6
5	20年以上	1,129	70.7
	未回答	29	1.8
	全体	1,597	

問6 【帯広市の魅力】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	自然環境に恵まれている	892	21.4
2	都会的で快適な生活ができる	74	1.8
3	農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている	768	18.4
4	おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである	976	23.4
5	市街地がちょうど良い規模で、どこに行くにも便利である	452	10.8
6	市民が主体となったまちづくりが進められている	24	0.6
7	誰もが安全に安心して生活することができる	189	4.5
8	観光資源が豊富である	38	0.9
9	美しい田園風景がある	223	5.4
10	道東の拠点都市となっている	277	6.6
11	国内外との交流が盛んである	13	0.3
12	農業分野の大学や研究機関が集積している	114	2.7
13	特になし	107	2.6
	未回答	20	0.5
	全体（回答者数：1,597人）	4,167	

問7 【人口減少、少子高齢化への対応（人口対策）】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	人口の増加を目指す	264	16.5
2	現在の人口を維持する	192	12.0
3	人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる	385	24.1
4	人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める	738	46.2
	未回答	18	1.1
	全体	1,597	

問8 【人口減少、少子高齢化への対応（行政サービスのあり方）】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	サービスを利用する人の負担を増やすことで財源を確保し、これまで通りのサービスの種類や水準を確保すべき	537	33.6
2	サービスの種類を減らし、残したサービスの水準は維持すべき	745	46.6
3	サービスの種類は維持し、サービスの水準を下げるべき	140	8.8
4	サービスの種類を減らし、サービス水準も下げるべき	85	5.3
	未回答	90	5.6
	全体	1,597	

問9 【人口減少、少子高齢化への対応（都市形成）】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	居住する地域や都市機能の集約を目指すべき	589	36.9
2	これまで蓄積してきた既存の居住地域や都市機能を縮小することなく、できる限り維持すべき	668	41.8
3	わからない	311	19.5
	未回答	29	1.8
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：産業振興（農業、商工業、観光）】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	1,083	67.8
2	ある程度重要である	400	25.0
3	あまり重要ではない	20	1.3
4	重要ではない	5	0.3
	未回答	89	5.6
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：教育】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	1,038	65.0
2	ある程度重要である	429	26.9
3	あまり重要ではない	25	1.6
4	重要ではない	6	0.4
	未回答	99	6.2
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：生涯学習、文化、スポーツ】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	444	27.8
2	ある程度重要である	851	53.3
3	あまり重要ではない	165	10.3
4	重要ではない	26	1.6
	未回答	111	7.0
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：保健・医療、社会福祉】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	1,220	76.4
2	ある程度重要である	270	16.9
3	あまり重要ではない	20	1.3
4	重要ではない	2	0.1
	未回答	85	5.3
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：子育て支援】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	963	60.3
2	ある程度重要である	479	30.0
3	あまり重要ではない	43	2.7
4	重要ではない	21	1.3
	未回答	91	5.7
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：防災・防犯】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	865	54.2
2	ある程度重要である	585	36.6
3	あまり重要ではない	49	3.1
4	重要ではない	6	0.4
	未回答	92	5.8
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：消防・救急】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	975	61.1
2	ある程度重要である	482	30.2
3	あまり重要ではない	38	2.4
4	重要ではない	4	0.3
	未回答	98	6.1
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：環境保全、ごみ処理】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	704	44.1
2	ある程度重要である	728	45.6
3	あまり重要ではない	56	3.5
4	重要ではない	4	0.3
	未回答	105	6.6
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：緑化、景観形成】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	286	17.9
2	ある程度重要である	845	52.9
3	あまり重要ではない	312	19.5
4	重要ではない	42	2.6
	未回答	112	7.0
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：都市基盤整備（公園、住宅、上下水道）】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	513	32.1
2	ある程度重要である	838	52.5
3	あまり重要ではない	128	8.0
4	重要ではない	10	0.6
	未回答	108	6.8
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：交通環境整備（道路、空港、公共交通）】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	534	33.4
2	ある程度重要である	797	49.9
3	あまり重要ではない	138	8.6
4	重要ではない	16	1.0
	未回答	112	7.0
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：市民協働、地域コミュニティ活動】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	重要である	220	13.8
2	ある程度重要である	829	51.9
3	あまり重要ではない	376	23.5
4	重要ではない	58	3.6
	未回答	114	7.1
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：自治体経営（財政運営、民間活力活用）】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	360	22.5
2	ある程度重要である	816	51.1
3	あまり重要ではない	259	16.2
4	重要ではない	36	2.3
	未回答	126	7.9
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：人権尊重、男女共同参画】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	415	26.0
2	ある程度重要である	752	47.1
3	あまり重要ではない	277	17.3
4	重要ではない	46	2.9
	未回答	107	6.7
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：国内・国際交流】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	212	13.3
2	ある程度重要である	780	48.8
3	あまり重要ではない	416	26.0
4	重要ではない	79	4.9
	未回答	110	6.9
	全体	1,597	

問10 【施策の重要度：公共施設等の維持管理】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	重要である	396	24.8
2	ある程度重要である	906	56.7
3	あまり重要ではない	167	10.5
4	重要ではない	28	1.8
	未回答	100	6.3
	全体	1,597	

問11 【帯広市の将来のまちづくりの方向性】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	産業が活発で活力にあふれ、豊かに暮らせるまち	500	16.1
2	利便性が高く、快適に生活できるまち	326	10.5
3	自然が豊富にあり、身近な場所にも緑が多いうるおいのあるまち	165	5.3
4	災害に強く、事故や犯罪のない安全なまち	380	12.2
5	医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	833	26.8
6	安心して子どもを生み、育てられるまち	376	12.1
7	地域の人同士が助け合い、仲良く暮らせるまち	168	5.4
8	充実した教育が受けられ、人材が育つまち	140	4.5
9	生涯にわたって学ぶことができるまち	32	1.0
10	東北道の拠点として発展するまち	143	4.6
11	その他	14	0.5
	未回答	31	1.0
	全体（回答者数：1,597人）	3,108	

問12 【帯広市の将来のまちづくりのキーワード】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	活力	376	8.4
2	にぎわい	181	4.1
3	力強さ	73	1.6
4	挑戦（チャレンジ）	146	3.3
5	創造	126	2.8
6	発展	187	4.2
7	（経済的な）豊かさ	440	9.9
8	快適さ	476	10.7
9	やさしさ	184	4.1
10	希望・夢	147	3.3
11	生きがい	269	6.0
12	輝き	39	0.9
13	健やか	190	4.3
14	安全・安心	786	17.6
15	（自然の）豊かさ	199	4.5
16	（心の）豊かさ	301	6.8
17	連携・協働	110	2.5
18	楽しさ	89	2.0
19	ふれあい	81	1.8
20	その他	13	0.3
	未回答	41	0.9
	全体（回答者数：1,597人）	4,454	

問13 【自由記載】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	まちづくり全般に関すること	54	5.1
2	防災に関すること	11	1.0
3	交通安全・防犯に関すること	23	2.2
4	医療・保健に関すること	12	1.1
5	高齢者福祉に関すること	65	6.1
6	障害福祉に関すること	7	0.7
7	社会保障に関すること	25	2.3
8	子育て支援に関すること	98	9.2
9	産業振興に関すること	75	7.0
10	雇用に関すること	25	2.3
11	中心市街地、都市形成に関すること	77	7.2
12	観光に関すること	62	5.8
13	環境保全・廃棄物に関すること	23	2.2
14	公園・緑地に関すること	30	2.8
15	水道・下水道に関すること	7	0.7
16	住環境に関すること	121	11.4
17	交通環境に関すること	58	5.5
18	教育や生涯学習・スポーツに関すること	89	8.4
19	地域の活動・支えあいに関すること	28	2.6
20	行政事務・サービスに関すること	97	9.1
21	自治体経営に関すること	33	3.1
22	公共施設マネジメントに関すること	19	1.8
23	議会に関すること	8	0.8
24	アンケートに関すること	10	0.9
25	その他	7	0.7
	全回答者数：1,597人のうち、656人より回答	1,064	

IV. 「高校生アンケート」調査結果

1. 設問一覧

設問	
【あなたご自身のこと】について、おたずねします。	
問1	あなたの性別は？
問2	いつから帯広市に住んでいますか？
【帯広市の魅力】について、おたずねします。	
問3	帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
【これからのまちづくりの方向性】について、おたずねします。	
問4	近年、少子高齢化が進み、全国的に人口減少期を迎えています。帯広市においても、2060年の将来展望人口を2010年の人口の約22%減となる131,184人と見込んでいます。帯広市はこうした状況にどのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問5	今後、少子高齢化の進行などにより、市の財政状況が厳しさを増していく中で、限られた財源をより効率的かつ効果的に配分し活用していくまちづくりが求められます。こうした時代を迎え、市が実施するサービスはどうあるべきと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問6	帯広市は将来どのようなまちになってほしいと思いますか。あなたの考えに近いものを最大2つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問7	今後の帯広市のまちづくりを進めていく上で、どのような「言葉（キーワード）」を重視すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問8	最後に、今後の帯広市のまちづくりにおける取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案など、あなたのご意見を自由にお聞かせください。

2. アンケート結果

【調査対象】

No.	項目	回答数
1	帯広柏葉高校	33
2	帯広三条高校	38
3	帯広緑陽高校	34
4	帯広工業高校	40
5	帯広農業高校	39
6	帯広南商業高校	39
7	帯広大谷高校	36
8	帯広北高校	36
	全体	295

問1 【性別】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	男性	128	43.4
2	女性	167	56.6
	未回答	0	0.0
	全体	295	

問2 【居住状況】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	生まれてからずっと帯広市に住んでいる	112	38.0
2	小学校入学前から帯広市に住んでいる	17	5.8
3	小学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる	20	6.8
4	中学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる	4	1.4
5	高校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる	29	9.8
6	現在帯広市外に住んでいる	112	38.0
	未回答	1	0.3
	全体	295	

問3 【帯広市の魅力】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	自然環境に恵まれている	124	20.2
2	都会的で快適な生活ができる	18	2.9
3	農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている	70	11.4
4	おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである	194	31.6
5	市街地がちょうど良い規模で、どこに行くにも便利である	61	10.0
6	市民が主体となったまちづくりが進められている	3	0.5
7	誰もが安全に安心して生活することができる	49	8.0
8	観光資源が豊富である	5	0.8
9	美しい田園風景がある	13	2.1
10	道東の拠点都市となっている	20	3.3
11	国内外との交流が盛んである	3	0.5
12	農業分野の大学や研究機関が集積している	24	3.9
13	特になし	29	4.7
	未回答	0	0.0
	全体（回答者数：295人）	613	

問4 【人口減少、少子高齢化への対応（人口対策）】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	人口の増加を目指す	97	32.9
2	現在の人口を維持する	84	28.5
3	人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる	67	22.7
4	人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める	46	15.6
	未回答	1	0.3
	全体	295	

問5 【人口減少、少子高齢化への対応（行政サービスのあり方）】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	サービスを利用する人の負担を増やすことで財源を確保し、これまで通りのサービスの種類や水準を確保すべき	124	42.0
2	サービスの種類を減らし、残したサービスの水準は維持すべき	123	41.7
3	サービスの種類は維持し、サービスの水準を下げるべき	44	14.9
4	サービスの種類を減らし、サービス水準も下げるべき	3	1.0
	未回答	1	0.3
	全体	295	

問6 【帯広市の将来のまちづくりの方向性】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	産業が活発で活力にあふれ、豊かに暮らせるまち	71	13.3
2	利便性が高く、快適に生活できるまち	148	27.7
3	自然が豊富にあり、身近な場所にも緑が多いうるおいのあるまち	53	9.9
4	災害に強く、事故や犯罪のない安全なまち	54	10.1
5	医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	59	11.0
6	安心して子どもを生み、育てられるまち	51	9.6
7	地域の人同士が助け合い、仲良く暮らせるまち	33	6.2
8	充実した教育が受けられ、人材が育つまち	22	4.1
9	生涯にわたって学ぶことができるまち	7	1.3
10	東北道の拠点として発展するまち	33	6.2
11	その他	3	0.6
	未回答	0	0.0
	全体（回答者数：295人）	534	

問7 【帯広市の将来のまちづくりのキーワード】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	活力	31	3.9
2	にぎわい	68	8.6
3	力強さ	7	0.9
4	挑戦（チャレンジ）	25	3.2
5	創造	21	2.7
6	発展	82	10.4
7	（経済的な）豊かさ	67	8.5
8	快適さ	115	14.6
9	やさしさ	24	3.0
10	希望・夢	23	2.9
11	生きがい	9	1.1
12	輝き	19	2.4
13	健やか	20	2.5
14	安全・安心	113	14.3
15	（自然の）豊かさ	52	6.6
16	（心の）豊かさ	18	2.3
17	連携・協働	22	2.8
18	楽しさ	46	5.8
19	ふれあい	16	2.0
20	その他	5	0.6
	未回答	5	0.6
	全体（回答者数：295人）	788	

問8 【自由記載】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	まちづくり全般に関すること	8	4.3
2	防災に関すること	0	0.0
3	交通安全・防犯に関すること	10	5.3
4	医療・保健に関すること	3	1.6
5	高齢者福祉に関すること	3	1.6
6	障害福祉に関すること	0	0.0
7	社会保障に関すること	0	0.0
8	子育て支援に関すること	5	2.7
9	産業振興に関すること	7	3.7
10	雇用に関すること	0	0.0
11	中心市街地、都市形成に関すること	52	27.7
12	観光に関すること	10	5.3
13	環境保全・廃棄物に関すること	5	2.7
14	公園・緑地に関すること	7	3.7
15	水道・下水道に関すること	0	0.0
16	住環境に関すること	17	9.0
17	交通環境に関すること	38	20.2
18	教育や生涯学習・スポーツに関すること	10	5.3
19	地域の活動・支えあいに関すること	0	0.0
20	行政事務・サービスに関すること	2	1.1
21	自治体経営に関すること	6	3.2
22	公共施設マネジメントに関すること	2	1.1
23	議会に関すること	0	0.0
24	アンケートに関すること	0	0.0
25	その他	3	1.6
	全回答者数：295人のうち、149人より回答	188	

V. 「中学生アンケート」調査結果

1. 設問一覧

設問	
【あなたご自身のこと】について、おたずねします。	
問1	あなたの性別は？
問2	いつから帯広市に住んでいますか？
【帯広市の魅力】について、おたずねします。	
問3	帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
【これからのまちづくりの方向性】について、おたずねします。	
問4	近年、少子高齢化が進み、全国的に人口減少期を迎えています。帯広市においても、2060年の将来展望人口を2010年の人口の約22%減となる131,184人と見込んでいます。帯広市はこうした状況にどのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問5	今後、少子高齢化の進行などにより、市の財政状況が厳しさを増していく中で、限られた財源をより効率的かつ効果的に配分し活用していくまちづくりが求められます。こうした時代を迎え、市が実施するサービスはどうあるべきと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問6	帯広市は将来どのようなまちになってほしいと思いますか。あなたの考えに近いものを最大2つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問7	今後の帯広市のまちづくりを進めていく上で、どのような「言葉（キーワード）」を重視すべきであると思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の□にチェック「レ」をつけてください。
問8	最後に、今後の帯広市のまちづくりにおける取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案など、あなたのご意見を自由にお聞かせください。

2. アンケート結果

【調査対象】

No.	項目	回答数
1	第一中学校	34
2	第二中学校	30
3	第四中学校	30
4	第五中学校	38
5	第七中学校	24
6	第八中学校	32
7	大空中学校	21
8	南町中学校	36
9	西陵中学校	34
10	緑園中学校	33
11	翔陽中学校	34
12	川西中学校	31
13	清川中学校	6
14	八千代中学校	0
	全体	383

問1 【性別】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	男性	200	52.2
2	女性	182	47.5
	未回答	1	0.3
	全体	383	

問2 【居住状況】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	生まれてからずっと帯広市に住んでいる	267	69.7
2	小学校入学前から帯広市に住んでいる	65	17.0
3	小学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる	39	10.2
4	中学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる	11	2.9
	未回答	1	0.3
	全体	383	

問3 【帯広市の魅力】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	自然環境に恵まれている	243	24.3
2	都会的で快適な生活ができる	35	3.5
3	農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている	129	12.9
4	おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである	294	29.4
5	市街地がちょうど良い規模で、どこに行くにも便利である	64	6.4
6	市民が主体となったまちづくりが進められている	13	1.3
7	誰もが安全に安心して生活することができる	103	10.3
8	観光資源が豊富である	17	1.7
9	美しい田園風景がある	30	3.0
10	道東の拠点都市となっている	15	1.5
11	国内外との交流が盛んである	17	1.7
12	農業分野の大学や研究機関が集積している	17	1.7
13	特になし	22	2.2
	未回答	0	0.0
	全体（回答者数：383人）	999	

問4 【人口減少、少子高齢化への対応（人口対策）】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	人口の増加を目指す	123	32.1
2	現在の人口を維持する	108	28.2
3	人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる	81	21.1
4	人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める	71	18.5
	未回答	0	0.0
	全体	383	

問5 【人口減少、少子高齢化への対応（行政サービスのあり方）】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	サービスを利用する人の負担を増やすことで財源を確保し、これまで通りのサービスの種類や水準を確保すべき	126	32.9
2	サービスの種類を減らし、残したサービスの水準は維持すべき	155	40.5
3	サービスの種類は維持し、サービスの水準を下げるべき	96	25.1
4	サービスの種類を減らし、サービス水準も下げるべき	5	1.3
	未回答	1	0.3
	全体	383	

問6 【帯広市の将来のまちづくりの方向性】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	産業が活発で活力にあふれ、豊かに暮らせるまち	75	10.1
2	利便性が高く、快適に生活できるまち	137	18.4
3	自然が豊富にあり、身近な場所にも緑が多いうるおいのあるまち	95	12.8
4	災害に強く、事故や犯罪のない安全なまち	160	21.5
5	医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち	78	10.5
6	安心して子どもを生み、育てられるまち	48	6.5
7	地域の人同士が助け合い、仲良く暮らせるまち	57	7.7
8	充実した教育が受けられ、人材が育つまち	44	5.9
9	生涯にわたって学ぶことができるまち	10	1.3
10	東北道の拠点として発展するまち	21	2.8
11	その他	18	2.4
	未回答	0	0.0
	全体（回答者数：383人）	743	

問7 【帯広市の将来のまちづくりのキーワード】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	活力	31	2.8
2	にぎわい	64	5.8
3	力強さ	11	1.0
4	挑戦（チャレンジ）	57	5.2
5	創造	35	3.2
6	発展	89	8.1
7	（経済的な）豊かさ	65	5.9
8	快適さ	115	10.5
9	やさしさ	53	4.8
10	希望・夢	61	5.6
11	生きがい	18	1.6
12	輝き	25	2.3
13	健やか	19	1.7
14	安全・安心	184	16.8
15	（自然の）豊かさ	89	8.1
16	（心の）豊かさ	32	2.9
17	連携・協働	22	2.0
18	楽しさ	93	8.5
19	ふれあい	26	2.4
20	その他	4	0.4
	未回答	4	0.4
	全体（回答者数：383人）	1,097	

問8 【自由記載】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	まちづくり全般に関すること	25	5.2
2	防災に関すること	6	1.2
3	交通安全・防犯に関すること	35	7.2
4	医療・保健に関すること	1	0.2
5	高齢者福祉に関すること	14	2.9
6	障害福祉に関すること	2	0.4
7	社会保障に関すること	0	0.0
8	子育て支援に関すること	20	4.1
9	産業振興に関すること	13	2.7
10	雇用に関すること	7	1.4
11	中心市街地、都市形成に関すること	135	28.0
12	観光に関すること	32	6.6
13	環境保全・廃棄物に関すること	31	6.4
14	公園・緑地に関すること	29	6.0
15	水道・下水道に関すること	0	0.0
16	住環境に関すること	31	6.4
17	交通環境に関すること	14	2.9
18	教育や生涯学習・スポーツに関すること	50	10.4
19	地域の活動・支えあいに関すること	14	2.9
20	行政事務・サービスに関すること	8	1.7
21	自治体経営に関すること	4	0.8
22	公共施設マネジメントに関すること	11	2.3
23	議会に関すること	0	0.0
24	アンケートに関すること	0	0.0
25	その他	1	0.2
	全回答者数：383人のうち、273人より回答	483	

VI. アンケート調査票

1. 市民アンケート調査票

地区	
----	--

まちづくりに関する 市民アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より市政に対するご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、帯広市は、まちづくりの基本的な計画である総合計画の策定作業を進めています。

今後、人口減少、少子高齢化の進行に伴い、地域では、経済の縮小や財政の硬直化が懸念されており、効率的な行財政運営のほか、老朽化が進む公共施設等への対応や、地域全体で支え合う社会づくりなど、右肩上がりの時代とは異なる複雑・多様な課題への対応が求められてくるものと考えられます。

これからは、効率的で持続可能な活力あるまちづくりが必要となっており、市民の皆さんからこれからの帯広市のまちづくりの方向性などについて広くご意見をいただき、今後の計画策定の取り組みの参考とさせていただくため、アンケート調査を実施することといたしました。

皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。

平成29年11月

帯広市長 米沢 則寿



<調査対象>

- 本調査は、平成29年10月時点において、帯広市にお住まいの満20歳以上の方から地区ごとに無作為に抽出した3,000人を対象に実施するものです。

<ご回答にあたっての注意事項・個人情報の取り扱い>

- ご回答は、この用紙が入っていた封筒の宛名のご本人がお答え下さい。ご不在、或いはご病気等、何らかの理由によりご記入いただけない場合は、同居されている方にご回答をお願いします。
- この用紙や返信用封筒に回答される方のお名前やご住所を書く必要はありません。
- 回答結果は統計的に処理され、統計データの作成にのみ使用いたしますので、回答される方の個人が特定され、プライバシーに係る情報が公開されることはありません。
- 集計結果につきましては、市ホームページ等で公表いたします。
- 記入を終えた用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、平成29年11月30日（木）（消印有効）までにご返送いただきますようお願いいたします。
- 本調査に関しましてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

帯広市政策推進部企画課 担当：西尾、畠山、千葉

TEL：0155-65-4105（直通） FAX：0155-23-0151

<これまでの総合計画の概要>

計画の名称	計画期間	都市像	想定人口	まちづくりの目標
1 帯広市総合計画	昭和34年度 ～昭和43年度	近代的田園都市	153,300人	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興の基盤の整備 産業の振興 文化厚生対策および施設の整備
2 帯広市新総合計画	昭和38年度 ～昭和45年度	地域の特色をいかした、緑濃く、活動力のある生産の場であり、安らかな憩いの場であるとともに、より近代的な産業の発達しうる都市 —近代的田園都市—	143,350人	<ul style="list-style-type: none"> 十勝地域農林業の近代化 地域産業近代化を促進する工業の積極的開発振興 帯広市影響圏の拡大と地域経済圏の連携強化 中小企業の安定と向上 輸送通信体系の確立とその施設の整備 都市施設機能の強化 文教、サービス施設の整備 生活環境の向上
3 第二期帯広市総合計画	昭和46年度 ～昭和55年度	人間尊重を基調とした「近代的田園都市」	200,000人	<ul style="list-style-type: none"> 健康で明るい安全都市の建設 北海道内陸中枢拠点都市の建設 創造性ゆたかな北方文化都市の建設
4 新帯広市総合計画	昭和54年度 ～昭和63年度	豊かな自然と北方の文化に根ざした活力あふれる十勝の中核都市 —開拓100年の歴史をふまえ心のふれあいのあるまち—	200,000人	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな生活を築く活力ある産業都市の建設 市民が誇りと連帯意識をもって創造する北方文化都市の建設 自然と調和し、健康で安心して暮らせる快適都市の建設
5 第四期帯広市総合計画	平成元年度 ～平成12年度	緑ひろがる北のフロンティア都市おびひろ	186,000人	<ul style="list-style-type: none"> 活力ある産業都市 心ゆたかな生きがい都市 緑あふれる快適都市
6 第五期帯広市総合計画	平成12年度 ～平成21年度	人と自然が共生する可能性の大地 新世紀を拓く田園都市おびひろ —緑ひろがる北のフロンティア—	188,000人	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心都市 産業複合都市 環境共生都市 生涯学習都市 広域連携都市 市民自治と自治体経営
7 第六期帯広市総合計画	平成22年度 ～平成31年度	人と環境にやさしい活力ある田園都市おびひろ	170,000人	<ul style="list-style-type: none"> 安全に暮らせるまち 健康でやすらぐまち 活力あふれるまち 自然と共生するまち 快適で住みよいまち 生涯にわたる学びのまち 思いやりとふれあいのまち 自立と協働のまち

【あなたご自身のこと】について、おたずねします。

※該当する項目の口にチェック「し」をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- ① 男性 ② 女性

問2 あなたの年齢は？（平成29年10月1日現在の年齢で記入してください。）

- ① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代
 ④ 50歳代 ⑤ 60歳代 ⑥ 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- ① 会社員・店員 ② 商・工・サービス業等の自営業 ③ 農・林・漁業
 ④ 公務員 ⑤ 自由業 ⑥ 主婦 ⑦ 学生
 ⑧ 無職・退職 ⑨ その他

問4 あなたの家族構成は？

- ① 一人暮らし ② 夫婦のみ ③ 2世代（夫婦と子）
 ④ 2世代（夫婦と親） ⑤ 3世代（夫婦と子と親）
 ⑥ その他

問5 あなたの帯広市での居住年数は？

- ① 1年未満 ② 1年～5年未満 ③ 5年～10年未満
 ④ 10年～20年未満 ⑤ 20年以上

【帯広市の魅力】について、おたずねします。

問6 帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の口にチェック「し」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	①自然環境に恵まれている
<input type="checkbox"/>	②都会的で快適な生活ができる
<input type="checkbox"/>	③農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている
<input type="checkbox"/>	④おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである
<input type="checkbox"/>	⑤市街地がちょうど良い規模で、どこに行くにも便利である
<input type="checkbox"/>	⑥市民が主体となったまちづくりが進められている
<input type="checkbox"/>	⑦誰もが安全に安心して生活することができる
<input type="checkbox"/>	⑧観光資源が豊富である
<input type="checkbox"/>	⑨美しい田園風景がある
<input type="checkbox"/>	⑩道東の拠点都市となっている
<input type="checkbox"/>	⑪国内外との交流が盛んである
<input type="checkbox"/>	⑫農業分野の大学や研究機関が集積している
<input type="checkbox"/>	⑬特にない

【これからのまちづくりの方向性】について、おたずねします。

問7	<p>近年、少子高齢化が進み、全国的に人口減少期を迎えています。 帯広市においても、2060年の将来展望人口を2010年の人口の約22%減となる131,184人と見込んでいます。帯広市はこうした状況にどのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の口にチェック「レ」をつけてください。</p>
----	---

<input type="checkbox"/>	①人口の増加を目指す
<input type="checkbox"/>	②現在の人口を維持する
<input type="checkbox"/>	③人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる
<input type="checkbox"/>	④人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める

問8	<p>今後、少子高齢化の進行などにより、市の財政状況が厳しさを増していく中で、限られた財源をより効率的かつ効果的に配分し活用していくまちづくりが求められます。 こうした時代を迎え、市が実施するサービスはどうあるべきと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の口にチェック「レ」をつけてください。</p>
----	---

<input type="checkbox"/>	①サービスを利用する人の負担を増やすことで財源を確保し、これまで通りのサービスの種類や水準を確保すべき
<input type="checkbox"/>	②サービスの種類を減らし、残したサービスの水準は維持すべき
<input type="checkbox"/>	③サービスの種類は維持し、サービスの水準を下げるべき
<input type="checkbox"/>	④サービスの種類を減らし、サービス水準も下げるべき

問9	<p>帯広市はこれまで、人口の増加に伴い、郊外に住宅地を拡大し、様々な公共施設等を整備してきました。 今後、人口減少や少子高齢化が一層進むことが見込まれる中で、今後のまちづくりの方向性について、どのようにしていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の口にチェック「レ」をつけてください。</p>
----	---

<input type="checkbox"/>	①居住する地域や都市機能の集約を目指すべき
<input type="checkbox"/>	②これまで蓄積してきた既存の居住地域や都市機能を縮小することなく、できる限り維持すべき
<input type="checkbox"/>	③わからない

問10 今後のまちづくりにおいて、以下の表の各項目（施策）の重要度について、どのように考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する項目の口にチェック「し」をつけてください。

項目（施策）	① 重要である	② ある程度重要である	③ あまり重要ではない	④ 重要ではない
(1)産業振興（農業、商工業、観光）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2)教育	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3)生涯学習、文化、スポーツ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4)保健・医療、社会福祉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5)子育て支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6)防災・防犯	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7)消防・救急	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8)環境保全、ごみ処理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9)緑化、景観形成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10)都市基盤整備 （公園、住宅、上下水道）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(11)交通環境整備 （道路、空港、公共交通）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(12)市民協働、地域コミュニティ活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(13)自治体経営 （財政運営、民間活力活用）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(14)人権尊重、男女共同参画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(15)国内・国際交流	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(16)公共施設等の維持管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2. 高校生アンケート調査票

まちづくりに関する アンケート調査へのご協力をお願い

現在、帯広市は、まちづくりの基本的な計画である総合計画の策定作業を進めています。

今後、人口減少、少子高齢化の進行に伴い、地域では、経済の縮小や財政の硬直化が懸念されており、効率的な行財政運営のほか、老朽化が進む公共施設等への対応や、地域全体で支え合う社会づくりなど、右肩上がりの時代とは異なる複雑・多様な課題への対応が求められてくるものと考えられます。

つきましては、計画策定の参考とさせていただくため、これからのまちづくりを支える担い手となる高校生の皆さんから、帯広市の将来のまちづくりの方向性などについて、アンケート調査を実施することといたしましたので、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年11月

帯広市長 米沢 則寿



<調査対象>

- 本調査は、帯広市内の高等学校に通学されている方を対象としています。（居住地が帯広市外であっても構いません）

<ご回答にあたっての注意事項・個人情報の取り扱い>

- この用紙に、回答される方のお名前やご住所を書く必要はありません。
- 回答結果は統計的に処理され、統計データの作成にのみ使用いたしますので、回答される方の個人が特定され、プライバシーに係る情報が公開されることはありません。
- 集計結果につきましては、市ホームページ等で公表いたします。
- 本調査に関しましてご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせ下さい。

帯広市政策推進部企画課 担当：西尾、畠山、千葉

TEL：0155-65-4105（直通） FAX：0155-23-0151

【あなたご自身のこと】について、おたずねします。

※該当する項目の口にチェック「レ」をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- ① 男性 ② 女性

問2 いつから帯広市に住んでいますか？

- ① 生まれてからずっと帯広市に住んでいる
- ② 小学校入学前から帯広市に住んでいる
- ③ 小学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる
- ④ 中学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる
- ⑤ 高校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる
- ⑥ 現在帯広市外に住んでいる 居住地

【帯広市の魅力】について、おたずねします。

問3 帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の口にチェック「レ」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	① 自然環境に恵まれている
<input type="checkbox"/>	② 都会的で快適な生活ができる
<input type="checkbox"/>	③ 農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている
<input type="checkbox"/>	④ おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである
<input type="checkbox"/>	⑤ 市街地がちょうど良い規模で、どこに行くにも便利である
<input type="checkbox"/>	⑥ 市民が主体となったまちづくりが進められている
<input type="checkbox"/>	⑦ 誰もが安全に安心して生活することができる
<input type="checkbox"/>	⑧ 観光資源が豊富である
<input type="checkbox"/>	⑨ 美しい田園風景がある
<input type="checkbox"/>	⑩ 道東の拠点都市となっている
<input type="checkbox"/>	⑪ 国内外との交流が盛んである
<input type="checkbox"/>	⑫ 農業分野の大学や研究機関が集積している
<input type="checkbox"/>	⑬ 特にない

3. 中学生アンケート調査票

まちづくりに関する アンケート調査へのご協力をお願い

現在、帯広市は、まちづくりの基本的な計画である総合計画の策定作業を進めています。

今後、人口減少、少子高齢化の進行に伴い、地域では、経済の縮小や財政の硬直化が懸念されており、効率的な行財政運営のほか、老朽化が進む公共施設等への対応や、地域全体で支え合う社会づくりなど、右肩上がりの時代とは異なる複雑・多様な課題への対応が求められてくるものと考えられます。

つきましては、計画策定の参考とさせていただくため、これからのまちづくりを支える担い手となる中学生の皆さんから、帯広市の将来のまちづくりの方向性などについて、アンケート調査を実施することといたしましたので、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年12月

帯広市長 米沢 則寿



<調査対象>

- 本調査は、帯広市内の中学校に通学されている方を対象としています。

<ご回答にあたっての注意事項・個人情報の取り扱い>

- この用紙に、回答される方のお名前やご住所を書く必要はありません。
- 回答結果は統計的に処理され、統計データの作成にのみ使用いたしますので、回答される方の個人が特定され、プライバシーに係る情報が公開されることはありません。
- 集計結果につきましては、市ホームページ等で公表いたします。
- 本調査に関しましてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

帯広市政策推進部企画課 担当：西尾、畠山、千葉
TEL：0155-65-4105（直通） FAX：0155-23-0151

【あなたご自身のこと】について、おたずねします。

※該当する項目の口にチェック「し」をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- ① 男性 ② 女性

問2 いつから帯広市に住んでいますか？

- ① 生まれてからずっと帯広市に住んでいる
 ② 小学校入学前から帯広市に住んでいる
 ③ 小学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる
 ④ 中学校入学時及び在学途中から帯広市に住んでいる

【帯広市の魅力】について、おたずねします。

問3 帯広市の魅力はどんなところだと思いますか。あなたの考えに近いものを最大3つまで選び、該当する項目の口にチェック「し」をつけてください。

<input type="checkbox"/>	① 自然環境に恵まれている
<input type="checkbox"/>	② 都会的で快適な生活ができる
<input type="checkbox"/>	③ 農畜産業が盛んで良質な農畜産物が生産されている
<input type="checkbox"/>	④ おいしい食べ物が多くあり、食文化が豊かである
<input type="checkbox"/>	⑤ 市街地がちょうど良い規模で、どこに行くにも便利である
<input type="checkbox"/>	⑥ 市民が主体となったまちづくりが進められている
<input type="checkbox"/>	⑦ 誰もが安全に安心して生活することができる
<input type="checkbox"/>	⑧ 観光資源が豊富である
<input type="checkbox"/>	⑨ 美しい田園風景がある
<input type="checkbox"/>	⑩ 道東の拠点都市となっている
<input type="checkbox"/>	⑪ 国内外との交流が盛んである
<input type="checkbox"/>	⑫ 農業分野の大学や研究機関が集積している
<input type="checkbox"/>	⑬ 特にない

